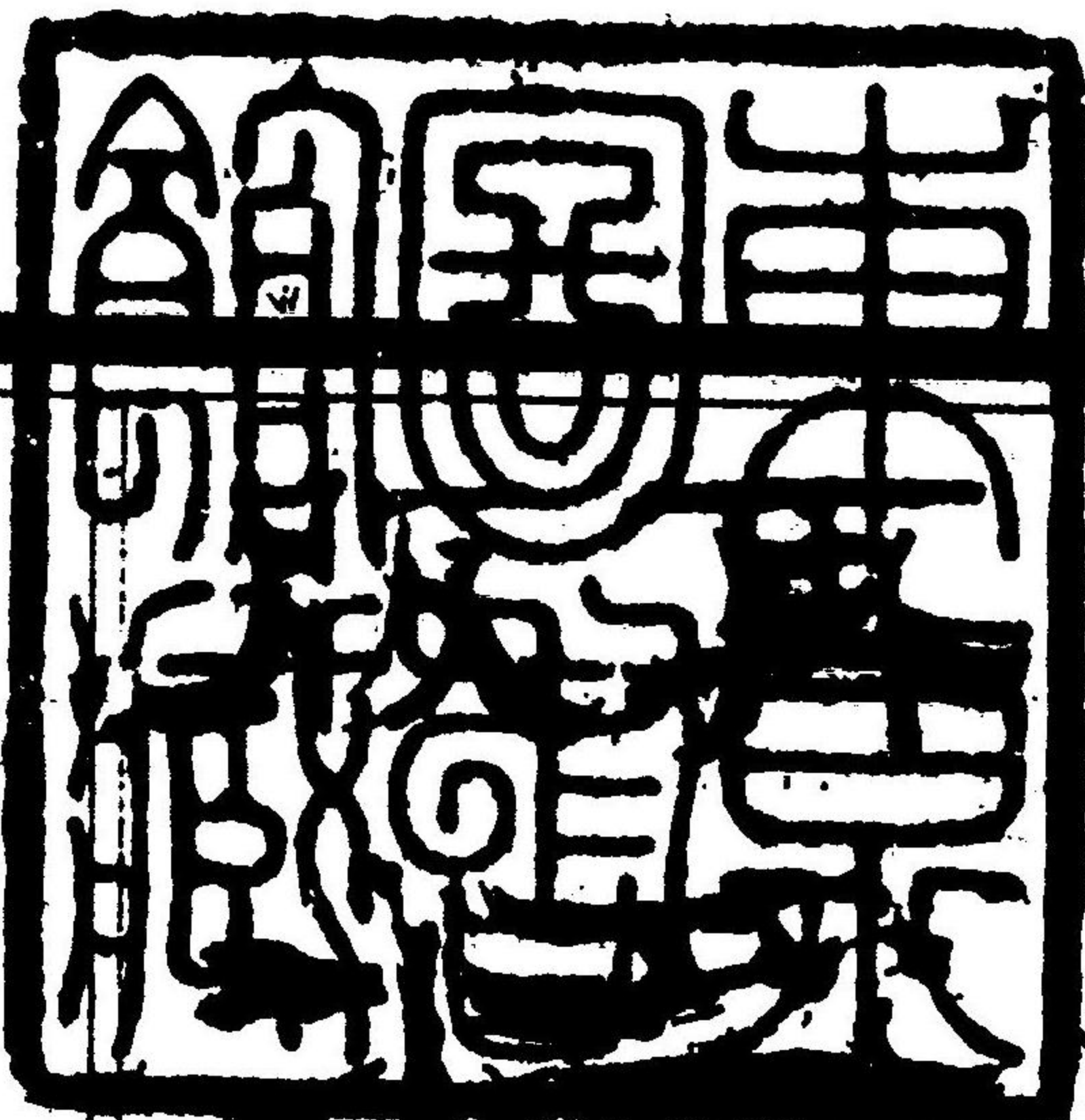


明治二十年二月十四日內務省註冊第180

德富猪一郎著 明治二十年一月

33
5
183

資本之日本



東京 經濟雜誌社發兌

將來之日本序

德富猪一郎君肥後熊本人也。嚮政黨之勃興諸道也。君在東都往來名士之間。一日過余廬。大論時事。痛歎而去。當時余竊喜君氣象。而未覺其有文筆也。既西歸。信書屢到。書中雅意可掬。不似往時辯論捍鬪之人也。去歲春始著一書。題曰十九世紀之青年及教育。頌之朋友子弟。主意在于述泰西理學與支那道德不可並行之理。文辭活動。比喻艷絕。一讀之。溫乎如春風。再讀之。凜乎如秋霜。於是乎。余初知君又爲文壇之人矣。今茲夏復稿此書。來詢余以刊行之事。因答之曰。以斯文有斯弊。何詢之用。而詢焉。余安得無一言。古人欲初臨陳者奇功不多。懼其安小成也。今君弱冠而多奇功。

願勿他日忸而忘初心。余初刊書。亦有所少戒。今也錄迂拙之文。恬然無愧。警戒在近。請君識之。君笑而諾焉。乃書其顛末。以辨卷端。

明治十九年十二月

田口卯吉識

熊本德富君猪一郎。往著一書。題曰將來之日本。活版行世。無幾售盡。將復版行。來請余序。受而讀之。蓋祖述近時英國碩學斯辨施爾氏萬物追世化成之說。更創意有所發明。因以論吾邦制度文物。異日必當爲云云狀。頗極精微。文辭亦婉宥。大與世佞屈難句者異科。使讀者不覺稱快焉。君齡僅二十四五。而學殖富衍。老師宿儒有所未易及者。真可畏敬。

也。凡序人文辭者。心誠善之。又必有可爲揚摧。不然徒援筆摛贊美之語。以塞責。輒近文士往往而然。是直諛也已耳。余之所甚不取也。是以每有來請者。率皆辭而不應。及今誦德富君業。感嘆不能措。不得不爲破格一言。乃書此以還之。

明治二十年一月中旬旬

高知 中江篤介撰

緒言

「將來ノ日本」ナル問題ハ遂ニ余ヲ驅リテ此ノ冊子ヲ著述セシメタリ。余ハ高尚深奥ナル哲學者トシテ此ノ問題ヲ論セス。又々活潑雄飛ノ政治家トシテ之ヲ説カス。余ハ唯々忠厚眞摯ナル日本ノ一人民トシテ。余カ腦中ニ湧キ來リタルモノヲ。憚ラス。恐レス。吐露シタルノミ。余ハ強テ生産主義ヲ執ラント欲スルモノニアラス。然レモ我邦將來情勢ノ赴ク所。勢ヒ如何トモナス可ラサルヲ知ルナリ。余ハ單純ナル民主論者ニアラス。然レモ既ニ生産的ノ境遇トナラハ。我社會ハ一變ノ平民社會トナルハ又々如何トモナス可ラサルヲ知ルナリ。余ハ如何ナル場合ニ於テモ。如何ナル代價ヲ拂フモ。只平和論ヲ唱フルモノニアラス。然レモ既ニ我カ社會ニシテ平民社會トナラハ。我カ社會ノ運動ハ一轉シテ平和主義ノ運動トナルモ亦如何トモナス可ラサルヲ知ルナリ。余ハ固ヨリ日本全軀ノ利益ト幸福トヲ目的トシテ議論ヲナスモノナリ。然レモ其議論ノ標準ナルモノハ唯々一ノ茅屋中ニ住スルノ人民是レナリ。何トナレハ苟モ此等ノ人民ノ利益ト幸福トヲ進歩スルヲ得ハ。全軀ノ利益ト幸福トヲ進歩スルハ敢テ論ヲ談タサレハナリ。

余カ議論ノ原理ハ泰西諸學士ノ思想ヨリ脱胎シ來ルモノ少カラスト雖也。之ヲ事實ニ適用シテ續釋スルニ到リテハ余全ク其實ニ任セサル可ラス。然レモ若シ余カ議論ノ不完全ナルアラハ願クハ怪ム勿レ。余カ此ノ冊子ヲ稿スルヤ。寂寞幽僻ノ地ニ於テシ。諮詢ノ友ニ少ク。參考ノ書ニ乏シ。殊ニ唯々零碎ノ時間ヲ節シテ。一ヶ月ニ足ラサルノ間ニ之ヲ成就シタルハナリ。而シテ此ノ如ク急速ニ成就シタル所以ノモノハ社友諸氏ノ賡寫校定等ノ勞ヲ分ツモノアリタルハナリ。余ハ茲ニ明記シテ其勞ヲ謝ス。「ソレ將來ノ日本ハ實ニ多事ノ日本ナリ。而シテ此ノ冊子ノ論スル所只概略ニ過キス。意フニ國會。外交。貿易。財政。兵備。地方制度。宗教。學問。教育。工藝。製造。等ニ關シテ論スヘキコ固ヨリ一ニシテ足ラス。若シ他日機會ヲ得ハ余ハ必ス本論ノ通則ヲ續釋シテ之ヲ開陳セント欲スルナリ。余カ此ノ冊子ヲ著ス唯々同志ノ人ニ頼テ其批評ヲ乞ハンカ爲メナリ。然レモ諸友ノ懇切ナル獎勵ハ遂ニ大胆ニモ余ヲシテ此ノ冊子ノ運命ヲハ我カ現今日本ノ社會ニ委托スルノ策ヲ決セシメタリ。嗟呼此ノ冊子ノ世間ヨリ冷遇セラル、モ命ナリ。厚待セラル、モ命ナリ。既ニ命ナリ余ハ復タ何トカ云ハン哉

明治十九年十月十日

東京ニ於テ

著者 記

再版之緒言

余ガ始メ友人ノ勸告ニヨリテ此ノ冊子ヲ刊行セントスルヤ。心竊ニ其ノ成功ヲ危ミタリキ。而シテ豈ニ料ランヤ。未ダ期月ナラスニ再タヒ此ノ冊子ヲ刊行セザル可カラサル場合ニ立チ到ラントハ。殊ニ朝野諸名士ノ愛讀スル所トナリ。叨リニ其ノ獎讃ヲ辱フシタルガ如キニ到リテハ。意外中ノ又タ意外ト云ハサル可ラス。意フニ此ノ冊子向ノ好縁アレバ。斯ク江湖ノ好遇ヲ博スル乎。若シ此ノ冊子ヲシテ口アラシメハ。未ダ知ラズ如何ナル辭ヲ擧テ。以テ江湖ニ向テ感謝ノ情ヲ表セントスル乎。ソレ吾人今日ノ位置ハ。恰モ万里ノ孤客ガ漠々タル曠野ヲ暗夜ニ獨往スルガ如シ。若シ幸ニ此ノ冊子ヲシテ。此ノ孤客ノ眼中ニ向テ。寂寥タル一點燈火ノ光タルコトヲ得セシメバ。此ノ冊子ノ目的ハ全ク成就シタルナリ。苟クモ然ルヲ得バ。縱令ヒ累々トメ首ヲ駢ヘ。書店ノ架上ニ幽囚セラル、モ。固ヨリ憾トスル所ナカラン。嗟呼江湖ノ君子ヨ。若シ文章果シテ經國ノ

事業ナリトセバ。願クハ此ノ冊子ニ於テモ。亦タ經國ノ事業タルヲ得セシメヨ。

明治二十年一月廿五日

東京ニ於テ

著者記

將來之日本

目次

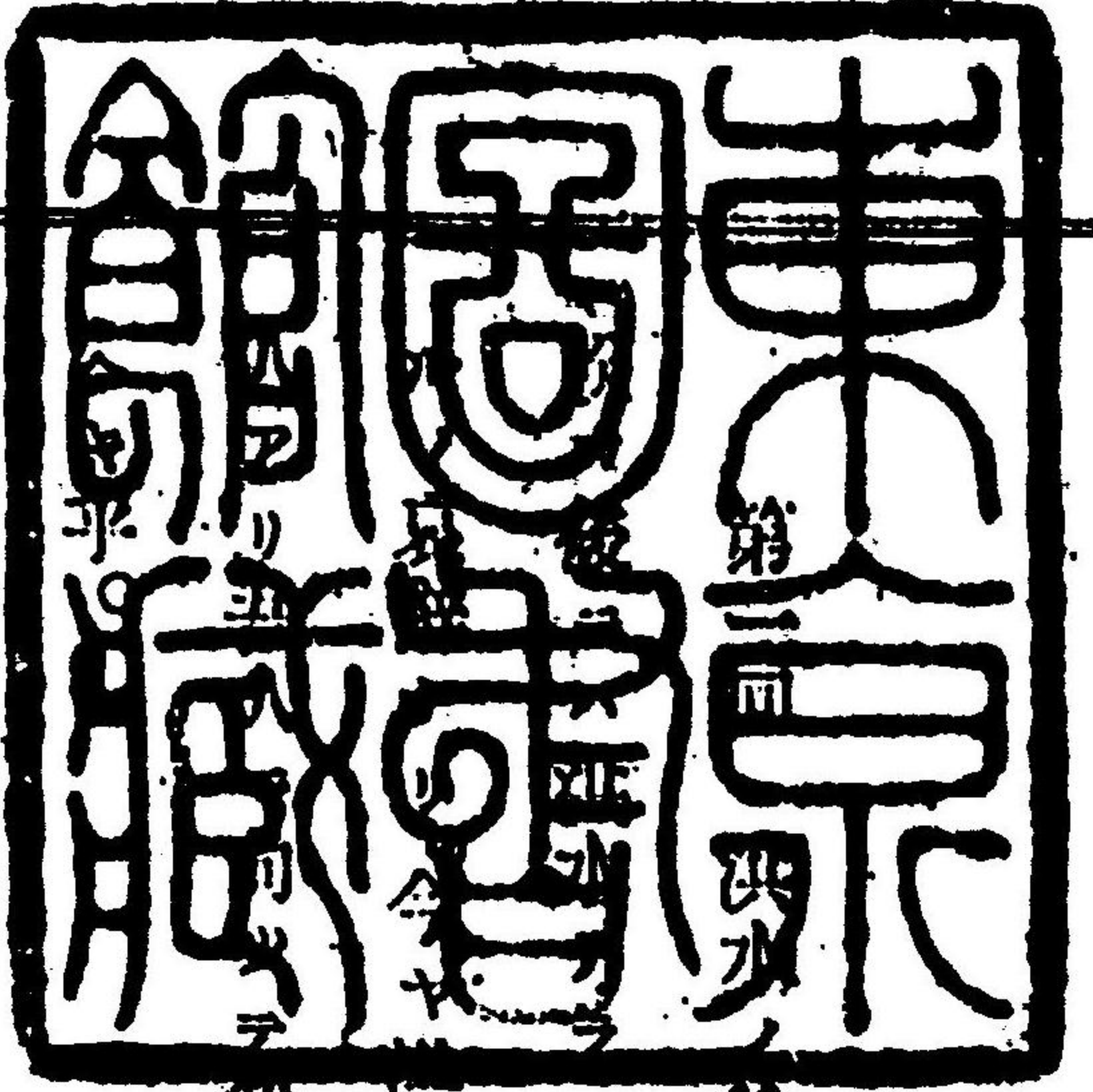
第一回	洪水ノ後ニハ洪水アリ	一頁
(緒論)		
第二回	一國ノ生活	十二頁
(總論)		
第三回	腕力世界 一	二十二頁
(第一外部社會四圍ノ境遇。表面ヨリ論ス)		
第四回	腕力世界 二	四十頁
(同上)		
第五回	平和世界 一	五十四頁
(第一外部社會四圍ノ境遇。裏面ヨリ論ス)		
第六回	平和世界 二	八十一頁
(同上)		
第七回	平和世界 三	九十二頁
(同上)		
第八回	平民主義ノ運動 一	百〇五頁

目次

第九回	(第二社會自然ノ大勢ヨリ論ス) 平民主義ノ運動	二	百十四頁
第十回	(同上) 平民主義ノ運動	三	百二十五頁
第十一回	(同上) 天然ノ商業國		百三十五頁
第十二回	(第三我邦特別ノ境遇ヨリ論ス) 過去ノ日本	一	百五十四頁
第十三回	(第四我邦現今ノ形勢ヨリ論ス) 過去ノ日本	二	百六十九頁
第十四回	(同上) 現今ノ日本	一	百八十四頁
第十五回	(同上) 現今ノ日本	二	百九十四頁
第十六回	(同上) 將來ノ日本		二百十二頁
(結論)			

將來之日本

德富猪一郎著



第二回 洪水ノ後ニハ洪水アリ (緒論)

人ノ恒ニ知ラント欲スル所ノモノ將來ヨリ甚敷モノハアラサル可シ。而シテ殊ニ我日本ノ將來ヨリ甚敷モノハアラス。何トナレハ現今ノ所謂日本ナル者ハノアノ兒孫カ芳草萎々タルベヘルノ原野ニ於テ天ニ違セントスルノ石塔ヲ築カント企テタル上古ノ文明ヨリ。北狄蠻人ノ繼續者カ鐵ト電氣トヲ以テ殆ント地球上ノ表面ヲ一新スル近時

ノ文明ニ至ル迄。凡ソ人類ノ記憶ニ存スル時代ノ歴史ヲ以テ此ト比較セント欲スルモ。殆ト其比類ヲ尋ヌルニ苦ム程ナル一種奇々怪々悦フ可ク驚ク可キノ時代ナレハ也。夫レ變化ナル者ハ萬有ノ大法大則ナレハ。我邦ニシテ昔時ノ面目ヲ一變シタリトテサマデ訝ル可キコトハアラサレハ。其變化ノ餘リニ快活ニシテ且ツ其方向ノ意外ナル針路ニ向ツテ奔リタルノ一點ニ關シハ何人ト雖モ一驚ヲ喚セサル者ハアラサル可シ。彼ノドレーバル氏ノ如キハ情ケナクモ東洋文明ノ命運ハ唯一ノ墳墓アル而已ト放言シタレハ。我邦ノ文明ハ三十年前氣息奄々トシテ前途甚ク憂東ナキノ旅行ヲナシタルニモ係ハラヌ。不思議ナル哉。電光石火ニ其方向ヲ一變シ。其針路ヲ一轉シ。更ニ快活ナル意氣ヲ以テ泰西文明ノ蹤ヲ追走シ。以テ此ト競爭セント欲スルカ如キノ形勢ヲ現出シタルハ。吾人カ且ツ訝リ且ツ祝スル所以ニシテ。彼ノ歐米人士ノ注意ヲ惹起スルニ到リタルモ固ヨリ故ナキニ非ラス。若シ試ニ徳川將軍家齊公全盛ノ時ニ死シタル江戸ノ市民ヲ今マ墓中ヨリ呼ヒ起シ銀座街頭ノ中央ニ立タシメヨ。其街傍ニ排列スルノ家屋。其店頭ニ陳列スル貨物。其街上ヲ往來スルモノ。其相話ヲ相ヒ談スルモノニ就キ。之ヲ見

セシメヨ。彼等ハ如何ニシテモ。之ヲ以テ彼等ノ所謂ル江戸ナラントハ夢ニダモ解スル能ハス。恰モ彼ノ夢想兵衛カ腹々然トシテ紙鷲ニ跨リ天外萬里無何有ノ船ニ漂着シタルノ想ヲナスナラン。蓋シ今日ノ變化ハ退歩ノ變化ニアラス。進歩ノ變化ナリ。今日ハ戰場ハ最後ノ戰場ニ非スシテ初陣ノ戰場ナリ。今日ノ門出ハ絶望ノ門出ニアラスシテ希望ノ門出ナリ。看ヨク人ヲシテ第十一世紀歐洲暗黒時代ノ境遇モ斯クハアルマシト追想セシムル所ノ我封建社會ノ顛覆シタルハ唯十餘年前ニアリ。人ヲシテ第十九世紀歐洲議院政治ノ制度ヨリ脱化シ來ルモノナラント豫想セシムル所ノ國會ノ開設ハ既ニ四五年ノ後ニ迫レリ。奴隸タルノ平民ハ乍チニ其階級ヲ上リ。主人タルノ士族ハ乍チニ其階級ヲ下リ。既ニ同地位ニ遷近セントセリ。昔日ニ於テハ人トシテ長刀ヲ横タヘサルモノハ人ニツ人ニ非ルノ有様ナリシモ。今ハ劔ヲ帶フルモノトテハ唯常備兵警官ノ外ハ亦見ル可ラス。昔ハ土足ヲ以テ蹂躪シタル切支丹ノ十字架モ。今ハ其督教トシテ其下ニ拜跪スルモノサヘアルニ到レリ。試ニ思ヘ。鎖港ノ論ヨリ海關稅全廢自由貿易ノ論ニ至ル迄。攘夷ノ說ヨリ内地雜居ノ說ニ至ル迄。幾何ノ日子ト幾何ノ時代ヲ經過シタル

カ。之ヲ想ヒ之ヲ思ヘハ夢ノ如ク幻ノ如ク。處世如大夢ノ妙句モ恰モ此時代ヲ評スル爲
 メニ設ケタルモノナリト云フモ不可ナカラン
 此ノ如キハ獨リ吾人カ耳目ニ觸レ來ル政治。社交。衣食住ノ事ニ止マラス更ニ進ンテ形
 而上ノ事ヲ觀察シタラシニハ如何。道德。信仰。交際。體面。思想等ノ標準ノ如キ總テ一
 顛一倒セサルモノハアラス。若シ一々之ヲ描寫シ。之ヲ舊時ノモノト對照比較スルヲ得
 セシメハ隨分奇妙ナルコトモアラン。只吾人ハ充分ニ之ヲ觀察スル能ハサルニ苦ミ。縱
 令之ヲ觀察スルモ之ヲ描寫スル能ハサルニ苦ムナリ。サレハ今日ノ老輩ニシテ封建時代
 ノ破壊ヨリ。明治時代ノ今日ニ至ル迄ヲ經過シタルノ人ハ。恰モ是レ邯鄲枕上盧生ノ夢
 ○仙人棋邊王質ノ斧柄モ。以テ之ヲ形容スル能ハサルノ心地スルナラン。之ヲ要スルニ
 現今ノ時代ハ陳枝朽幹半ハ枯死セルノ老樹カ端ナク大風ノ爲メニ吹キ折ラレ却テ其
 殘椽ヨリシテ更ニ一個ノ新芽ヲ發シ。雨露之ヲ濕シ。陽光之ヲ澤シ。亭々然トシテ雲ヲ
 凌キ天ヲ衝クノ望ヲ有セシムル。尤モ前途ニ希望アルノ時代トナレリ。故ニ之ヲ日本ノ
 變化ト曰ハンヨリ寧ロ日本ノ復活再生ト云フノ當レルニ如カス。何トナレハ舊日本ハ

既ニ死矣。今日ニ生存スル者ハ是レ新日本ナレハナリ。

然ラハ則チ日本ノ將來ハ如何。將來ノ日本ハ如何。政治家ハ日本政治ノ將來ハ兎ヤアラ
 ソ角ヤアラント心配シ。商業家ハ其商業ノ前途ハ如何ント掛念シ。學者ナリ。宗教家ナ
 リ。苟モ現今ノ形勢ヲ觀察シタルモノハ併セテ其將來ヲモ知ラント欲シ。之ヲ欲シテ止
 マサルハ固ニ止ムヘカラサルノ理ト曰ハサル可ラス。然リト雖社會ハ單分子ノ結晶體
 ニアラス。實ニ異種異類雜駁ナル分子ノ集合體ニシテ其雜駁ナル程。其自他ノ關係ハ至
 密至細ニ赴クモノナレハ唯々其一部ヲ探テ直ニ其將來ヲトセント欲スルハ蓋シ難カル
 可シ。今日ノ政治社會此ノ如クナルカ故ニ將來ノ政治社會又此ノ如クナル可シ。今日ノ
 經濟社會此ノ如クナルカ故ニ將來ノ經濟社會モ亦タ此ノ如クナル可シト斷定スルコトハ
 能ハサル可シ。何トナレハ將來ノ政治社會ハ今日ノ政治社會ニヨリテ相制セラル、モノナレ
 モノニ非ラズ。當ノ分配。智識ノ分配等ノ如キモノニヨリテ相制セラル、モノニアラスシ
 ハナリ。經濟社會ノ將來モ亦獨リ今日ノ經濟社會ニヨリテ相制セラル、モノニアラスシ
 テ。併セテ政權ノ分配。智識ノ分配等ノ如キ者ニヨリテ相制セラル、モノナレハナリ。

此ノ如ク社會ノ分子ハ互ニ原動チナシ。反動チナシ。原因トナリ。結果トナリ。主因トナリ。主果トナリ。客因トナリ。客果トナリ。其現象ハ千差萬別。海濱ノ砂石モ雷ナラスト雖互ニ相接シ相共ニ聯帶一致ノ運動チナス者ナレハ。其一部ノ運動チ知ラント欲セハ勢ヒ全體ノ運動チ知ラリル可ラス。何トナレハ全體ノ運動ナル者ハ各部ノ運動ノ協同ニヨリテ支配セラル、カ如ク。各部ノ運動ナルモノハ又全體畫一ノ運動ニヨリテ支配セラル、モノナレハナリ。

故ニ日本將來ノ政治チ知ラント欲スル者モ。日本將來ノ經濟チ知ラント欲スル者モ。其他宗教、學術、文學等チ知ラント欲スルモノモ。皆其疑問ノ點ヲハ全體ニ擴ケサルヘカラス。即チ我邦ノ社會ニ現出スル將來ノ事チ知ラント欲スルモノハ。其知ラント欲スル事ハ如何ナル點ニモセヨ。皆其疑問ノ鋒先ヲハ全局面ナル日本ノ將來ハ如何ト云フ點ニ向ケサル可ラス。是レ何人ノ思想チモ皆此ハ問題ナル中心點ニ向テ相歸着スル所以也。蓋シ此ノ問題タルヤ伯林ノ權謀政治家ハ奇貨失フ可ラストシテ之ヲ注目シ。倫敦ノ哲學者ハ社會學ノ材料ヲ發見セント欲シテ之ヲ推究シ。新英洲ノ宗教家ハ我東洋異教國

中ニ基督教ノ傳播センコトヲ思フテ之ヲ思慮シ。自由ヲ以テアングロサクソン人ノ特有物トナスノ學者ハ自由ノ恩惠ハ蒙古人種ニモ尙オ及フコト得ルヤ否ヤト疑惑シ。黃人種ノ朋友チ以テ任スル義侠ノ白人ハ日本ノ將來ハ果シテ獨立國タルヲ得ルヤ否ヤト掛念シ。或ハ我邦在野ノ政治家ハ將來チ思フテ一種ノ寒燈。沈思默坐スルモノモアラン。或ハ脩業ノ外餘事ナク學窓ニ兀坐スル青年ノ書生モ其机上ニ微睡チ催ストハ忽然トシテ我邦ノ將來チ夢ミルコトモアラン。或ハ白ラ村閭ノ政治家チ以テ任シ。威權巨長ヲ凌クノ郷紳モ。其傍輩ト爐邊ニ踞坐スルトハ餘リニ現今我邦變化ノ不思議ニ驚キ將來ハ如何アラント相ヒ談スルコトモアラン。或ハ又タ密室ニ跪キ四邊人ナキノ時ニ於テ竊カニ我邦將來ノ事チハ積誠チ凝ラシテ上帝ニ祈ル熱心ナル基督教徒モアラン。或ハ我邦ノ將來チ思ヒ之ヲ思ヒ之ヲ想フテ禁スル能ハス。萬籟寂々天地眠ルノ深宵ニ獨リ慷慨ノ熱淚チ揮フノ愛國者モアラン。

此ノ如ク我邦ノ將來ハ誰レ彼レノ差別ナク。何人ノ腦裡ニモ必ズ發揮スル問題ニシテ。而シテ又何人ト雖之ヲ解釋スルニ苦ム所ノ問題ナリ。然ラハ則チ吾人ハ此ノ解釋ニ苦

△所ノ問題ヲハ如何ニシテ解釋セント欲スル乎。ソレ過去ハ遠シト雖古人ノ足跡尙存
 ス。以テ之ヲ尋ヌ可シ。現今ハ錯雜ナリト雖吾人カ耳目ニ觸ル、所ノモノナリ。以テ之
 ナ知ルヲ得可シト雖。獨リ將來ニ至リテハ寸前暗黒唯漠々タル幔幕ノ吾人カ眼前
 ニ横ルヲ見ル而已。吾人ハ如何ニ之ヲ知ルヲ得ンヤ。然ルヲ况ンヤ吾人カ今日ノ地位
 ニ於テオヤ。ソレ今日ハ改革ノ時代ナリ。山中ノ人ニ向テ山ノ面目ヲ問フモ。中流ニ浮
 ムノ人ニ向テ川ノ形勢ヲ問フモ。改革ノ時代ニアル人ニ向ツテ改革ノ將來ヲ問フモ。決
 シテ適當ナル答辨ヲ得ルヲ能ハサルヘシ。何トナレハ身其中ニアルハナリ。故ニ若シ吾
 人ニ向ツテ之ヲ問フ者アルモ。吾人ハ只改革ノ將來ハ改革ナリ。洪水ノ後ハ洪水ナリト
 答フノ外ハアラサラン。

過去ノ事ハ以テ論評ス可シ。現今ノ事ハ以テ觀察ス可シ。將來ノ事ニ至リテハ如何ナル
 遠識炯眼ノ人ト雖。只推測スルハ一アルノミ。而シテ吾人今日ノ地位ハ之ヲ推測スル
 ラスラ容易ナラス。縱令之ヲ推測シ苦言痛語シタルハトテ將タ何ノ益アラソ。寧ロ埃及
 ノ敗將、錫倫島ノ選客タルアレヒバシヤニ倣ヒ。日本ノ將來ハ唯上帝之ヲ知ル而已ト

馬三郎曰
 既往現今人
 皆知之至將
 來則唯天知
 之耳若者把
 此一大概問
 來一唯論將
 來不可知一
 語殿於一箭
 一句緊於一
 句斷於一使
 人疑其將來
 論自何處發
 得讀至此段
 忽自將來如
 何之疑問追
 出可如何將
 來之新疑問
 轉拈出疑望
 情勢四字遂
 論及利導情
 勢而實行發
 望之木質蓋
 著者別具一
 雙眼故能如
 此譬諸肉眼
 觀物咫尺之

安着スルニ如カサル可シ。吾人固ヨリ之ヲ知ラサルニ非ス。然レハ吾人カ大膽ニモ斯ル
 重大ナル即チ吾人カ微力ヲ盡シタリトテ殆ト徒勞ナラント思フ程ノ重大ナル問題ニ向
 ツテ推測ヲ試ミント欲スルハ抑モ故アリ。蓋シ何人ト雖。將來ノ日本ハ如何ニナルヘ
 キ乎ノ問題中ニハ。必ス他ノ將來ノ日本ハ如何ニナス可キ乎ノ問題ヲ含蓄セズンハア
 ラス。將來ノ日本ハ如何ニナル可キ乎ハ固ヨリ吾人カ得テ與ル所ニ非ス。然レハ將來ノ
 日本ハ如何ニナスアル可ラサル乎ノ一問題ニ至テハ吾人亦日本ノ一人民ナリ。平生之
 ナ忘レント欲スルモ忘ル、能ハス。恒ニ吾人ヲ刺衝シテ寸時モ止ラス。而シテ吾人ハ今日
 ニ至テ黙セント欲スルモ黙スル能ハサルヲ感ス。故ニ今日ニ於テ吾人カ論辨シ得可キ
 丈ノ事ニ就テハ。敢テ遲疑セス。直ニ胸臆ヲ擻ヘテ以テ。直言直論セント欲スルモノナ
 リ。

雖然。此ノ二問題ハ互ニ相聯帶附着スルモノニシテ。決シテ之ヲ分離スルヲ能ハス。我
 邦ノ將來ハ如何ニナサル可ラサル乎。吾人カ希望スル所固ヨリ一ニシテ是ラサルナ
 リ。然レハ其希望ハ果シテ何ニヨリテ生シタルノ希望ナルカ。凡ソ希望ニハ其價値アル

外不可見若
把望遠鏡來
則千里外物
亦可得窺測
其立論奇巧
運筆自在真
可謂絕技

ハ唯實行セラル、アレハナリ、若シ然ラズンハ是レ空望ノミ。億萬ノ空望ハ一ノ實行ニ
敵スル能ハサルナリ。社會ニハ社會必然ノ情勢アリ。故ニ吾人カ希望スル所縱令千萬ア
ルモ決シテ此情勢ニ敵スル能ハサルナリ。故ニ將來ノ希望ニシテ果シテ實行セラル可
キ價值ヲ有スルノ希望ナリトモバ。其希望ハ必ス將來ノ情勢ト一致セサル可ラス。而シ
テ何ニヨリテ將來ノ情勢ヲ知ラントスルカ。曰ク唯將來ハ如何ニナル可キ乎ノ問題ア
ルノミ。

若シ夫レ社會ノ情勢ニ抗抵ス可ラサルヲ知ラハ。豫メ之ニ抵抗ヲ試ミサルノ優レル
ニ如カス。何トナレハ是レ徒勞ナレハナリ。譬ヘハ天ヲ仰テ石ヲ投スルモノアラン。如
何ニ精神ヲ揮フテ投シタリトテ。彼ノ石ハ天外ニ飛ヒ去ル者ニ非ス。一タヒ投スレハ一
タヒ地ニ落チ。百タヒ投スレハ百タヒ地ニ落ツ。既ニ重力ニ敵スル能ハスンバ擧ロ之ニ
敵セサルノ知アルニ如カス。故ニ吾人ハ決シテ我邦ノ將來ニ向テ架空ノ希望ヲ懷クモ
ノニアラス。唯將來ニ於テ必ス實行セラル可キ希望ヲ有スルノミ。何チカ實行セラル可
キ希望ト云フ。曰ク我社會自然ノ情勢ニ從ヒ之ヲ利導セント欲スル是也。即チ我日本ノ

將來ハ如何ニナサル可ラサルカノ經綸ハ。唯日本ノ社會ヲシテ更ニ他ノ干涉スルコ
トク。妨害スルコトナクシテ。將來ノ日本ハ如何ニナル可キ乎ノ推測ヨリ定マルモノナリ。
此ノ如ク如何ニナル可キ乎。如何ニナス可キ乎ノ二問題ハ相密着スル者ナレハ若シ第
二ノ問題ヲ解釋セント欲セハ勢ヒ第一ノ問題ヲ推測セサル可ラサルコトモアルヘシ。然
レモ吾人カ之ヲ注目シ。之ヲ掛念シ。且ツ之ヲ推測シテ止マサル所以ノ者ハ敢テ此ニ止
ラス。更ニ一步ヲ轉シテ我邦將來ノ經綸ヲ定メント欲スレハナリ。ソレ改革ノ將來ハ改
革ナリ。然ラハ則チ其改革ハ如何ナル改革ナル乎。如何ナル改革ナラサル可ラサル乎。洪
水ノ後ニハ洪水アリ。然ラハ則チ其洪水ハ如何ナル洪水ナル乎。如何ナル洪水ナラサル
可ラサル乎。光陰勿々電氣ノ鐵線ヲ走ルヨリモ急ナリ。昨日グ今日ノ昔ナル。一日又ク
一日。行テ止マズンハ今日ニ於テ遙々萬里ノ將來モ亦忽チニシテ他日ノ現今トナラン。
然ラハ則チ吾人カ今日ニ於テ將來ノ日本ヲ論セント欲スルモ豈ニ又止ムチ得ン哉。

第二回 一國ノ生活 (總論)

人間ハ只生活センカ爲ニハ、此ノ世ニ出テ來リタル者ニハアラサル可シ。然レモ若シ最初ノ目的ハ如何ト問ハ、我モ人モ三尺ノ童子モ皆異口同音ニ生活センカ爲ナリト答フルハ外ハアラサル可シ。人ノ世界ニアリテ做サント欲スル所ノモノ千緒萬端ナレモ凡ソ生命ヲ有シタル上ハ必ス先ツ其生活ノ道ヲ求メサル可ラス。首陽山ニ薇ヲ採ルハ伯夷叔齊カ生活ヲ保タンカ爲ナリ。簞食瓢飲ハ顏回カ生活ヲ保タンカ爲ナリ。サレハ彼ノ希臘古代サイニカル派哲學ノ開山タルアンチスシニスノ如キ精神ノ快樂ト生活ノ快樂トハ相戰フ者ニシテ須臾モ兩立ス可ラストテ恒ニ生活ヲ敬視シタルニモ係ラス。其病ヲ將ニ死セントスルヤ。彼ハ其微ナル聲ニテ弟子ニ向ヒ「汝ハ余ヲ苦痛ヨリ脱スル能ハサル乎」ト請ケレハ其弟子ハ乍チ短劍ヲ提ケ「社ヲ以テ救ハンカ」ト答ヘリ。彼レ驚テ曰ク「否、余ハ苦痛ヨリ脱スルヲ欲ス。生命ヨリ脱スルヲ欲セス」ト。ソレ生命ハ人ナリ。生活アリテコソ始メテ其他ノ願欲モ生ス可矣。一國ノ目的モ亦此ノ如シ。一國最後ノ目的ニ到テハ之ヲモントアスキュー。ボルク。スタイン。スペンセルノ諸氏ニ問フモ滿

足ナル答辨ヲハ得ル能ハサレモ。其最初ノ目的ニ到リテハ其組織ハ白蟻蜜蜂ノ社會ヨリモ尙チ簡易質朴ナル太平洋群嶋ノ野蠻人モ。政治ノ機關ハ博大精緻ニ發達シタル歐米社會ニ於テモ。凡ソ國家アル以上ハ自他一樣先ツ其生活ヲ保ツノ一點ニ歸セサル可ラサル。コノ半文政治家ト雖モ容易ニ斷言シ得ル所ナリ。一國ニシテ其生命アレハコソ。何事モ其分ニ應シテ行ハル可シ。若シ生命ナクンハ何事ヲナサントスルモ汝ハ如何ニシテ之ヲ行フヘキ乎。

然ラハ則チ何人ト雖モ我將來ノ日本ヲ論セント欲スルノ人ハ。先ツ我邦ノ將來ハ如何ナル手段ニ依リテ生命ヲ保ツサル可ラサルカノ問題ヲ以テ尋問ノ若步ト爲サル可ラス。蓋シ一國ノ生活ヲ保ツ所以ノモノ其手段ニアリ。一ハ生産ノ機關ニヨリ。一ハ武備ノ機關ニヨリ。生産ノ機關ハ内部ノ供給ヲナシ。武備ノ機關ハ外部ノ妨害ヲ防禦ス。孔子ノ所謂足レ食。足レ兵モノ即チ是ナリ。蓋シ此ノ二個ノ機關ハ未ダ必スシモ始ヨリ其職務ヲ區別スルモノニ非スシテ。寧ロ社會ノ草創ニ於テハ相混合スルモノナリト曰ハサル可ラス。例ヘハ無事ノ日ニ於テハ農夫トナリ。戰爭ノ日ニ於テハ兵士トナリ。國民モ

三部目、一編社
會論之、
如斯叙之、
而論
者忘倦、

兵士モ同一人ニシテ只ク其位地ニ隨テ其稱號ヲ異ニスルノ場合ニ於テハ生産機關モ。武備機關モ。更ニ其相違ヲ見ス。生産即チ武備。武備即チ生産ニシテ。斯カル實例ハ彼ノ頼襄カ。我朝之初建國也。政體簡易。文武一途。舉海内一皆兵。而天子爲之元帥。大臣大連爲之輔。未嘗別置將帥也。豈復有所謂武門武士者哉。ト云ヒシ如ク。吾人ハ我カ王朝ノ歴史ニ於テ之ヲ見ルナリ。然レモ社會ノ進歩スルヤ。人事愈々繁多ニ赴キ。勢ヒ分業ノ法行ハレサルヲ得ズ。於此乎其區別漸次ニ生シ。而シテ戰爭ノ常ニ絶ヘサル場合ニ於テハ武備機關ハ獨リ愈々開發シ生産ノ機關ハ愈々收縮スルニ到ルナリ。頼襄カ所謂光仁桓武之朝。驥場多事。寶龜中。延壽汰元兵。殷富百姓。才堪弓馬者專習武藝。以應徵發。其羸弱者皆就農業。而兵農全分。ト云シハ即チ此ノ事實ナリ。而シテ其勢ヒ一躍ニ武備機關ハ富ニ其外部ノ敵ヲ防禦スルニ止ラス。防禦ノ性質ニ變シテ侵略ノ性質トナリ。終ニ生産機關ヲモ其中ニ籠絡スルニ到ルモノナリ。之ニ反シ一國若シ平和ノ場合ニ立ツ時ハ生産ノ機關ハ忽チ其勢力ヲ增長シ武備ノ機關ハ全ク其下ニ壓伏セラル、トモアルナリ。

譬ヘハ羅馬ノ如キ。其初ニ於テハ全國ノ人士皆兵士トナリ。皆農夫トナリ。生産武備相協全シテ未タ分離スルヲ見ス。サレバ羅馬有名ノ史家プリニ當時ノ事ヲ言テ曰ク其田地ハ大將ノ手ニテ耕サレ。其土壤ハ賞牌ヲ冠シタル犁鋤ノ下ニ開墾セラル。而シテ農夫ノ之ヲ導ク者亦戰爭ノ功勞アリシモノナリト。吾人ハ亦タ同クマニオス。キエリオスナル人アリ。武勳赫々威名四隣ヲ壓スルノ豪傑ナリ。而シテ身ハ田圃ニ歸リ。茅屋ニ住シ。掌大ノ田圃ヲ耕シ。閑散自ラ安ニスルモノ、如シ。折リシモ氏ハ竈邊ニ踞シ燕膏ヲ炙ツ、アリケルニ敵國ノ使者來リ巧言以テ黄金ヲ贈ル。氏笑ツテ之ヲ斥ケテ曰ク「余ハ斯カル晚餐ヲ以テ自ラ足ルモノナリ。何ソ黄金ヲ須ヒン。余ハ自ラ黄金ヲ懷ニスルヨリモ之ヲ懷ニスルノ敵國ヲ征服スルヲ以テ寧ロ榮光トナスナリト。以テ當時ノ兵即チ農。々即チ兵タルノ事情ヲ察ス可シ。然レモ其近傍ノ諸種族ト生存ノ競争愈々繁ク愈々激スルニ從ヒ。市民ハ悉ク戰爭ヲ以テ其專業トナシ。農業ノ如キハ全ク奴隸ノ手ニ放任シ。是ヨリシテ武備ノ機關愈々發達シ。防禦ノ性質ハ一變シテ攻略トナリ。其兵鋒向フ所天下ニ敵ナク。カルセーシヲ滅シ。希臘ヲ畧シ。埃及。シリヤ。ハレスチンヲ捲クニ及

ソテ。天下ノ富ハ悉ク羅馬ニ蒐集シタリト雖。其蒐集シタルハ經濟的ノ吸引ス可キノ引カアリテ然ルニ非ス。是皆ナ唯羅馬人ノ腕力ヲ以テ各地ヨリ奪掠シ來ルモノニシテ。羅馬ノ都府雄麗天下ニ冠タリト雖モ。一ノ特有產物トテハナク。羅馬人ハ只其奪掠シ來リシ金銀ヲ以テ。其奪掠セラレタル各邦ノ產物ト交易(若シ之ヲ交易ト云フヲ得バ)シタル而已。吾人之ヲ聞ク。羅馬人ノ謎ニ曰ク「鐵ヲ揮フ者ハ金ヲ攫ム」ト此ノ如ク羅馬人ハ獨リ武備ヲ以テ外敵ヲ防キ。若クハ外敵ヲ攻メ之ニ勝テタルモノナラス。全ク其分取品ニヨリテ以テ其生活ヲ保テリト曰フ可シ。勢ヒ此ニ到ル生産機關ナルモノ亦何クニアル。

彼ノフヒニシヤノ如キハ然ラズ。地尤モ瘠セ。國尤モ小ナルニ係ラス。其生産機關ノ發達ス可キ境遇ヲ得タルカ故ニ其進歩ハ實ニ著シルシク。中ニモ其クルイノ人民ハ航海ノ智識。製造ノ熟練。商業ノ盛大ヲ以テ。上古ノ歴史ニ其大名ヲ輝セリ。彼レ自ラ地中海ノ帝王トナリ。其進取ノ氣象ハ一躍シテホリキユルスノ海峡ヲ越ヘ。ブリッタン島ニ赴キ。ホルチツク海峽ニ達シ。到ル處其土人ヲ以テ得意者トナシ。到ル處其土地ヲ以テ故

郷トシ。遂ニ殖民地ヲ地中海ノ沿岸ニ設クル四十ニ越ヘタリ。吾人ハ嘗テ舊約聖書ニ於テ「アタイルノ繁昌ナルヲ知レリ」。

「爾アイルヨ。爾ハ海門ニアリテ多島衆民ノ市ヲナス者カ。爾曾テ曰ク我ハ實ニ全實ナリト。爾ノ境ハ海ノ中心ニアリ。而シテ爾ヲ建造スルモノハ以テ爾ノ美ヲ盡セリ。彼レハセニルノ松ヲ以テ爾ノ板トナシ。彼ハ亦レバノンノ柏香木ヲ取テ爾ノ爲ニ楮ヲ作り。彼ハバシヤンノ椽ヲ以テ爾ノ椽ヲ作ル。アツスリヤノ隊ハキツテムノ諸島ヨリ携ヘ來ルノ象牙ヲ以テ爾ノ椅子ヲ作レリ。爾ノ張リテ以テ帆トスル所ノモノハ乃チ埃及ヨリ來レル文織。且ツ爾ヲ覆ヒ纏フ所ノ者ハ乃チエリシヤ諸島ヨリ携ヘ來ルルノ青ト紺トノ布ナリ。シドントアルワダトノ居民ハ是レ爾ノ舟子タリ。アイルヨ爾カ中ノ智者ハ爾ノ舵師タリ。ゲバルノ老練者ト其智者トハ爾ノ舟ヲ修復スルノ人タリ。洋海ノ諸舟。及其舟子ハ皆爾ノ中ニアリテ爾ノ貿易ヲ經營セント欲ス。

實ニ盛ナリト曰フ可シ。蓋シフヒニシヤ人カ商業ヲ以テ制服シタルノ版圖ハ。羅馬人カ腕力ヲ以テ制服シタルノ版圖ニ比スルモ寧ろ過ルモ敢テ及ハサルコトナカラン。以上ノ

三郎曰、康倫實例、歸納互出、如此而論不若架空、讀者心折、僕論專於常人之前、常用此法、而往々見其効

實例ヲシテ果シテ信ス可キ者トセハ。生産武備ノ二機關ハ決シテ兩立シ得ルモノニアラス。彼レ盛ナレハ此レ衰ヘ。彼レ亡レハ此レ興ルモノナルヲ知ル可シ。且ツ職業ノ如何ハ其人ノ性質ニヨリテ制セラル。モノナレハ。其性質ハ亦職業ノ如何ニヨリテ定マルモノナルヲモ知ラサル可ラス。勿論生活ノ職業ヲ満足ニ成就シタリトテ。人間ノ目的ハ此レ迄ナリト曰フ可キニハアラサレハ。其他ノ高尙ナル目的ト此ノ卑近ナル生活ノ職業ハ恒ニ離ル可ラス。解ク可ラサルノ關係ヲ有スルモノナリ。人事高端ナリト雖モ階ヲ階シテ上ルカ如シ。一層チ上ルハ更ニ一層チ上ルハ地ヲナスナリ。一層チ下ルハ更ニ一層チ下ルハ歩ヲナスナリ。層々相接シ。節々相聯リ。未ダ一トシテ特別分離ノ運動ヲナスモノニアラス。故ニ卑近ナル職業ハ一事ナリ。高尙ナル職分ハ他事ナリト相裁判スルモノハ未ダ共ニ人事ヲ語ルコ足ラサルナリ。試ニ見ヨ。茲ニ一個ノ武士ト一個ノ商人アリトセヨ。其人々ハ一家ノ兄弟ニシテ共ニ家庭ノ教育ヲ同フシ。學校ノ教育ヲ同フシ。其二者ノ性情行徑ヲ同フシタルモノトセヨ。而シテ立身ノ十字街頭ヨリシテ各特別ナル職業ニ從事シタリトセヨ。而シテ今茲ニ此二人ヲ

一室ニ對坐セシムルトセヨ。其ノ趣味。其ノ感情。其ノ嗜欲。其ノ思想ノ相異ナル自他相見テ茫然タルヲアラン。知ル可キ職業ノ性質ハ直ニ其人ノ性質ニ關係ヲ及ホスヲテ。獨リ之ニ止ラス。職業ノ品格如何ハ亦直ニ其人ノ品格ヲ定ムルモノナリ。例ヘハ遊樓ノ主人モ。傳道師モ。藝妓モ。女學校ノ博士モ。經濟的ノ眼孔ヲ以テ觀察スルキハ毫モ高下ノ區別ハアラサル可シト雖。社會ノ事ハ獨リ經濟的ノ眼孔ヲ以テ判定ス可キモノニアラス。生活ノ職業ハ唯生活ヲナサンカ爲メノミナレハ。不正ノ手段ニヨリテ生活スルモノハ如何ニ其人ノ辨解シタルハトテ尙之ヲ不正ノ人物ト云ハサルヲ得ス。國モ亦タ此ノ如シ。其生活ノ職業如何ハ直ニ其國ノ性質ニモ品格ニモ。至重至大ナル關係ヲ有スルモノナレハ。世上ノ識者殊ニ一代ノ創業者タラシモノハ細心遠慮宜ク其選ム所。採ル所ヲ謹マサル可ラス。凡ソ生産武備ノ二機關ハ獨リ其範圍中ニ於テ其勢力ヲ逞フスル者ニ止ラス。併セテ社會萬般ノ事ニモ其感化ヲ及ホス者ナリ。譬ヘハ食物ハ直ニ消化機關ニ其刺衝ヲ及ホス者ナレハ。之ヨリシテ血液トナリ。血管ヲ注流シテ四肢五官腦髓ニ到ル迄即チ人ノ全軀ニ其滋養ヲ及ホスカ如ク社會ノ現象一事一物一トシテ其感化ヲ被ラ

サルモノハアラス。即チ武備機關ノ發達シタルノ邦國ニ於テハ政權ハ唯少數人ノ手ニ
專有シ。生産機關ノ發達シタルノ邦國ニ於テハ政權ハ多數人民ノ手ニ分配シ。一方ニ於
テハ人民ハ國家ノ爲ニ生シタルモノトナシ。一方ニ於テハ國家ハ人民ノ爲ニ生シタル
者トナシ。彼ハ一國ニ於テハ唯一國アルノミ。國家チ外ニシテハ人民アラサルナリ。此
ハ一國ノ中唯人民アル而已。人民チ外ニハ國家ハアラサルナリ。彼ノ結合ハ強迫ノ結
合ナリ。如何ナル位地ニ於テモ軍隊組織ノ精神チ以テ社會チ組織ス可シ。此ノ結合ハ自
由ノ結合ナリ。如何ナル位地ニ於テモ經濟世界ノ法則チ以テ社會チ結合ス可シ。彼レノ
社會チ組織スルハ唯主人ト奴隸トノ二者アル而已。此ノ社會チ組織スルモノハ唯同胞
兄弟アル而已。彼ノ富ノ分配ハ人爲ノ分配ニシテ勞者恒ニ泣キ逸者恒ニ笑フ。此レハ自然
ノ分配ニシテ人々唯其過去ニ下シタルノ種チバ現今ニ收穫スル者ナリ。彼ハ或ハ一二ノ
大ナル知者アレバ千万ノ愚人アリ。此ハ大ナル知者ナキモ亦大ナル愚者アラヌ。彼ノ威
權ハ唯命令アル而已。此ノ威權ハ唯契約アル而已。彼ハ人民チ犠牲トシ一國ノ體面チ保
ツニアリ。此ハ人民ニ幸福ヲ與ヘンカ爲ニ國家ノ體面チ保ツニアリ。爭鬭ハ彼ノ眞面目

ナリ。平和ハ此ノ眞面目ナリ。他チ損シテ己チ益スルハ彼ノ方便ナリ。己チ益シ他チ益
スルハ此ノ方便ナリ。彼ノ政略ハ唯他國ヲ盜ムカ。然ラサレバ他國ヨリ盜マレサラント
スルハ一點ニ存シ。此ノ政略ハ唯自國ノ獨立チ保チ平和チ以テ交際スルニアリ。彼ノ法
則ハ唯暴逆ナリ。此ノ法則ハ唯正義ナリ。彼ノ主義ハ威力是レ權理ナリ。此レノ主義ハ
權理即チ威力ナリ。之チ要スルニ武備機關ノ發達シタル社會ハ唯不平等主義ノ支配ス
ル所ナリ。生産機關ノ發達シタル社會ハ唯平等主義ノ支配スル所ナリ。故ニ武備社會
ノ現象ハ悉ク貴族的ノ現象ナリ。生産社會ノ現象ハ悉ク平民的ノ現象ナリ。ソレ一國ノ
生活チ保ツハ唯此ノ二機關ニアリ。而シテ二機關ノ相兩立スル能ハサルコト此ノ如ク其一
國ノ政治。經濟。知識。文學。社交。即チ一國ノ性質品格ニ各一特別ノ感化チ及ホスコ
ト此ノ如シ。想フニ世上ノ識者ハ何ノ機關チ以テ我將來日本ノ生活チ保タント欲スル乎。
如何ニ吾人カ希望スル所ノモノ此レニアルモ。社會情勢ノ赴ク所彼レニアラハ。吾人ハ
亦如何トモナス能ハサル可シ。故ニ吾人カ何レチ探ランカノ問題チ解セント欲セバ。勢
ヒ一步チ進ンテ我邦將來ノ情勢ハ何レニ赴クカチ推測セサル可ラス。如何ニ之チ推

三耶日問情
勢與實並符
合否而不若
斷斷斷案僕
尤悅此等結
法

測スル乎。曰ク第一。外部社會四圍ノ境遇ハ如何。第二。社會自然ノ大勢ハ如何。第三。我邦特別ノ境遇ハ如何。第四。我邦現今ノ形勢ハ如何。即チ是ナリ。若シ吾人カ將來ニ希望スル所ノモノ此等ノ四問題即チ我カ將來ノ情勢ト符合スルヲ得バ。我邦ノ前途ハ實ニ願母數ナリ。若シ不幸ニシテ二者相反對セハ吾人ハ策ヲ投メ前途ノ吉凶ヲトスルニ苦ムナリ。

第三回 腕力世界一

(第一外部社會四圍ノ境遇。表面ヨリ論ス)

第十九世紀ノ時代ニ於テハ四海萬國皆我カ隣國ナルヲ記臆セサル可カラス。而シテ此隣國ノ大勢ハ實ニ我カ將來ノ命運ヲ作爲スル一ノ要素ナルヲ記臆セサル可ラス。然ラハ則チ此ノ隣國ノ大勢ハ如何。是レ吾人カ今回ニ於テ講究ス可キノ問題ナリ。蓋シ第十九世紀ノ今日ハ實ニ絶望ノ時代ナリ。試ニ眼ヲ擧メ我地球上ノ四隅ヲ見ヨ。而

ノ殊ニ彼ノ宇内ノ舞臺ニ於テ尤モ豪膽活潑ナル演劇者ノ中心タル歐洲諸國ヲ見ヨ。道理ノ勢力薄弱ナル未タ今日ヨリ甚シキ者アルカ。強者ノ權ノ流行スル未タ今日ヨリ甚シキ者アルカ。腕力主義ノ隆盛ナル未タ今日ヨリ甚シキ者アルカ。昔日ノ世界ハ野蠻人カ腕力ヲ以テ開化人ヲ蹂躪シタル世界ナリ。今日ノ世界ハ開化人カ暴虐ヲ以テ野蠻人ヲ吞滅スルノ世界ナリ。今日ニ於テ蒸氣。電氣。鐵。石炭。玻璃等ノ大自在力ヲ以テ一大革命ヲナシ。世界ノ表面ヲ一新シタルニモ係ハラス。哲學。物理學。文學。美術等ノ如キハ實ニ百尺竿頭一步ヲ轉シタルカ如キ。爽快ナル進歩アルニモ係ハラス。彼ノ便宜主義ノ統領タルベンザム氏ガ最大無類ノ禍害的ト紳名セシ戰爭ハ未タ其痕ヲ社會ニ絶タサルヲ見ルハ何ソヤ。實ニ彼ノ歐洲諸國ハ自ラ基督教國ト誇稱スレモ未タ上古ノ先知者カ預言シタルカ如ク。牛羊ト共ニ草ヲ嚼ミ。尾ヲ垂ン首ヲ俛シ。眞神ノ命ニ柔順ナルノ猛獅ニ非サルナリ。ル井、ナポレオン云ヘルコアリ。世界ノ歴史ハ戰爭ノ歴史ナリト。而我第十九世紀ノ歴史ハ果シテ戰爭ノ歴史ニアラサルカ。讀者願クハ左ノ統計表ヲ一覽セヨ

彼ノ維那ノ條約按スルニ維那ノ條約ハ千八百十五以來戰爭ニ死シタル者大約二百萬人ニ及ヘリ。則チ左表ニ掲クル計算ハ稍々精細ヲ得タル者ナリ。

戰 争	戰 死 人	年 代
バルカン戦争	一二〇、〇〇〇	1828.
西葡二國相續争	一六〇、〇〇〇	1830—1840.
歐洲革命	六〇、〇〇〇	1848.
クリミア(同盟人)	一五五、〇〇〇	1854.
同 (露西亞人)	六三〇、〇〇〇	,,
伊太利戦争(同盟人)	二四、四〇〇	1859.
同 (奧太利人)	三八、七〇〇	,,
合衆國內亂(北部)	二〇六、〇〇〇	1863—1865.
同 (南部)	三七五、〇〇〇	,,

普換戦争	五一、二〇〇	1866.
普墨戦争	六五、〇〇〇	,,
ブラジル、パラゲー戦争	一三三、一〇〇〇	1867—1870.
普佛戦争	二九〇、〇〇〇	1870—1871.
露土戦争	二〇〇、〇〇〇	1876—1877.
合 計	二、六〇七、二〇〇	、 、 、

今之ニ加ルニ佛ノアルヂエリノ戦争。英ノ印度及南亞非利加戦争。西ノモロッコ戦争及ヒ其他ノ小事ヲ以テセハ此ノ僅々五十年間ニ戦死シタル者蓋シ二百萬人ニ下ラサルナリ。(マルホール氏萬國進歩之實況)。

支那ノ聖人ハ一ノ不辜ヲ殺シテ天下ヲ得ルモ爲セスト訓戒ヲ垂レタリシモ實ニ歐洲ノ帝王宰相等ハ其兒戯ニ比トシキ名譽心ヲ飽カシメンカ爲メ僅々五十年間ニ此ノ如キ莫大ナル無病、息災、血氣方ニ剛キノ活潑男兒ヲハ空シク虐殺セシメタリ。所謂彼ノウ井クトル、ヒューゴーガ「血ヲ流スハ血ヲ流スヲナリ。人ヲ殺スハ人ヲ殺スヲナリ。劊手

三耶曰殺貨
財三字可謂
奇句

ノ帽ニ代ルニ皇帝ノ冠ヲ以テスルモ。兇殺人ノ性質ハ更ナル所ナシト云ヒシハ尤モ痛
快ノ評ニシテ吾人ハ實ニ寒心ニ堪ヘサルナリ。然レニ戰爭ナル者ハ唯ニ人ヲ殺スニ止ラ
ス。亦貨財ヲ殺ス者ナリ。孫子曰。凡興師十萬。出征萬里。百姓之費。公家之奉日費三千
金。ト然ラハ則チ此等ノ戰爭ニ於テ歐洲諸國カ徒費シタルノ貨財ハソレ幾何ソヤ。吾人
ハ歐洲諸國カ此等ノ戰爭ヨリシテ其公債ヲ増加シタルノ統計ヲ見テ殆ント驚愕ニ堪ヘ
サルナリ。

千八百二十年ヨリ同四十八年ニ至ル間ハ十七億二十萬磅(大約一ケ年平均九百萬磅)ヲ越ヘサリ
シカ故ニ其進歩ノ度敢テ速ナリト謂フヲ得スト雖モ四十八年以後遽カニ勢ヲ得其増
加ハ實ニ驚ク可キ者アリ(大約一ケ年平均一億三千磅ノ増加)今左ニ此ノ出費ノ重立タル原因ヲ開示
ス可シ。但左表ハ千
位ニ止ム

千八百四十八年公債高	一、七二〇、〇〇〇 磅
クリミア戰爭	一九二、〇〇〇
伊太利同	一〇五、〇〇〇

合衆國同	四九〇、〇〇〇
巴西パラゲー同	八五、〇〇〇
日壤同	九〇、〇〇〇
佛日同	三七〇、〇〇〇
露土同	二一〇、〇〇〇
軍器	一、六〇七、〇〇〇
鐵道、造船所、傳信	五七五、〇〇〇
總計	五、四四四、〇〇〇、〇〇〇 磅

(マルホール氏萬國進歩之實況)

蓋シ歐洲大陸(英國ヲ除キ)ノ千八百二十年ニ於テハ一人ニ付三「シルリング」ノ公債利
子ヲ拂ヒシモ千八百八十年ニ到リテハ殆ント四倍シテ十一「シルリング」ヲ拂ハサル可
ラサルニ到レリ。而シテ此ノ如ク増加シタル所以ハ唯「五七五、〇〇〇磅」ノ鐵道。造船
所。傳信等ノ爲ニ消費シタルモノ、外悉ク皆無用ナル軍事ニ消費シタル而已。

今チ去ル一千年八百年前オーゴストス、シーザルカ羅馬帝王ノ位ニ即タヤ。其四境ヲ守衛スルノ兵士ハ五十萬ニ出テサリシモ。今ヤ當時ニ於テ羅馬帝國ノ一州一郡ヲリシ歐洲諸國ノ常備軍ナル者ハ。果シテ幾何カアル。試ニ左ノ一表ヲ見ヨ

名國	人	口	常備兵	軍備兵	人口ト常備兵一 人口ト比較概算	人口百名ニ付 軍備兵ノ割合
英	三五、二四一、四八二	一八九、二五二	六三六、九五二	一八五	百分ノ二	
魯	一〇〇、三七二、五五三	五〇二、七三八	〇八〇、九一八	二〇〇	百分ノ二	
日	四五、二三四、〇六一	四四五、三九二	六五〇、〇〇〇	一〇〇	百分ノ六	
佛	三七、六七二、〇四八	五一一八、六四二	五五〇、〇〇〇	七二	百分ノ七	
奧	三七、七八六、三四六	三七一、八三三	〇二六、一三〇	一四〇	百分ノ三	
伊	二八、四五九、四五二	七一四、九五八	一九八九、六一九	四〇	百分ノ七	

(万国形勢總覽)

吾人ハ嘗テアダムスミス氏カ富國論ヲ讀ミ。人口百分ノ一以上ノ軍兵ヲ養フノ國ハ衰

亡チ招カサルモノ幾ント稀ナリトハ是レ歐洲近時文明人民ノ通論ナリトノ言ヲ聞キ。竊カニ其至言ナルヲ感シタルコ。今ヤ歐洲ノ現狀ニ於テハ全ク之ニ相違シ百分ノ一ハ愚カ殆ンド百分ノ七ヨリ出ルモノアリ。而シテ其歐洲全體ノ兵數ヲ概算スレハ九百五十七萬七千人ニ越ヘ。今之ヲ檢閲スルカ爲メ一直線ニ陳列セシムル時ハ。其長サ六千〇十「キロメートル」(凡ソ千五百三十二里)ニ達ス。而シテ其前面ヲ通過スルニハ快馬ニ鞭テ疾驅スルモ十二日六時間ヲ要シ。急行瀛車ヲ以テスルモ四日十八時間ヲ要スル割合ナリト聞ク。而シテ明治十七年八月萬國講和協會ノ調査ニヨレハ。歐洲ノ軍備ハ平時ニ於テ三百九十萬二千人。戰時ニ於テハ一千三百八十四萬一十人ニ上ルト云フコナレハ。吾人ハ何レノ統計ニ從ヒ何レノ統計ニ從ハサルモ。何レニモセヨ實ニ如此兵備ナル者ハ我第十九世紀ノ一大奇觀ト云フモ不可ナカラシ。往古東洋ノ暴主秦始皇ハ石ヲ以テ萬里ノ長城ヲ築ケリ。而シテ今ヤ泰西ノ帝王宰相等ハ人ヲ以テ萬里ノ長城ヲ築カントス。豈ニ亦タ大胆ナラスヤ。抑モ歐洲ノ帝王宰相等ハ何ノ必要アリテ此ノ如キノ莫大ナル常備兵ヲ養フカ。吾人カ敢テ解スル能ハサル所ニシテ。若シソレ必要アリトセハ以テ

我社會ハ甚ク險惡ナルヲ證ス可ク。若シ又必要ナシトセハ帝王宰相等ノ甚ク好事家ナルヲ異マサルヲ得ス。嗟呼是レ又第十九世紀ノ文明ナル乎。

此ノ如キノ常備軍ハ勿論無代價ニテ平時ニ整ヘ置クコト能ハス。サレハ歐洲諸國ノ人民ハ年々歳々幾何ノ軍費ヲ負擔スルカ。吾人ハ嘗テ毎日新聞カ掲載シタル英國龍勳萬國仲裁平和協會ノ調査ニ係ル千八百八十三年ノ報告書ヲ見ルニ英、露、佛、日、伊、六國ノ歳出及軍費ノ割合ハ實ニ左ノ如シ。

國名	項目	歳出	海陸軍費	百ニ付テノ割合
英國		九三、六一〇、五五五 磅	一三、四一三、七九五 磅	一四
日國		一一〇、八〇九、八九三	二二、六二四、七四九	二〇
佛國		一三六、一三七、六〇七	三三、七三〇、七八三	二五
英國		八九、〇〇四、四五六	三一、四二〇、七五五	三五
伊國		六一、四八九、〇四七	一一、〇五五、五八九	二〇
露國		一二九、四一七、五七〇	四六、一〇二、五〇〇	三六

而ノ獨リ之ニ止ラス。彼ノ軍備ノ爲ニ募集シタル國債モ亦驚ク可キ額ニシテ之ヲ合算スレバ

二百三十億二千一百五十萬弗ノ多キニ上リ。其利子ノミニテモ拾億三千七百十五萬九千七百七十五弗ナリ。即チ英國ハ三十七億九千萬弗ノ公債ニテ年々一億五千六百萬弗ノ利ヲ拂ヒ。魯國ノ公債ハ三十億一千七百五十萬弗ニテ年々一億五千六百萬弗ヲ支辨セリ。佛國ノ公債ハ四十八億萬弗ニテ二億七千二百五十萬弗ノ利ヲ拂ヒ。日耳曼國ノ國債ハ拾五億萬弗ニテ六千七百五十萬弗ノ利息ヲ支辨セリ

此ノ如ク吾人ハ歐洲武備ノ大勢ヲ叙シ來レハ歐洲人民ノ不幸ヲ悲マサラント欲スルモ能ハサルナリ。縱令ル井ナポレオンカセバストホルニ於テ露國ノ猛勢ヲ挫シトテ佛國人民ハ果シテ此レカ爲ニ幾何ノ利益ヲ得タルヤ。縱令佛國ニ復讐シタルヲ以テビスマルクノ雄名ハ四海ヲ壓シタリトテ。モルトケノ勳章ニハ燦爛タル光輝ヲ添ヘタリトテ。日耳曼人民ハ果シテ此レカ爲ニ幾何ノ利益ヲ得タルヤ。バルメルストン。ビーコンスフイ。ルド諸公カ阿非利加若クハ亞細亞ノ諸蠻族ト綿々トシテ絶ヘサル無名ノ戰爭ヲナシ。

英國ノ版圖ニ幾分チ加ヘタリトテ。英國人民カ得ル所ハ果シテ失フ所チ償フニ足ルヤ。近クハ彼ノフェリー氏カ安南事件ニ就テ清國ト兵チ搆ヘ一万五千ノ兵士チ失ヒ。四千三百磅チ消費シ。刺サヘ彼ノクルベ一提督チシテ東京ノ瘴烟毒霧ニ暴露セシメ空シク印度洋ノ濼屑トナラシメタルモ。又テ英國内閣カ彼ノゴルドン將軍チシテ刀折レ矢盡キ茫茫タル蘇丹熱沙ノ大漠ニ。其英魂毅魄チ埋メシメタルモ。英佛人民ニ向テ果シテ更ニ幾何ノ愉快ト幸福トチ増加セシメタル乎。之ヲ思ヘハ憑レ君莫レ話封侯事。一將功成萬骨枯。ト支那古代ノ詩人カ詠シタルモ甚タ道理アルヲ覺フルナリ。彼ノシヨンプライト氏カ「余ハ清國戰爭。クリミヤ戰爭。アフガン戰爭。メール戰爭。埃及戰爭ノ如キ皆其決シテ得策ニ非ルヲ論シタリ。意フニ戰爭ニヨリテ金錢上ノ利益チ得タルモノ及ヒ戰功ニヨリテ官位チ進メラレ。尊爵チ得タルモノ、外ハ。少シク思慮アル基督教信者ノ如キハ。皆チ其戰爭ノ不正ナルヲ非難ス可シ」ト云ヒシハ實ニ歐洲人民ノ心事チ描キ出シタルノ語ト云ハサル可ラス。

ト謂ハサル可ラス。如此武備機關ノ發達シタルハ千古ノ歴史ニ於テ未ク其比例チ見サル程ナリト謂ハサル可ラス。然ラハ則チ軍隊組織ノ精神ハ獨リ武備ハ一熟ニ止マラス。其勢力チ社會ノ全隅ニ及ホサル可ラサルハ自然ノ理ニシテ且ツ既ニ之チ及ホシタルハ事實アルトハ吾人カ歴々證明スル所ナリ。泰山ニ登ラサレハ以テ天下ノ高チ知ル能ハス。黃河チ見サレハ以テ天下ノ深チ知ル能ハス。伯林ニ遊ハサレハ以テ學問ノ英華チ知ル能ハストシテ天下ノ書生ガ欽慕措ク能ハサル哲學ノ樂園。碩儒ノ淵藪タル日耳曼帝國ノ如キ。其政治ハ果シテ人民ノ幸福チ進歩スルニ足ルカ。凡ソ社會カ完全ノ進歩チ成就スル迄ハ。如何ナル社會ト雖モ空論世界ノ譏チ免ル、能サルハ勿論ナレト天下萬邦。未タ日耳曼ノ如ク甚シキ空論世界アラサルハ吾人カ實ニ日耳曼人民ノ爲ニ浩歎スル所ナリ。日耳曼ノ哲學。政學。法學者中ニハ隨分深奧精緻ノ議論チナシ。或ハ各國制度ノ得失チ批評シタル人サヘナキニ非サレト其言フ所。説ク所ハ果シテ幾何カ能ク其國家ノ制度ニ實行シタルカ。吾人或ハ恐ルスタイン(煥國ノ博士)千言ノ議論ハ。ピスマルクノ一恟恟ニダモ値ヒスル能ハサルヲ。

試ニ見ヨ。千八百七十年普佛ノ戦争後。日耳曼帝國ノ運動ヲ見ヨ。彼ノ鐵公。ピスマルク
 カ所謂國家社會主義ステートソシアリズム即チ國家專制法ナル者ハ漸ニシテ其頭角ヲ社會ノ水面ニ顯ハシ。
 一千八百七十一年ニハ。帝國議會ヲシテ向フ二ケ年間据置ノ帝國軍費ヲ議決セシメ。同
 七十四年ニハ向フ七ケ年据置ノ軍費ヲ議決セシメ。同ク八十年ニハ更ニ多額ナル軍費
 ナハ同様ノ議決ヲナサシメタルニアラスヤ。既ニ此ノ如クシテハ議會ノ權力果シテ何ノ處
 ニカアル。ピールムカ所謂議會ニシテ其權力ナキ時ニ於テハ唯專制ノ器械タルニ過キスト
 謂ヒシハ移シテ以テ日耳曼帝國ノ議會ヲ評ス可シ。彼ノ下士官ノ年功アルモノハ以テ
 文官ニ撰擧シ。地方郡區ノ人民ハ桓々タル武夫ヲハ其牧民官ト仰カサル可ラサラシメ。
 而シテ如何ナル高官大位ノ人モ。如何ナル博學多識ノ大學校ノ博士モ。若クハ各中小學
 ノ教師モ。悉ク一年間ノ兵役ヲ負擔セシメ。而シテ彼ノ靈魂世界ヲ支配スルノ僧侶サヘ
 モ以テ國家ノ威權ノ下ニ壓服シ。其宗門ノ紀律ニセヨ。其制度ニセヨ。其得度ノ方法ニ
 セヨ。其一舉手一投足ハ國家即チ軍政府ノ指令ヲ仰カサル可ラサルニ至ラシメタリ。
 ソレ日耳曼ハ宗教改革ノ故郷ナリ。實ニ彼ノ羅馬法王リオ第十世ノ暴威ニ抵抗シ。赤手

三即日官設
 鐵道未必非
 機別有一論
 他日欲繼以
 實跡著者

ヲ排フテ起チタルノマルチン、ルーテルハ低地日耳曼ノ氷山中ヨリ出テタリ。而シテ今ヤ
 日耳曼政府ノ宗教ニ干涉スルヤ羅馬法王ヨリモ甚敷シ。想フニルーテルチシア地下ニ
 鐘アラシメハソレ之ヲ何トカ言ハン。獨リ之ニ止ラス。經濟世界モ亦政府ノ蹂躪スル所
 トナリ。其文明社會ニ於テ尤モ活潑ノ分配系ナル鐵道ノ如キ。既ニ其帝國ヲ通シテ四分
 ノ三ヲ舉テ官有鐵道トシ。其他或ハ保護稅ヲ盛ニシ。利息制限法ヲ再興シ。日曜日ノ勞
 作ヲ牽制シ。或ハ郵便法ヲ擴充シテ銀行ノ事務ヲ奪ハント欲スルカ如キ。又ハ支那取
 國ノ政治家商君ノ遺法トモ云フ可キ伍組ヲ設ケ。以テ強迫ノ結合ヲ嚴ニシ。或ハ國家保
 險ノ法ヲ設ケテ工匠ノ手足ヲ縛セントシタル如キ。又或ハ數年ニ於テ社會黨ノ結社ヲ
 解散セシムルコト二百二十四。新聞雜誌ノ發行ヲ差止メタルモノ百八十。書籍出版ヲ禁止
 スル百三十七ニ超ヘタルカ如キ。又或ハ本年一月二十六日普國々會ニ於テピスマルク
 公カ普國領分ニアル波蘭人ヲ放逐スルノ議案ヲ發シタルカ如キ。一トシテ其運動ノ方
 向ヲトス可ラサルモノハアラス。之ヲ要スルニ其運動ハ直接ニモ間接ニモ唯國家ノ權
 カヲ增長シテ一個人ヲ吞滅スルニアルハ昭々トシテ火ヲ觀ルカ如ク。帝國ノ權力ハ駭

々乎トシテ蠶虫カ桑葉ヲ食フカ如ク。今ハ既ニ喫シ盡シ殆ソト利ス所ナキニ至レリ。人恒ニ云フ。第十九世紀ノ運動ハ自由主義ノ運動ナリト。然レモ吾人ハ之ヲ斷言セントス。日耳曼帝國ノ運動ハ專制主義ノ運動ナリト。吾人ハ唯日耳曼帝國ト云ヒ日耳曼人民ト云ハズ。向トナレハ唯國家アリテ一個ノ人民アラサレハナリ。所謂理論ノ天國ニシテ實際ノ地獄トハソレ此國ノ謂ヒナラン。然リ而シテ露國ノ如キハ更ニ甚敷キモノアリ。露國ノ慘狀ハ荷モ眼アルモノハ之ヲ觀。耳アルモノハ之ヲ聞ク可シ。故ニ吾人ハ之ヲ喋々スルヲ要セス。唯左ニ一篇ノ詩ヲ掲クルヲ以テ充分ナリト信ス。蓋シ此詩ハ千餘年前支那ノ詩人カ其時事ヲ諷刺シタルモノニシテ其沈鬱悲壯ノ音ハ恰モ今日露國ノ現狀ヲ描寫スルニ適當ナルヲ覺フルナリ。

車轡驕馬蕭々。行人弓箭各在腰。爺娘妻子走相送。塵埃不見咸陽橋。牽衣頓足攔道哭。哭聲直上于雲霄。道傍過者問行人。行人但云無行頻。或從十五北防河。便至四十二西營田。去時里正與裏頭。歸來頭白還戍邊。邊庭流血成海水。武皇開邊意未已。君不見。見漢家山東二百州。千村萬落生荆杞。縱有健婦把鋤犁。禾生隴畝無東

西。况復秦兵耐苦戰。被驅不羈大與鷄。長者雖有問。役夫敢伸恨。且如今年冬。未休關西卒。縣官急索租。租稅從何出。信知生男惡。反是生女好。生女猶得嫁比隣。生男埋沒隨百草。君不見。見青海頭。古來白骨無久收。新鬼煩冤舊鬼哭。天陰雨濕聲啾々。

世人願クハ此詩ヲ讀ンテ東洋詩人得意ノ大言トナス勿レ。實ニ露國ノ慘酷ナル有様ハ此ノ巧妙ナル句ヲ以テスラ充分ニハ描寫スル能ハサルニ苦ムナリ。若シ之ヲ疑フ人アラハ請フ北海ノ朔風ニ櫛リ。寒山ノ氷雪ニ浴シ。鐵鎖ニ繫カレテシベリヤノ採礦場ニ苦役スル虛無黨ノ罪人ニ向テ之ヲ問ヘ。

嗟呼此ノ如キハ豈ニ獨リ二國ニ止ランヤ。煥ト云ヒ。伊ト云ヒ。或ハ英佛ト云ヒ。皆幾分カ其臭味ヲ帶ハサルモノハアラス。唯彼ノ二國ハ殊ニ其甚敷ヲ見ル而已。吾人ハ今尙オ之ヲ記憶ス。彼ノ平和主義ノ泰山北斗タルブライト氏カ。去年六月曾テ人ニ向テ歐洲ノ現狀ヲ説キタル一節ヲ。

今ヤ財利ハ悉ク之ヲ兵備ノ爲ニ併吞セラレ。人民ノ利益ハ最モ忌ム可キ惡ム可キ外

交政略アツテ妄想ノ爲ニ之ヲ犠牲ニ供シ。國光國榮ノ妄想ヲ主トシテ一般人民ノ眞實ナル利益ヲ蹂躪セリ。我實ニ歐洲ハ將ニ恐ル可キ一大變亂ニ陥ルノ方向ニ進行セリト思考セサルヲ得サルナリ。兵備擴張ハ窮リナク堪ラル可キ者ニ非レバ恐ラク人民ハ絶望ニ沈ミテ早晚帝王ト帝王ノ名ニ因テ政權ヲ握レル偽政治家トナ一掃スルコトアルヤモ測リ難シ。

歐洲ノ現状既ニ此ノ如シ。然ラハ則チ其將來ハ如何。抑モ武備機關ノ此ノ如ク發達シタルハ過去ニ於テ武力運動ノ過重ナル結果ナリト雖モ。其將來ニ關シテハ實ニ武力運動ハ原因ヲラサル可ラサルハ理アリ。彼ノ常備軍ハ固ヨリ防禦ノ精神ヨリ設ケタル者ナリト雖モ。敵ヲ防クノ刀劍ハ一轉シテ敵ヲ攻ムルノ刀劍タルカ如ク。又一變シテ攻略ノ精神トナスヲ得ルモノナリ。其精神ハ平和ヲ維持セシカ爲ニ之ヲ整ヘタルニモセヨ。一變シテ軍口戰争ノ媒介トモナルヲ得ル者ナリ。彼ノ所謂果合ナルモノ行ハレタルハ我封建武士カ双刀ヲ横ヘタルノ時ニ於テ尤モ甚シカリシヲ知ラハ。歐洲將來ノ果合モ亦莫大ナル常備軍アルガ爲ナルナキヲ知ランヤ。實ニ其外觀ニ於テ歐洲諸國ノ運動ヲ支

配スルノ法律ハ萬國公法ナレド。其ノ公法ナルモノハブライイト氏カ所謂「習慣ヨリ成立シタル錯雜擅着ノ律例ニシテ。而シテ其習慣ナルモノハ恒ニ強者ノ意ノ儘ニ行ハレタルノ習慣ナレハ」。彼ノ公法ナル者カ首尾能ク行ハレタレハトテ。以テ天下ノ泰平ヲトスルニハ足ラス。況ンヤ此ノ公法ナル者ハ各國ヲ支配スルノ君主ニ非ス。返ツテ各國ヨリ支配セラルハ、奴隸タルニ於テオヤ。又況ンヤピスマルクカ所謂頼ム可キハ公法ニアラス唯鮮血ト黒鐵ト而已ナルオヤ。然ラハ則チ歐洲諸國ノ運動ヲ支配スルノ法律ハ果シテ何ソヤ既ニ習慣ヨリ成立シタルノ萬國公法ニ非サルヲ知ラハ。復タ爾ノ敵ヲ愛シ。爾ヲ誼フモノヲ祝シ。爾ヲ憎ムモノヲ善視シ。爾ヲ虐遇迫害スルモノ、爲ニ祈禱スルノ新約聖書ニ非サルコトハ更ニ分明ナリ。ガライル謂ハスヤ。誰レニテモ二個人間ノ際ニ發出スル最後ノ問題ハ。唯我能ク汝ヲ殺サン乎抑モ汝能ク我ヲ殺サン乎。一問題ナリト吾人ハ更ニ單刀直入以テ歐洲現今ノ國際法ヲ斷言ス可シ。曰ク歐洲ノ外交政略ナルモノハ其ハ隣ヲ愛シテ其ハ敵ヲ憎ムニ止ラス。目ニテ目ヲ償ヒ齒ニテ齒ヲ償フニ止

ラ、其最後ノ問題ハ唯我國能ク汝ノ國ヲ併呑センカ、汝ノ國能ク我國ヲ併呑センカノ
一問題ニ歸着スルヲ。既ニ之ヲ以テ現今社會ヲ支配スルヲ知ラハ其將來モ亦知ル
可矣。果シテ然ラハ歐洲將來ノ運動ハ如何ナル運動ナル可キ乎。

第四回 腕力世界 二 (同上)

若シ歴史の眼孔ヲ以テ之ヲ觀察セバ亞細亞。歐羅巴ノ二大陸ハ實ニ密着ノ關係ヲ有
スルモノト云ハサル可ラス。試ニ見ヨ。東亞ノ山脉ハ波濤ノ如ク日本海ヨリヒスケイ灣
ニ聯亘シ。或ハ起キ。或ハ伏シ。或ハ續キ。或ハ斷ヘ。逶迤トシテ不規則ナル折線ヲ以テニ
大陸ヲ南北ニ横截セリ。而シテ中央亞細亞ノ平原大野ハ渺茫トシテ限リテシテ遙ニセルマン
ホルランドノ中腹ニ連リ。浩乎トシテ其津涯ヲ知ラス。太平洋ノ海岸ヨリ大西洋ノ海岸ニ
到ル迄大凡六千「マイル」ニ超ユ。而シテ其高低ハ僅ニ數百尺ノ相違ニ過キス。東亞ノ大陸
ハ海面ヨリ突出スル平均一千百三十「フヒート」ニシテ。西歐ハ平均六百七十一「フヒート」

ニ出デス。且ツ氣候溫和。人體ニ適シ。到ル所草肥ヘ泉甘シ。而シテ長江大河ノ横流シテ
以テ自然ノ境界ヲナス。其形勢此ノ如シ。果シテ然ラハ歐亞ノ二大陸ハ千兵万馬ノ大運
動ヲナス最好ノ戰場ト云ハサル可ラス。蓋シ此ノ版圖ハ實ニ英雄武ヲ用ユルノ地ナ
リ。故ニ曖昧未開ノ上古ヨリ第十九世紀ノ今日ニ到ル迄。人類ノ年代記ハ唯各人種カ此
ノ二大陸ヲハ東西南北ニ往來漂泊シタルノ一大事實ニシテ。歐洲古今ノ歴史ハ唯人種運動
ノ歴史ト云フモ敢テ過言ニ非サルカ如キヲ見ル也。抑モ今日ノ所謂歐洲人民ノ先祖ハ
中央亞細亞ヨリ西方ニ移住シタルモノニシテ。上古ノ歴史ハ寧ロ東方ノ人種カ西方ニ向
テ旅行シタル歴史ト云ハサル可ラス。試ニ見ヨ。セルツ人種カ在來ノ土人ニ於ケル。ラ
アン人種カセルツ人種ニ於ケル。チユトン人種カラテン若クハセルツ人種ニ於ケル。ス
レオニツク人種カチユトン人種ニ於ケル。タルタル人種カスレオニツク人種ニ於ケル。
其運動ハ唯東ヨリ西ニ奔リ。互ニ其踵ヲ追隨シテ遂ニ歐洲西岸ノ極端ニアルスベーン
人ノ如キハ更ニ西漸シテ大西洋ヲ越ヘ米洲ニ達スルニ到レリ。之ニ反シ。現今ノ歴史ハ
實ニ人種カ西方ヨリ東方ニ向テ運動スルノ歴史ナリト云ハサル可ラス。吾人ハ古今ノ

歴史ヲ通讀シテ轉々奇異ノ感ナキ能ハス。人類カ其歴史サヘ記憶スル能ハサル上古ヨリ第十三世紀ニ至ル迄。歐洲ノ歴史ハ其事多端ナリト雖。恰モ冥々隱々裡ニ一ノ大將アリテ之ヲ指揮シタルカ如ク。其隨意運動ニモ係ラス皆一定ノ紀律ノ下ニ東方ヨリ西方ニ向テ運動シタルノ一大總括的ノ事實アルヲ見ルナリ。勿論歴山王ノ東征。十字軍ノ如キハ西ヨリ東ヲ征シタルナレモ是レ皆ナ原動ニ非スノ反動ト云ハサル可ラス。而シテ其反動ヲ激成シタルハ乃チ尙東方ヨリ西方ニ向テ壓力ヲ加ヘタルカ故ナリ。而シテ近世史ノ發端ヨリシテ今日ニ到ル迄更ニ一ノ大反動ヲナシ。其方向ヲ一變シタルハ恰モ彼ノ大將カ一號令ノ下ニ千軍萬馬皆其ノ馬首ヲ回シ新奇ノ運動ヲ始メタルカ如ク速キハ數千年近キモ數百年前其先祖カ出立シタル若クハ流寓シタルノ故郷ニ向テ各人種カ旅行ヲ始メ日ニ益々其歩ヲ轉スルカ如キノ傾向ヲ顯ハスハ吾人カ尤モ驚ク所ノ事實ト云ハサル可ラス。假令ハ希臘國カ土耳其ノ羈絆ヲ脱シ獨立國トナリタルカ如キ。伊太利カ擲太利ノ管轄ヲ離レテ其國體ヲ新造シタルカ如キ。西ノ佛ニ於ケル。佛ノ日ニ於ケル。日ノ壤ニ於ケル。英ノ露ニ於ケル。日ノ露ニ於ケル歐洲諸國ノ土耳其ニ於ケル。其

錄先ハ皆ナ西ヨリ東ニ向テ運動ヲ試ミントスルニ非スヤ。試ミニ二百年前ノ政治地圖

ト二百年後ノ政治地圖トヲ採テ比較セヨ。必ス思ヒ半ニ過キン。

(註例ヘハ土耳其ノ如キ昔シ千四百五十三年ニコンスタンチノール府ヲ取リシヨリ
 ○次第ニ諸方ノ國土ヲ併領シ。モンテテグロテ除キテバルカン半嶋ノ全體トペレボン
 チノスト黒海及ヒアツール海ノ北岸等ハ皆土國ノ手ニ屬シ千七百十一年ノ頃土國ノ
 領地ハ西ハアドリヤチツク海及ダニユブ河ニ至リ。東ハドンスター及ヒドニーパー
 等ノ地方ニ達シベツサラビヤ。クリミア其他ノ蒙古地方モ土國ノ領分ニシテ其歐
 洲大陸ニアル所有地ハ一萬五千四百五十四方英里アリ。露國ヲ除キテハ歐洲ノ何レ
 ノ國ヨリモ多クノ領地ヲ有シタリシカ。此時ヨリ後同國ハ漸ク衰運ニ向ヒ千七百卅
 九年ニ一時墺國ニ對シテ戰勝ヲ得タルヲアレモ其後追々ニ其領地ヲ失ヒ。先年露國
 ト戰爭ヲ初ムル頃ハ僅ニ九千四百五十六英里ノ領地ヲ有シ。其中八千九百〇二英里
 ハ諸公國ニ屬シ。此等ハ唯名義上土國ヲ宗國ト仰クノミニテ殆ント獨立ノ邦國ニ均
 シク尋テ又伯林ノ條約ニテ土國ハ四千五百五十八英里ノ土地ヲ取上ラレタレハ。一

千七百年ヨリ一千八百七十八年迄ノ間ニ同國ハ歐洲ニア一萬〇六百六十六英里ヲ失ヒ。其中八千九百二方英里ハ露國ニ征服セラレ。又其中ノ四千八百十六萬英里ハ全ク露國ノ領地トナレリ。

近クハ又愛蘭土ノ如キ多年英人ノ爲ニ占領セラレタル自由ノ權ヲモ土地所有權ヲモ恢復セントスルノ機會ヲ得タルニアラスヤ。(十九年四月八日グラットストン氏愛國自治案。同十六日土地買上案)一千年前羅馬帝國ヲ鐵蹄ノ下ニ蹂躪シタルノ戰爭ハチユトン人種。ラアン人種。セルツ人種。スレオニツク人種ノ戰爭ナリ。今日ノ戰爭ハ如何。アングロサクソン人種タル英人トスレオニツク人種タル露人トノ間ニ於ケル。ラアン人種タル佛人トチユトン人種タル日人トノ間ニ於ケル。皆是レ人種ノ戰爭ニ非スヤ。蓋シ世界ハ人種カ優勝劣敗ヲ争フ。ノ修羅場ナリ。所謂羅馬覆滅ノ歴史モ人種カ生存競争ノ歴史ナリ。第十九世紀文明ノ歴史モ亦人種カ生存競争ノ歴史ナリ。其異ナル所ハ其攻守ノ關係ヲ一變シ其運動ノ方向ヲ一轉シタル迄ナリ。吾人ハ之ヲ聞ク。ピスマルクカ將來ノ經綸タルヤ。換太利ヲ日耳曼聯邦ヨリ拒絕シ之ヲ東方ニ擠シ。バルカン諸小國ヲ併

滅セシメ。ダニユブニ傍フテ東漸セシメ。サロニカヲシテ其首都タラシメ。而シテ自ラダニユブ大河ヲハ日耳曼帝國カ黒海ニ出ルノ大道トナシ。手ニ唾メコンスタンチノープルヲ取リ。以テ地中海ノ上遊ニ據リ。更ニ第十九世紀ノ世界ニ於テ一個ノ新奇ナル羅馬東帝國ヲ建設スルニアリト。吾人ハ果シテ然ルヤ否ヤヲ知ラス。然レモ目今ノ現狀ヨリ之ヲ見レハ敢テ悉ク揣摩ノ見ト云フ可ラサルカ如シト云ハサル可ラス。彼ノ露國ノ如キハ波蘭ヲ滅シ。駭々平トシテ西南ニ向テ長蛇ノ急坂ヲ下ルカ如ク運動シタルニ係ハラス。今ハ日耳曼帝國カ其進路ヲ遮リ。恰モ猛虎ノ嶋ヲ負フカ如キノ形勢ナルカ故ニ寸進尺退。一步モ動クコト能ハス。トハイハ然レモ其南下ノ志ハ未タ一日モ忘ル。能ハス。彼ノコンスタンチノープルニ出テント欲スルノ經畫ノ如キハ。決シテ一朝一夕ニ生シタル者ニ非サレハ又タ決シテ一朝一夕ニテ之ヲ廢棄ス可キニアラス。凡ソ第十九世紀東歐ノ運動ハ多クハ是レ露國カコンスタンチノープルニ出ルノ蹈ミ石タリシコトハ吾人カ親シク觀察スル所ノモノナリ。故ニ歐洲將來ノ問題ハ即チ此ノ羅馬東帝國ノ舊都府ハ果シテ誰レノ手ニ落ルカハ一點ニ集合スルト云フモ不可ナカラン。嗟呼此ノ舊都府

ハ決シテ永遠ニタルタル人種カ所有ス可キモノニアラス。然ラハ則チ之ニ代ルモノハ
スレテニツク人種ナル乎。將タチユト人種ナル乎。何レニモセヨ百四十年前回々教徒
ハ爲ニ奪掠セラレタル舊都ハ再ヒ其ノ舊主人タル基督教徒ノ手ニ回復ス可キハ既ニ歴
史ノ眼中ニ髣髴タルヲ見ルナリ。

雖然歐洲諸國ハ寬則兩軍相攻。迫則杖戟相撞。ノ勢ニシテ殆ント立錐ノ閑地サヘアラサ
ルヲ以テ。到底快活ノ運動ヲ試ミル能ハス。而シテ其運動ヲ試ミルニ足ルノ地ハ果シテ
何ノ邊ニアル。大凡ソ物狀ハ其尤モ障碍ノ少キ點ニ向テ運動スル自然ノ法則ヲ有スル
モノニシテ人種ノ運動ト雖全ク此ノ理ニ從ハズンハアラス。古ハ東ニ難フシテ西ニ易
シ。是レ古ニ於テ西方ノ運動アル所以ナリ。今ハ西ニ難フシテ東ニ易シ。是レ今ニ於テ
東方ノ運動アル所以ナリ。是ニ於テカ東方論ナル大問題始メテ世界ノ年代記ニ生シ來
レリ。彼ノ露國ノ如キ其西方ノ運動ニ於テハ寸進尺退。鬱陶敷ニモ係ハラス。其一ヒ錄
チ東スルヤ。其曾テ自ラ征服ヒラレタルタル人種ハ今ハ退テ之ヲ征伏シ。野獸ヲ郊
原ニ追フカ如ク。隨テ進ミ。隨テ東シ。恰モ無人ノ境ヲ奔ルカ如ク。一瀾千里忽ニシテ中

三部日叙東
西人種古今
之運動蕩々
數千貫至此
脫出所以其
然之理如此
而論有歸趨

央亞細亞ニ龍蟠シ。アフガンニ鄰リ。滿州ニ接シ。以テ我北門ノ鎖鑰ヲ叩キ。黑龍江上ニ
東洋艦隊ヲ浮ヘ。長白山頭ニハ猛鷲ノ旗影飄々トシテ朔風ニ颯ルノ勢ナリ。

今ヲ去ルコト二十五年徳川政府ノ末年ニ。露國ノ軍艦カ對嶋ニ來リテ同嶋ヲ占領セント
企テ時ノ政府ハ英國ノ力ヲ借テ漸ク其企テ拒ミタルコトハ。今尙才世人ノ記憶スル處ニ
シテ當時英國公使トシテ日本ニ駐在シ。親シク此事ニ關係シタルルサー、フオールド、
アルマツク氏カ先頃露國カ再ヒ對嶋ニ事アラントスルノ風聞ヲ聞キテタイムズ新聞ニ
投書シタルヲ見ルニ。

(註)氏ハ先ヅ日本政府ハ近頃露國カ對嶋ヲ覬覦スルトノ風説アルヲ聞キテ憂慮スル
所アル由ナルガ先年予カ日本ニ在職中ニ在リタルコトヲ回想スレハ斯、ル風説ハ日本
政府ノ心ヲ疾マシムルニ相違ナカル可シト云ヒ。夫ヨリ露國人民ノ性質ヨリ又其事
制政治ノ他ニ異ナル所トテ一ヒ目指シタル事ハ常ニ之ヲ固執シ長ク其政略ヲ變セサ
ルコトヲ述ヘテ露國ハ其目指ス處コンスタンチノープル府ニアルモボスホラス海峽ニ
アルモ。中央亞細亞及ヒ支那ニアルモ。又ハ黑龍江及ヒ蒙古地方ニアルモ。一ヒ之ニ

目ヲ掛ケタル上ハ何程ノ故障ニ遇フモ決シテ之ヲ打棄ルコトナク。或ハ一時ノ都合ニテ之ヲ後回シト爲スコトナキニアラサレ也。早晚時機ヲ伺ヒ再ヒ之ヲ持出シテ結局其目的ヲ達スルニ至ラサレハ止マス。然ルニ對馬ハ朝鮮海峽ノ東邊ニ於ケル無比ノ良地ニシテ其嶋ハ一港ハ水深ク海灣遠ク内地ニ入り氣候暖和ニシテ終歲氷結ノ憂ナク。海門狹窄ニシテ容易ニ敵兵ノ侵入ヲ防クニ足リ。兵略上ニテ云ハ、恰モ天然ノセバストポールトモ云フ可キ要港ニテ加フルニ其地ハ平時ニ於テ太平洋ヨリ支那海ノ貿易ヲ支配シ事アルキハ一舉シテ朝鮮又ハ北京ニ攻入ルコトヲ得ルノ便利アレハ露國ニ取リテハサガレイン以北サイベリヤノ全地ト沿海一帶ノ領地トヲ合ハセタルニモ勝レル價アルヘク先年歐米諸國カ始メテ日本ト條約ヲ結ヒタル後。間モナク露國カ之ヲ取ラントシタルヲ見テモ同國カ深ク此嶋ニ望チ掛クルヲ見ル可シ。

霜ヲ履ンテ堅氷至ル。嗟呼我邦ノ危機此ノ如シ。我人民タル者豈ニ其眼孔ヲ東洋ノ全局面ニ注カスシテ可ナランヤ。然リト雖彼ノ露國カ東洋ニ向テ其野心ヲ逞フセント欲スルニモ係ラス。既ニ東洋ニハ一ノ主人アルコトヲ記憶セサル可ラス。主人トハ誰ソヤ。即チ英國是レ也。而シテ英國ノ尤モ其勢威ヲ東洋ニ振フ所以ノ者ハ印度アルカ故ナリ。然ラハ則チ彼ノ露國カ虎視眈々恆ニ其機會ヲ俟テ此レヲ英國ノ手ヨリ終シ奪ハント欲スルハ又ダ故ナキニ非ルナリ。而シテ彼ノ露國ハ如何ニシテ之ヲ奪ハントスル乎。先ツアフガニスタンヨリメ之ヲ奪フノ地ヲナサ、ルヘカラス。ソレ字内ノ運動ハ東洋ニ集リ。東洋ノ運動ハ印度ニ集リ。而シテ印度ノ運動ハアフガニスタンニ集ル矣。蓋シアフガニスタンハ英。露ノ爭地ナリ。英ノ印度ヲ守ラントスル必ス此ニ於テ守ラサル可ラス。露ノ印度ヲ攻メントスル必ス此ニ於テ攻メサル可ラス。是レアフガン爭論ノ恒ニ英露ノ間ニ絶ヘサル所以ナリ。而シテ此ノ問題ハ東方論ノ一大關鍵ト云ハサル可ラサル所以ナリ。ヨシ年來破裂シタルアフガニスタン境界論ノ如キ。去年サリフバリー侯内閣カ姑息ノ手段ヲ以テ一時ニ彌縫シタルトハイヘ。是レ尙ホ噴火山ノ口ヲ壓スルカ如ク却テ人ヲノ後來ニ於テ大噴火ノ大破裂アラントヲ預想セシムルニ足ルナリ。今ヤアフガニスタンノ亞密爾アフオルラマンノ如キ其表面ハ英國ノ臣僕タルカ如シト雖モ。其實ハ露國ノ奇貨ナルコトハ少シク東方論ニ通達スルノ士ハ皆知ル所ナリ。彼レ多年露國ノ

域中ニ住シ。而シテ久シク其厚遇ヲ被レリ。而今ヤ露國ノ密使ハ憧々トシテ其都城タルカホルニ往來セリ。其燕遊一日ノ交情ニアラサル以テ知ル可シ。吾人ハ嘗テ前ノ波斯駐劄合衆國公使ベンツヤミン氏カ波斯ニ關スル東方論ヲ讀ムニ實ニ左ノ語ヲ發見セリ。

露國ノ政略ト雄圖トハ實ニ昨春(明治十八年)露國官吏ノ口ヨリ明快ニ公言セラレタリ。其言ニ曰ク汝ハ東方ノ境界ニ關スル曖昧模糊ノ巧言ヲ信スルヲ止メヨ。縱令何人カヘラツト(アフガニスタン)西都ヲ取ルノ必要ナシト指ブモ之ヲ信スルヲ止メヨ。縱令余カ之ヲ指フモ或ハ又ハサール(皇帝陛下)其人ノ之ヲ指フモ之ヲ信スルヲ止メヨ。我輩ハヘラツトヲ取ルノ止ム可ラサルノ必要ヲ感ス。故ニ我輩ハ早晚之ヲ取ル可シ。

此ノ言果シテ信ナラハ。今日ニ於テ隱伏シタル禍機ノ破裂スルハ決シテ遠キニ非サル可シ。吾人ハ唯タ西天ヲ睨シテ其黒烟ノ上ルヲ歎ツ而已。

蓋シ英國カ印度ヲ征服シタルノ歴史ハ則チ英國罪惡ノ歴史ニシテ吾人カ茲ニ喋々スル

ヲ要セス。天下ノ人士而シテ其本人タル英國人スラ承認スル所ニシテ。其他香港ニ於ケル。滿國ニ於ケル。日本ニ於ケル。或ハ昨年緬甸ニ於ケル。止ムヲ得サルカ爲ニ戰フタリト辯護スレモ。止ムヲ得サルカ爲メトハ果ソ他國ヲ奪ハサルヘカラサルノ止ムヲ得サルノ故カ。吾人ハ之ヲ外ニシテ更ニ他ニ止ムヲ得サルノ理ヲ發見スルヲ能ハサルナリ。其他英國カ巨文嶋ニ於ケル。露國カ濟洲島ニ於ケル。日耳曼カ馬太群島ニ於ケル。或ハカロライン島ニ於ケル。佛國カ安南ニ於ケル。或ハ臺灣福健ニ於ケル。吾人ハ渠輩カ如何ナル權理ヲ以テ之ヲ占領シタルカヲ知ラス。唯強者ノ權ヲ以テ之ヲ占領シタルノ外ハ更ニ一モ知ラサルナリ。

之ヲ要スルニ東方論ナル者ハ今日ニ於テ既ニ早晚其無殘無慈悲ナル歐洲人民ヨリ吞滅セラル。命運ヲ有シタル憐レナル東洋ノ諸國カ果シテ其ノ如何ナル人種ニヨリ。如何ナル國ニヨリ。如何ナル時ニ於テ吞滅セラルカノ問題ナリ。彼ノ緬甸ノ如キハ其面積殆ント佛國三分ノ二ニ過キ。三條ノ大河ハ茫々タル沃野ヲ横リ。其尤モ森林ニ富ミ。石油。石炭。金屬。寶石。若クハ護謨。硫黃等ニ富ミ。其郊原ニハ三千萬ノ農夫ヲシテ其業ヲ

營マシム可キ田地アルノ大國ナルニ係ラス。一朝ニシテ唯野蠻ニシテ弱小ナルノ罪ヲ以テ英國ノ爲ニ滅サル、ヤ天下一人ノ涙ヲダニ澁ク人ハアラサルナリ。吾人ハ彼ノカムベルカ波蘭亡滅ノ詩ヲ誦シ爲ニ慨嘆セサルヲ得ス。

嗚呼年代ノ歴史ニ書カレケル血腥キ畫圖ヤ。サルマシヤハ罪ナキニ亡滅シタリ。而シテ泣ク者トテハアラス。オオテ揮フテ之ヲ救フ義侠ノ友モナク。不運ヲ憐ミ菩提ヲ叩フ慈悲アル敵モアラス。

ソレ村落ノ農夫ノ死スルヤ尙ホ之ヲ爲ニ哭スル者アリ。而シテ堂々タル大國ノ死スルヤ天下ノ人皆テ冷眼ニ看過シ知フサルカ如キハ何ソヤ。

吾人ハ之ヲ疑フ。彼ノ植物カ動物ノ爲ニ生シタルカ如ク。動物カ人類ノ爲ニ生シタルカ如ク。東洋ナル者ハ或ハ歐洲人ノ爲ニ生シタルニハアラサルカト。吾人嘗テ神皇正統記ヲ讀ムニ實ニ左ノ古傳説ヲ見ル。而シテ此ノ古傳説タルヤ更ニ我カ東洋ノ現狀ニ適シタルヲ見ルナリ。

出雲の籬の川上と云所にいたり玉ふ。其所にひとり翁と姓どあり。一の少女をすへ

てかききてつゝ泣けり。素戔嗚尊たそと問ひ玉ふ。我は是國神也脚摩乳手摩乳と云ふ此少女は我子あり奇稻田姫といふ。さきに八箇の少女あり年とに八岐の大蛇のためニ吞れて今此おどめ又吞まれむとすと申ければ尊我にくれんやと宣ふ。勅のまゝに奉ると申ければ此おどめを湯津のつる櫛に取あし。みつらにさし八醜の酒を八の槽にもりて待ち玉ふに。はたして彼の大蛇來れり。頭をのく一槽に入て吞み酔てぬふりけるを。尊はかせる十握の劍をぬきてすゝに切つ。

嗟呼印度既ニ亡ヒ。安南又亡ヒ。緬甸又續テ亡フ。剩ス所ノ國モ唯名義上ニ於テ獨立國タルヲ得ル而已。意フニ此レモ又早晚大蛇ノ腹中ニ葬ルノ命運ヲ免カレサルヤ否ヤ。第十九世紀ノ今日ニ於テハ八岐ノ大蛇ハアレヒ素戔嗚尊ハアラサル乎。實ニ覺東ナキ時代ト云フ可シ。ソレ波斯ノ前途ハ如何。支那ノ前途ハ如何。朝鮮ノ前途ハ如何。抑モ亦我日本ノ前途ハ如何。皆ヲ決シテ前途ヲ望メハ雲行甚ク急ナルヲ見ルナリ。吾人ハ實ニ之ヲ掛念スルニ堪ヘサル也。想フニ吾人ハ唯第二十世紀ノ歴史ニ於テ其判決ヲ待タシム。

(第一外部社會四圍ノ境遇。裏面ヨリ論ス)

嗟呼天下ノ亂ソレ何ノ日カ止マン。吾人ハ歐洲現今ノ形勢ヲ觀テ實ニ浩歎ニ堪ヘサル也。然レモ彼ノ歐洲諸國ハ如何ニシテ此ノ如ク莫大ナル兵備ヲ整ルヲ得ル乎。必ス莫大ナル經費ヲ要セサル可ラス。而シテ其莫大ナル經費ハ如何ニシテ給スルヲ得ル乎。必ス社會ノ富ヨリ生シ來ラサル可ラス。既ニ此ノ兵備アレハ亦タ此ノ兵備ヲ維持スルノ富アラサル可ラス。然ラハ則チ彼ノ表面ニ武備ノ盛大ナルノ事實ハ直ニ其裏面ニ於テ生産機關ノ澎脹シタル事實ヲ證明スルモノニアラスシテ何ソヤ。コブデン曰ク「幸ナル哉。皇天ノ命ヤ。彼ノ戰爭ナル者ハ自ラ廢滅セサル可ラサルノ性質ヲ其中ニ含蓄スルモノナリ」ト。ソレ戰爭程高價ナル者ハアラサル可シ。大ナル戰爭ヲ爲サント欲セハ大ナル代價ヲ出サル、可ラス。大ナル代價ヲ得ント得セハ大ニ生産ノ機關ヲ發達セシメサル可ラス。而シテ生産機關ト武備機關トハ其勢ヒ相兩立スルモノニアラサレハ。一ヒ生産機關カ突進スルトモハ。武備ノ機關ハ必ス一步ヲ退カサル可ラス。再ヒ一步ヲ突進スルト

モハ更ニ再ヒ一步ヲ退カサル可ラス。之ヲ例スルニ恰モ獨木橋ヲハ兩岸ヨリ渡ルカ如ク。互ニ相接近スルニ從ヒ。其勢愈々兩立スル能ハス。一進一退。此レ進ンテ目的ノ岸ニ達スルトモハ。彼レ退テ其發程ノ岸ニ歸ラサル可ラス。笑フニ堪ヘタリ。彼ノ歐洲ノ權謀政治家ヤ。日夜只兵備擴張ニ汲々トシテ。却テ其兵備擴張ノ手段ナルモノハ兵備擴張ノ目的ヲ遮斷スルノ大敵タルヲ忘却シタルハ何ソヤ。實ニ第十九世紀ニ於テ武力ノ運動ヲ自由ナラシムルノ手段ハ唯富ノ勢力ヲ増加スルノ一アルノミ。而シテ富ノ勢力ヲ増加スルノ手段ハ實ニ武力ノ勢力ヲ減スルノ手段ニ外ナラス。故ニ彼ノ帝王宰相等カ武備擴張ニ從事スルモノハ。人ヲ斬ラント欲シテ却テ短劍ヲバ已レカ頸上ニ擬スルモノニ非ス哉。既ニ然ラハ彼ノ腕力主義ノ命運モ豈ニソレ遠キニアランヤ。然ラハ則チ現今ノ大勢ヨリ歸納シ來レハ歐洲ヲ支配スルノ勢力ハ實ニ兵ト富トノ二大主義ニ歸セサル可ラス。而シテ何レカ最モ重ナル勢力ヲ有スル乎。則チ兵能ク富ヲ支配スル乎。富能ク兵ヲ支配スル乎。是レ吾人カ講究ス可キ問題ナリ。蓋シ第十九世紀ハ世界ハ生産主義ト武備主義トノ一大戰場ニシテ今日ノ時代ハ實ニ二主義戰爭ノ時代ト云ハサ

サル可ラス。抑モ此二個ノ機關ハ人生ト同時ニ社會ニ出テ來リ。又同時ニ發達シタリト雖モ異種雜類互ニ相混合スルハ事物ノ未ダ進化セサル以前ノ本色ニシテ近古ニ到ル迄殆ント其區別ヲ見ル能ハサルカ如キモノアリ。試ニ上古ノ歴史ニ散見スルノ事實ヲ見ヨ。萬伯カ餉ニ仇スト云ヒ。鄭人カ温ノ麥ヲ刈ルト云ヒ。イスラエル人カ牧場ヲ爭フト云ヒ。高地ノ蘇格人カ低地ノ蘇格人ノ牛羊穀物ヲ奪フト云フノ類ノ如キ。其戰爭ノ目的ハ是レ生活ノ方便ヲ互ニ爭フモノニ非スヤ。聞クコンスタンチン大帝以後天下ノ耳目ニ著明ナルノ戰爭二百八十六戰。而シテ其原因タルヤ。レツケー氏ノ説ニヨレハ第一宗教信向ノ反對ヨリ生シ。第二經濟上實利ヲ爭フヨリ生シ。第三君權民權ノ反對ヨリ生スルモノトセリ。知ル可シ。彼ノ貿易ノ利ヲ爭フ者ハ近世ニ到ル迄實ニ其重ナル戰爭ノ源因タリシヲ。即チ彼ノスベーン人ノ如キ若シ金銀ニ富ム國アリト聞ケハ餘力ヲ利サズ。之ヲ制服シタルカ如キ其一例ナリ。此ノ如ク戰爭ナル者ハ一種ノ盜賊ニシテ而シテ彼ノ貿易ナルモノモ亦已レテ益シテ他ヲ損スル一種ノ盜賊ノ類ナリトハ是レ古今普通ノ觀念ニシテ貿易ヲナスハ盜賊ヲナスコトナリ。盜賊ヲナスハ戰爭ヲナスコトナリト

シ。貿易。戰爭ノ二者ハ恒ニ盜賊ナル普通ノ目的ニ類テ聯帶スルモノナリト思ヒ。其極近古ノ商人ハ戰爭ノ主義ヲ以テ貿易ヲ行ヒ。近古ノ武士ハ商業ノ目的ヲ達センカ爲ニ戰爭ヲナシ。商人ハ商業ヲ以テ戰爭トナシ。武士ハ戰爭ヲ以テ商業トナシ。兵ト商トハ殆ト同一物ニシテ唯表裏ノ觀察ヲ殊ニシタル迄ニ止マリシモ亦故ナキニ非ス。此ノ如キノ妄想ハ獨リ世ノ凡庸政治家ノミナラス。モンタインノ如キ。ペーコンノ如キ。或ハ佛國革命原因ノ張本人ト云フ可キ爛眼ナルウオルテールノ如キ。又或ハ第十八世紀ノ中間ニ於テ英國第一流ノ政治家チヤム侯ビットノ如キスラ佛國ト戰端ヲ發キ其領地タルカナダヲ押領セシメタルハ全ク英人ヲシテ其貿易ノ利ヲ專有セシメンカ爲ナリト云ヘリ。彼ノ經濟學士セイ氏云ヘルコトアリ。凡ソ此ノ二百年間ニ於テ歐洲ノ政治家カ此等ノ妄想ヨリ。即チ貿易上ノ利ヲ爭フヨリシテ戰爭ニ從事シタル者凡ソ五十年ニ下ラスト。蓋シ彼ノ偏僻ノ論。邪妄ノ主義ノ如ク世ヲ禍スルモノハアラス。人豈ニ自ラ好シテ惡ヲナサンヤ。而シテ此ノ如キ禍害ヲ社會ニ及ホス所以ノモノハ唯其ノ爲ス所ノモノ善ナリトシ。其當ヲ得タリトシ。終ニ死ニ到ル迄自ラ知ラサルニ坐スル而已。豈嘆セ

サル可ケンヤ。既ニ此等ノ諸名士ニシテ尙オ此ノ如シ。滔々タル世俗ノ流輩ガ重金説。保護主義。專賣主義等ニ心酔シタルモ固ヨリ宜ナリト云フ可シ。勢ヒ極レハ必ズ變ス。歐洲ノ政治家等カ其妄迷ノ政略ヲ以テ其人民ヲ困ソ。其邦家ヲ惱シ。彼ノ百姓ヲシテ舉疾レ首蹙レ頼而相告曰。吾王吾宰相之好ニ奪掠。夫何使_レ我至_レ於此極一也。父子不_レ相見。兄弟妻子離散。ト云ハン計リノ極點ニ達セシメタルニ。幸ナル哉歐洲人民ハ始メテ茲ニ經濟世界ノ新主義ヲ説法スルノ救世主ニ遭遇シタリ。蓋シ貿易ノ主義ト戰爭ノ主義トハ氷炭相容レサル者ニシテ戰爭ノ主義ハ己レヲ利シテ他ヲ損シ彼我ノ利害決シテ兩立セサルニアルモ貿易ノ主義ハ全ク之ニ反シ。己レヲ利シ併セテ他ヲ利シ彼我ノ利益是非共兩立セサル可ラサルニアルノ一大真理ヲ歐洲諸國ニ向ツテ説法シタルモノハ實ニアダム、スミス其人ヲ以テ破天荒ト云ハサル可ラス。勿論伊太利。佛蘭西。蘇格蘭等ニ數多ノ學士出テ、氏ト前後ニ此ノ説ヲ唱ヘタルモノアレ也。未ダ氏カ聲ノ如ク大ニシテ遠キモノハアラス。實ニ一千七百七十六年ニ於テ始メテ世界ニ出タル氏カ一篇ノ富國論ハ貿易世界ノ福音書ト云ハサル可ラス。氏曰ク

各國人民皆其與ニ貿易ヲナス。他國人民ノ繁榮ナルオバ猜疑ノ眼ヲ以テ之ヲ觀。而シテ他ノ利益ヲ以テ直ニ我ノ損害トナスカ如シ。ソレ商業ナルモノハ尙ホ一個人ノ間ニ於ケルカ如ク。邦國ノ間ニモ自ラ自他ノ友愛和睦ノ關紐トナル可キ筈ナルニ。却テ乖離敵對ノ尤モ甚キ原因トナレリ。古往今來帝王宰相ノ飽ヲ知ラサル功名心モ。未ダ商業家製造者ノ險惡ナル猜疑心ノ如ク歐洲ノ平安ヲ害シタルモノアラサルナリト。

氏ハ又曰ク

隣國ノ富ハ戰爭若クハ政略上ノ交渉ニ於テハ我ニ危險ヲ與フレ也。通商貿易ニ於テハ實ニ利益ヲ與フルモノナリ。蓋シ旗鼓相見ユルノ日ニ於テハ彼ノ富ハ彼レヲシテ能ク我ニ優ルノ海陸軍ヲ備ヘシムルヲ得ルモノナリ。然レモ天下泰平舟車往來ノ日ニ於テハ又タ我カ物産貨物ヲハ其富アルカ故ニ高貴ナル價值ヲ以テ之ヲ交易シ。景氣能キ市場ヲ以テ之ニ與フル者ナリ。例ヘハ富者ハ貧人ヨリモ其隣郷ニ住ム生産者ハ善キ得意者シルカ如ク。富榮ナル隣國モ亦然リト云ハサル可ラスト。

此ノ如ク氏ハ歐洲諸國ニ向テ大呼シテ曰ク光アレヨト。而シテ商業ノ太陽ハ車輪ノ如

ク噫々トシテ中天ヲ軋リ上リ。終ニ歐洲ノ面目ヲ一變スルニ到レリ。ソル、ゼームス、マツキントシ曰ク「文明諸國ノ立法ノ尤モ重要ナル點ヲハ直截ニ。全躰ニ。且ツ更ニ復古ス可ラサル程ノ變革ヲ及セシハ恐クハ唯此一書ナラン」ト實ニ此新主義ノ向フ所敵ナク歐洲全躰ヲ風靡シ。山トナク河トナク。草モ木モ其威ニ從ハサルハナク。如何ナル頑固ノ帝王宰相モ。如何ナル魁斷ヲ私スルノ豪商モ。如何ナル惑溺的ノ政略モ。今ハ殆ト一掃シ去ルノ勢アルニ際シ。茲ニ又其新主義ノ運動ニ尤モ必要ナル生産世界ノ新手段ナルモノ出タリ何ツヤ曰クワット氏ノ蒸氣機關ノ發明即是ナリ(一千七百六十九年)自由貿易主義ト蒸氣機關トハ雲龍相逐フノ勢ヲナシ一ノ必要ハ一ノ發明ヲ生シ。一ノ發明ハ更ニ一ノ必要ヲ生シ。進歩ヨリ進歩ニ進ミ。發明ヨリ發明ニ移リ。僅々タル五十年。此等ノ大作用ハ實ニ突兀トシテ一ノ新世界ヲ宇宙ニ湧出シタリ。新世界トハ何ソヤ。第十九世紀ノ世界是也。

吾人チシテ今日ノ生産世界ノ現象ヲ適當ニ理會セシメント欲セハ。宜ク先ツ今日ノ分配通信機關ノ活動スル有様ヲ觀察セシメサル可ラス。何トナレハ彼百貨ノ離合集散スル所以ノ者ハ唯此ノ機關アルカ故ナレハナリ。故ニ此機關ハ實ニ生産社會ニ於テ決シテ欲ク可ラサル必要ノ事情ナレハナリ。

第一。蒸氣船ノ發明是也。

(註) 蒸氣船行レテヨリ航海頗ル便ヲ得。風帆船ヲ以テ一ヒ航海スルノ間ハ蒸氣船ハ三ツヒスルカ故ニ假令其艘數ヲ増サ、ルモ貿易ヲ便利ニセシヤ實ニ大ナリ。且ツヤ蒸氣船ヲ以テスレハ船舶ト水夫ヲ要スル大ニ寡キコ亦之レカ一因ヲナス。何トナレハ今若シ全ク風帆船ノミチ用レハ必ス現今ヨリ三万三千艘。水夫五十五萬人ヲ増サ、ル可ラス。果シテ然スレトハ產出者ニ益セス。又消費者ヲモ利スルナク徒ニ物價ヲ騰貴スルコト六分ニ至ル可シ。現時各國船舶ノ噸數ヲ擧クレハ左ノ如シ

但シ噸數ハ千位ニ止ム

國名	漁船	風帆船	合計
英國	三、三六三	五、八〇七	九、一七〇
合衆國	一、二二七	三、四一一	四、五三八
瑞典、諾威	二六〇	二、〇〇三	二、二〇九

伊太利	九八	一、二九二	一、三九〇
日耳曼	二二七	八七六	一、一〇三
佛蘭西	三三四	七二五	一、〇五九
西班牙	一七五	五六五	七四〇
和蘭	一三五	四〇二	五三七
露士亞	一〇六	三九二	四九八
希臘	七	四二七	四三四
奧地利	八一	三三九	四二〇
南米	五九	九五	一五四
葡萄牙、埃及	八三	一四六	二二九
全計	六、〇〇一	一六、四八〇	二二、四八一

第二。鐵道ノ發明是也。

(マルホール氏萬國進歩ノ實況)

(註)今や回首シテ往時ヲ顧ルニ。彼ノ有名ナルスタフエンソン氏ノ時代(按スルニ千八百廿年)ヨリ以來工業ノ練熟ハ多ク鐵道ノ事ニ集リ以テ最著大ナル功ヲ奏シタルヲ知ルナリ。曩ニスタフエンソン氏カ倫敦府ヨリピルミングハム迄ノ一線ヲ作りシヤ。當時世人カ驚ク可キ大工事トナシ。恰モチエオプスノ金字塔ノ如ク思惟シタリ。然レニ之ヲ近時築造セル諸線路ニ比較セハ難易大小固ヨリ同日ノ論ニアラザルナリ。因ミニ曰フピルミングハムノ線路ハ彼ノ金字塔ノ工事ヨリハ勞力ヲ費セシテ五割六分ナリ。而シテ金字塔ハ十萬ノ人夫ニテ二十年ヲ要シタレハスタフエンソン氏ハ此工ヲナスニ人夫僅ニ二萬人ニ過キス。今其二三ヲ擧テ之ヲ説カン。近年ノシテ又五年ヲ以テ落成セリ(スマイルス氏ノ言) 今其二三ヲ擧テ之ヲ説カン。近年ノ工事ニ係ル彼ノ南米アンデス山ヨリ白露ヘ亘レル「オローヤ」鐵道ハ海面ヨリ高キ一萬五千六百四十六「フヒート」ナリ。此鐵道ハ六十三ノ隧道ヲアンデスノ山中ニ穿チ。數多ノ橋梁ヲ溪壑ノ間ニ架ケ。其高道ニシテ且ツ峻嶮ナル多ク世界ニ見サル所ナリ然レニ石階鏡々トシテ聳拔セルリグヒ鐵道ニ比スレハ稍々峻ナラサルナリ。蓋シリグヒ線路ハ頂上ニ達スル唯四英里(ルセルン湖水面ヨリ高キ)ナリト雖モ其間巨巖突出シテ鋸牙ノ如ク最モ峻絶トナス。又々地中鐵道ノ最モ著明ナルモノハ倫敦ノメ

トロポリタン鐵道ニシテ其費用一碼六百磅ナリキ。又地形ノ峻ナルニアラスシテ大ニ費シタルハ紐育高イレス・ナツド・レイルウエー鐵道是ナリ。此鐵道ハ軌道ヲ屋上ニ架シ。諸人ノ雲集セル繁昌地ヲ進行シ。其狀恰モ空中ヲ馳スルニ異ナラス。而シテ是ニ乗ル所ノ旅客ハ毎月二百萬人ニ下ラサルナリ。然レモ其事業ヲ起スニ非常ノ出費ヲ要シ。一英里凡ソ七萬八千磅ノ巨額ヲ爲セリ。近時普國伯林府ノ大博士シーノンス氏ハ電氣ヲ用イテ是ト同様ナル線路ヲ築造セント企テタリ。

鐵道ヲ敷設シテ以テ行旅ノ便ニ供セシハ千八百二十五年ストツクトンヨリダアリントト（俱ニ英ノ地名）ノ間ニ開キタル者ヲ以テ嚆矢トス。過去三十年間ニ我工師ノ世界各地ニ敷築セシ鐵道十萬英里ニ及ヒ其費用十八億萬磅ノ巨額ヲ致ス。今鐵道ノ諸大洲ニ擴張シタル景況ヲ示サハ左ノ如シ。

年代	歐羅巴	亞米利加	亞非利加	亞細亞	濠洲	全計
千八百三十八年	五五〇	三四〇	、	、	、	八九〇
同四十年	五、五〇〇	四、〇九〇	、	、	、	九、五九〇

同五十年	同七十年	同八十年
二四、二〇〇	六〇、四〇〇	九五、二七一
二〇、一六〇	五六、三〇〇	九二、八四二
四〇	五八〇	二一、〇六〇
、	四、五〇〇	七、八七〇
、	一、三〇〇	三、九八〇
、	一、三〇〇	二〇、二〇二
四四、四〇〇	一二三、〇八〇	二〇、二〇二

(マルホール氏萬國進歩之實況)

第三〇電信機ノ發明是也。

(註)電信ノ世ニ行ハル、ニ至リシコ未タ甚タ久カラサルナリ。一千八百十六年ニ當リテローナルド君ノハムマアスミスニ試ミタル方法ヲ改良シタルノ後。クローク氏及ヒホウイートストーン氏等カ電信機通信ノ免狀ヲ得タルハ實ニ千八百三十七年ニシテ。是ヲ翌々年始テ「グレート、ウエステルン、レイルウエー」瀛車ニ用イタルモ千八百四十八年ニ至リテ尙瀛車ノ之ヲ設クルヲ拒ミシモノ千七百英里アリキ。蓋シ當時ノ人ハ女皇ノ談話七百語ノ六十五分ニシテ倫敦ヨリリバープールヘ達シタルヲ見テ驚嘆シタリトソ。又始メテ電線ヲ水底ニ布設セシハ千八百五十年ドーブルトカレイス(按スルニドーブルハ英ニアリカレイスハ佛ニアリ)間ノ電線トナス。而シテ現今海底電線ノ數三百二十。其長サ

九萬七千六百英里ナリ。今世界ノ陸地ニ架設セル電信線路ハ左ノ如シ。(但シ音信ノ數ハ千位ニ止ム)

國名	里程(英)	音信ノ數	音信ノ英里	音信人ノ數
歐羅巴	二一八、四五〇	七八、〇〇〇	三五〇	七五
亞墨利加	一四〇、五五〇	二四、〇〇〇	一七〇	三三
亞細亞	二二、四〇〇	二、〇〇〇	九〇	一三
亞非利加	一四、〇五〇	一、〇〇〇	七〇	五
澳洲	二五、七〇〇	四、〇〇〇	一六〇	一五〇
合計	四二一、一五〇	一〇九、〇〇〇	二六〇	九

今若シ是ニ加フルニ海底電線九萬七千五百六十八英里ヲ以テセハ五十一萬八千七百有餘英里ヲ得。

第四。郵便法ノ進歩是也。

(マルホール氏萬國進歩之實況)

(註)何レノ國ヲ問ハス。郵便物送達ノ多寡ハ以テ其商業ノ盛衰。智識ノ進否ヲトスルヲ得可シ。左ニ各國毎一人書狀郵送ノ數ヲ掲ケテ以テ十年間進歩ノ景況ヲ示サン。

國名	千八百六十七年	同七十年	國名	千八百六十七年	同七十年
英國	二七	三五	奧匈牙利	六	八
瑞士	二四	三〇	加奈太	六	八
合衆國	一五	一九	西班牙、葡萄牙	四	五
奧地利	一三	一八	伊太利	三	四
日耳曼	九	一五	西盤亞米利加	$\frac{7}{12}$	二
和蘭、白耳義	九	一四	希臘	$\frac{7}{12}$	二
佛蘭西	一〇	一〇	露士亞	$\frac{3}{4}$	一
諾威、瑞典、噠嗎	七	九	日本	、	一

(マルホール氏萬國進歩ノ實況)

第五。新聞紙ノ發行是也。

(註)左ニ掲クル表ハ世界各国ニ於テ新聞創始ノ年代。千八百四十年及ヒ現行ノ發行高。并ニ其年々印刷ニ用フル紙ノ噸數ヲ示ス。

國名	創始ノ年	一千八百四十年	一千八百八十年	紙高ノ噸
英國	一六二二	四九三	一、八三六	一六八
合衆國	一七〇四	八三〇	六、四三二	五二五
佛蘭西	一六〇五	七七六	一、二八〇	一三四
日耳曼	一五二四	三〇五	二、三五〇	二四四
奧地利	一五五〇	一三二	八七六	九二
露士亞	一七一四	二〇四	三二八	七二
和蘭	一七五七	七五	三七六	四〇
瑞典	一六四四	一〇四	一二〇	三〇

伊太利	一五六二	二一〇	一、一二四	三八
西班牙	一七〇四	九二	一五〇	一〇
瑞士	、、、	五四	二三〇	一七
西亞利加	一七二八	九八	八五〇	二〇
加奈太	一七六五	八八	三四〇	二〇
西印度	一七三一	三七	五〇	五
澳洲	一八〇五	四三	二二〇	一五
土耳其	一七九七	八	七二	
百兒社	一八三八	二	、、、	
印度	一七八一	六三	六四四	
支那	一八八〇	四	、、、	三〇
アフリカ	一八二四	一四	四〇	
サントウイッチ	一八三五	一	六	

日	本	、、、	、、、	三四
合計		三、六三三	一七、三四八	一四七〇

現今新聞紙ノ發行高ヲ舉ンニ合衆國ハ四百萬部。英國ハ二百萬部而シテ此他諸國ヲ合セテ六百萬部トス。

(マルホール氏萬國進歩之實況)

以上ノ諸ノ發明。諸ノ進歩ハ相共ニ協同一致ノ運動ヲナシ。以テ著大ナル變化ヲ地球上ニ生シタリ。試ニ見ヨ。彼ノ豪膽不敵ナルマセラノカ水平ニ明滅スルノ南極星ノ微光ヲ其頼ミトナシ。千古未航ノ大洋ニ突出シ。驚喜ノ涙ヲ濺キ。上天カ自家ノ鐵腸雄志ヲ試ミルニ足ル絶大ノ海面ヲ興ヘタルヲ祝シ。始テ太平洋ノ名ヲ下セシ當時ニ於テハ。地球ヲ一周シタル實ニ三年ノ歲月ヲ費シタリ。而シテ其危險ヲ犯シタルノ一點ニ於テハ固ヨリ尋常一様ノ舟子ノ能クスル所ニ非ス。唯千古ノ一人マセラノ如キニシテ能クスル程ニシテ。所謂積水不可窮ト詩人カ詠シタル如ク大洋ヲ航スルハ天ニ上ルヨリモ難キノ有様ナリシモ。今ハ僅々八十日間ヲ費セハ以テ安穩ニ室中ニ平臥シ以テ地球ヲ一周スルヲ得可ク。倫敦ヨリ自然ノ風力ヲ假ル帆走船ヲ以テ喜望峯ノ險嶮ヲ凌キ。快走

スルモカルクツタニ達スルニハ凡ソ四ヶ月ヲ要シタルニ一タヒ瀛船ノ便ヲ假レハ九十
四日ニ過キス。而シテ一ヒ蘇士地峽開鑿ノ大事業ノ一千八百六十九年ニ成就シタル以上
ハカルクツタハ愚ロカ東洋ノ極端ナル我日本ニスラ四十日内外ニテ達スルヲ得可シ。
彼ノ天ニ達セントスル角石塔ノ大工業ヲ成就シ。萬古ノ年代ニ於テ他ノ人類ヲ睥睨シ
タル埃及人等カ數千年前其勞力ト經驗トヲ盡クシ。幾度カ之ヲ試ミ遂ニ果ス能ハスシ
テ放擲シタル此ノ事業モ。彼ノ佛人レッツセツプ氏ハ隻手ヲ振ンテ難ナク之ヲ決行シ。其
餘勇ハ尙ホ止ム所ヲ知ラス。今ハ既ニパナマ地峽開鑿ニ從事シタリ。昔人ヲシテ之ヲ聞
カシメハソレ之ヲ何トカ云ハンヤ。彼ノ鐵道ノ如キハ前世紀ノ人ニ於テハ殆ト夢ニモ
幻ニモ思ヒ當ラサルコトニシテ。彼ノウオルテールハニウトンカ將來或ハ一日五十里ヲ
快走スルノ方便ヲ得ルノ發明アラント預言シタルオハ評シテ。世豈ニ此ノ如キノ妄誕
不稽ノコトアラシヤト大笑シタレヒ。今ハ彼ノ鐵道ハ實ニ彼ノ太平洋ノ岸頭ヨリ大西洋
ノ岸頭ニ到ル迄殆ト一週時間ヲ出テスシテ經過スルニ非スヤ。彼ノ電信ノ如キニ
到テハ其快活ナル實ニ驚クニ堪ヘタリ。今ヤ英京倫敦ヨリ米國ニユウヨルクニ到ル迄

三千餘里ノ海底ヲハ。唯二分半ニシテ通信ヲ傳フルヲ得。若シ十分ヲ費セハ其回答サ
ヘ聞クヲ得ルト云フ。スペインセル氏曰ク

エタンパロー府ノ一市民カ電信ニ因テ倫敦府ノ一市民ニ通信ヲ與フルニ要スル時間
ハ。電信局ニ電信ヲ依頼シ。及ヒ電信局ヨリ之ヲ受取ルノ時間ヲ算入スルモ。尙甚ク
僅少ニシテ此ノ二府ノ間ニ動物ノ如ク肉ノ連續スルノ場合ニ於テ。神經ニ因テ刺衝
ヲ通スルニ要スル時間ノ四分ノ一ヨリ更ニ僅少ナリ。

ソレ社會ノ神經ノ活潑ナルハ動物ヨリモ甚シ。是レ豈ニ驚ク可キノコニアラスヤ。蓋シ
此等ノ新發明ハ獨リ社會ノ表面ニ一大刺衝ヲ與ヘタル而已ニ止マラス。亦タ社會ヲ組
織スル一個人ノ感情ニ著敷其變動ヲ與ヘタリ。上林ノ秋雁ニ依頼セサルモ郵便ハ到ル
處吾人カ通信ヲ托スルニ堪ヘタリ。風ニ臨テ故山ヲ眺メ泣カント欲スルモ。四海八荒皆
我カ故郷ナリ。大凡「古今集」若クハ「唐詩選」ノ世界ハ此等ノ發明ノ爲ニ橫領セラレ。實
際的ノ境界愈々進ンテ想像ハ帝國愈々盛リ。事務ハ勢力日ニ長シ。詩人ハ勢力日ニ減ス。
吾人ハ詩人ノ爲ニハ聊カ嘆息ス可ケレト。我社會進歩ノ現象トシテ之ヲ觀察スレハ實

ニ上天ニ向テ感謝セサル可ラス。サレハ此等ノ分配通信ノ機關ハ火ノ原ヲ燃クカ如ク。
水ノ下ニ就クカ如ク。彼ノ政治的ノ境界ヲハ日ニ侵掠シテ經濟的ノ領地トナシメタ
リ。實ニ現今ノ歐洲諸國ハ政治的ヨリ觀察スレハ種々ノ國躰モアリ。種々ノ人民モア
リ。種々ノ制度モアリテ互ニ相睥睨シ。汝我ヲ斬ラハ我。汝ヲ刺サント謂フカ如キノ意
氣アルニモ係ラス。經濟ノ世界ハ偏ナク黨ナク蕩々トシテ此ハ各國各人民ヲハ網羅シ
テ一ハ聯邦ト見做セリ。

吾人之ヲマコローニ聞ク。彼ノ中古封建割據ノ時代ニ於テハ。歐洲諸國ハ唯一ノ羅馬教
ヲ奉スルヨリシテ。唯一ノ法王ヲ戴クヨリシテ。宗教上ノ聯邦ヲ組織シタリト。而シテ今
ヤ第十九世紀ノ歐洲ハ實ニ生産機關ノ爲ニ一大共和國トナレリ。豈ニ愉快ナラスヤ。
彼ノビスマルクハ曰ク愉快ナル哉今日ニ於テ始メテ路易第十四世以來深仇アル佛國ニ
復スルヲ得タリト。ガンベツクハ曰ク「看ヨク何時カ汝ニ向テセタンノ辱。巴黎城下
ノ耻ヲハ一ヒ雪カスシテ措ク可キカ」ト。然レモ是レ唯武備機關ノ支配スル政治世界ノ
妄想ノミ。經濟世界ニ到リテハ佛國モナク。日耳曼モナク。又タ焉ソ其恩アリ仇アラン

ヤ。英人如何ニ強情ニシテ高慢ナルモ。醉チ醜スルニハ佛國葡萄酒ノ美酒ヲ沾ハサル可ラス。日耳曼如何ニ佛國ヲ仇トスルモ。佛國ノ流麗麗美ノ文學ハ之ヲ賞シテ其書籍ヲ輸入セサルヲ能ハサル可シ。其鐵ヲ生スル國ハ鐵ヲ輸出ス可シ。砂糖ヲ需用スルノ國ハ砂糖ヲ輸入ス可シ。故ニ彼ノ政治世界ニ於テハ此處ハ我ノ領地ナリ。彼處ハ爾ノ所有ナリト石城ヲ構ヘ。鐵壘ヲ築キ。實ニ究屈ノ世界ナレトモ。其實ハ決シ然ラス。坦々タル大道矢ノ如ク。天下壤々利ノ爲ニ往キ。天下熙々利ノ爲ニ來ル。其來ルヤ風ノ如ク。其往クヤ潮ノ如シ。其集ルヤ。需用ノ求心力アルカ故ナリ。其散スルヤ供給ノ遺心力アレハナリ。四海八荒唯商利ノ大競場ニシテ彼ノ大都通邑ナルモノハ唯商利ノ市場ノミ。之ヲ例フルニ水道ニ柵ヲ結ヒ。各人各個其所有ヲ表スレトモ。其實ハ柵下ノ水流相往來スルカ如シ。實ニ奇ナリト云フ可シ。故ニ經濟世界ノ眼孔ヨリ觀察シ來レハ。彼ノ權謀政治家等カ蘇滿張權互ニ傾危ノ政略ヲ行フテ經濟世界ノ運動ニ抵抗スルハ。尙漁村ノ兒童カ海濱ニ立テ砂石ヲ拾ヒ以テ潮流ノ進ミ來ルヲ遮ラントスルカ如シ。實ニ可憐ノ至リト云ハサル可ラス。

分配通信ノ機關既ニ此ノ如シ。サレハ之ヲ利用スル彼ノ貿易ハ如何程ノ進歩ヲナシタルカ。試ニ左ノ一表ヲ見ヨ。

過ル五十年間ニ万国ノ貿易ハ駁々隆盛ノ域ニ進ミ其額八倍スルニ至レリ。即チ左ノ如シ。

國名	千八百三十年	千八百七十八年	增加	國名	千八百三十年	千八百七十八年	增加
英國	八八、〇〇〇	六〇一、〇〇〇	七、〇〇	露士亞	二四、〇〇〇	一三、八、〇〇〇	五、五
英殖民地	二二、〇〇〇	三三三、〇〇〇	一、四、五	南米	一四、〇〇〇	一〇一、〇〇〇	七、〇
佛蘭西	四二、〇〇〇	三六八、〇〇〇	九、〇	伊太利	一一、〇〇〇	九八、〇〇〇	九、〇
日耳曼	三九、〇〇〇	三一九、〇〇〇	八、〇	瑞典	八、〇〇〇	六六、〇〇〇	八、〇
和耳義	三〇、〇〇〇	二七五、〇〇〇	九、〇	西班牙	一一、〇〇〇	二九、〇〇〇	三、五
白耳義	三〇、〇〇〇	二七五、〇〇〇	九、〇	葡萄牙	一一、〇〇〇	二九、〇〇〇	三、五
合衆國	三五、〇〇〇	三三五、〇〇〇	六、五	土東	一五、〇〇〇	八五、〇〇〇	六、〇
埃及	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	及東方	一五、〇〇〇	八五、〇〇〇	六、〇
埃地利	一一、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	二、三〇	合計	三五〇、〇〇〇	二、七八七、〇〇〇	八、〇

(マルホール氏万国進歩之實況)

然ラハ則チ其製造ハ如何。

近世社會文運ノ日々ニ開進スルヤ。製造工事ノ進歩ト殆ト其歩ヲ同ウセサルハ莫シ。看ヨ方今歐洲ニ於テ千二百五十万人ノ職工ヲ雇使シ。日ニ益々盛熾ヲ致シ。以テ社會ニ誇ルノ工業ト雖モ彼ノ華德路戰爭(千八百十五年)ノ時ニ當テハ實ニ微々タル幼稚ノ姿ナリシヲ。然リ而シテ其ヨリ以後製作工藝ノ最モ改良進歩シタル國ハ亦タ必ス繁榮ヲラサルハナシ。今マ若シ各國万般ノ製造事業ノ有様ヲ見ント欲セハ左表ノ如シ。

國名	職工人數	產出高	職工一人當
英國	二、九三〇、〇〇〇	六六五、〇〇〇、〇〇〇 磅	二二四 磅
佛蘭西	一、九三六、〇〇〇	四一六、〇〇〇、〇〇〇	二二〇
日耳曼	二、七八一、〇〇〇	二八六、〇〇〇、〇〇〇	一〇三
露士亞	一、五〇〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇六
澳地利	一、一〇〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇、〇〇〇	一二〇

和蘭	白耳	西牙	葡牙	伊太利	瑞典	合衆國	殖民地其他	合計
一、一八〇、〇〇〇	一、一八〇、〇〇〇	一、一八〇、〇〇〇	六一〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	二、七〇四、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一五、八五一、〇〇〇
一一七、〇〇〇、〇〇〇	一一七、〇〇〇、〇〇〇	一一七、〇〇〇、〇〇〇	七二、〇〇〇、〇〇〇	四二、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	八四六、〇〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇、〇〇〇	二、八〇四、〇〇〇、〇〇〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一一九	一〇八	九〇	三二二	一〇〇	一八〇

(マルホール氏万国進歩ノ實況)

吾人ハ之ヲベンス氏ニ聞ク。一千八百三十三年總糸ノ製造高ハ一ケ年ニシテ以テ五十億里ニ達ス可ク。以テ地球ノ表面ヲバ二十萬回環ラスヲ得可ク。以テ地球ヨリ太陽ニ達スルニ五十一回スルヲ得可ク。以テ地球ノ軌道ヲハ八回半環ラスヲ得可シ。而シテ其木綿布ノ一ケ年ノ輸出高ニ到リテハ之ヲ帶紐トシテ以テ赤道ヲ纏フ一十一回。以テ之ヲ一直接ニ張ルキニハ地球ヨリ月界ニ達スルニ餘リアル可シト。五十二年前既ニ此ノ如シ。

今日ニ於テソノ如何程隆盛ナルカヲ喋々スルハ殆ト無益ノ言ナラン。
 然リ而シテ商業ノ進歩ハ獨リ此等ノ現像ニ止マラス。更ニ一ノ咄々驚ク可キノ現像ヲ
 發出シタリ。何ソヤ。曰ク信約機關ノ發達是也。彼ノ信約ナルモノハ實ニ近世文明ノ一
 大事業ニシテ若シ之ヲ前世期ノ人ニ告ケハ渠輩ハ此ノ如キ奇怪ナル機關ハ「アラビヤ
 ン、ナイト」ノ小説ニコソアラント冷笑ス可シ。實ニ此機關ノ奇巧快活ナル決シテ今世
 紀ノ人ニアラサルヨリハ了解スル能ハサル所ノモノナリ。所謂負債ナルモノハ一種ノ
 富ニシテ社會ニハ負債ノ買賣ヲ以テ一種ノ商業ヲ營ム銀行者ナルモノアリ。而シテ此
 ノ信約ノ機關ノ商業世界ニ於ケル。尙蒸機瀛關ノ運動ノ世界ニ於ケルカ如ク。尤モ絶大
 ノ働ヲナスモノ也。即チ彼ノダニエル、ウヰブストルハ云ハスヤ。信約ナル者ハ近世商
 業ノ大活氣ト云ハサル可ラス。之カ爲ニ各國ヲ富マスヤ。全世界ノ礦山ヨリ採收スル所
 ノ金銀ニ比スルモ幾千倍ナルヲ知ラサルナリ。之カ爲ニ勤勞ヲ勵マシ。製造ヲ熾ニシテ
 海外ノ通商ヲ突飛セシメ。各人民。各王國。若クハ各小種族ヲハ互ニ相接近セシメ。互ニ
 相交際セシメ。以テ知昔トナラシメタリ。之カ爲ニ精銳ナル陸海軍ヲ整理シ。唯兵數ニ

依頼スルノ暴力ニ勝タシメ。之カ爲ニ國家ノ勢力ナルモノハ一國ノ才智ト富榮ト及ヒ
 其道ヲ得タルノ製造等ノ基礎ニヨリテ巍立セサル可ラサラシメタリト。是レ決シテ辨
 士誇張ノ言ニアラス。若シ其實ヲ知ラント欲ヒハ彼ノ万国信約ノ間屋トモ云フ可キ。英
 京ロムバルト街ニ行テ之ヲ見ヨ。實ニ歐洲生活社會ノ進歩ハ吾人カ喋々スルヲ俟タス。
 天下眼アルノ士ハ皆能ク知ル所ノモノナリ。彼ノ明治十五六年ノ頃佛京ニ滞在シタル
 我カ在野ノ政治家板垣退介氏曰ク

余ノ佛國ニ在ルヤ。同國ノ學士アコラス氏ヲ訪ヒシニ。氏ハ余ニ向テ子ハ歐洲ニ來リ
 テ事物ヲ觀察シ。如何ナル感覺ヲ發シタルヤト問ハレシニ付。余ハ歐洲ニ在ル日猶淺
 キヲ以テ固ヨリ其事情ノ詳細ヲ知ルニ由ナシト雖。大體上ニ着目スルニ故國ニ在テ
 嘗テ聞シカ如ク歐洲哲學ノ進歩ハ實ニ驚ク可キ者アリ。然レモ今回余カ最モ驚愕シ
 タル所ノモノニアリ。其一ハ生活社會ノ大ニ進歩シタルヲ是レナリ。其二ハ生活社會
 ニ比スレハ政治社會ノ大ニ進歩セサルヲ是レナリト答ヘシニ。アコラス氏ハ大ニ余
 カ此言ニ感シテ曰ク予モ亦タ二日前ニ於テ朋友ト相謀リ。第十九世紀ニ於テ何シカ

最モ注意ス可キモノ平ノ問題ヲ掲ケテ著述シタル所アリシカ其意。歐洲ハ生活社會ハ進歩シタルモ政治社會ハ大ニ進歩セス。故ニ十九世紀ニ於テ最モ宜ク改良ス可キハ政治社會ナリト云フニ在リ。左レハ子カ觀察ハ定ニ能ク我歐洲ノ現狀ヲ看破シタリトテ意外ノ賞讃ヲ受ケタリ。夫レ歐洲生活社會進歩ノ有様ヲ察スルニ總ヘテ財アルモノ。智アル者。力役者等相合同メ精巧廣大ノ事業ヲナスヲ以テ。衣食住ノ三者ヲ始メ。農工商ノ事ニ至ル迄。善ヲ盡シ。美ヲ盡シ。村落ト雖モ至ル所。烟筒空ヲ衝テ煤烟天ヲ漲ラスノ製造者アリ。潤屋雲ニ緯ヘテ瓦光日ニ輝クノ會社アリ。而シテ富豪ノ家屋ヲ見ケルナク。容貌俊智ヲ含ムノ人ヲ見サルナク。衣服頭飾粲然華麗ノ人ヲ見サルナク。一步ヲ進メテ觀察ヲ下セハ。或ハ力役者ノ會社ノ下ニ在テ荷物ヲ運搬スルアリ。或ハ會社ニハ爲替手形アリテ頗ル迅速ノ賣買ヲナスアリ。或ハ道路ハ坦トシ砥ノ如ク自在ニ運搬交通ヲナシ。或ハ水ナキノ地ハ溝渠ヲ穿テ流水ヲ通シ。宛モ人カヲ以テ天造ヲ壓倒シタル景狀アリ。又眼ヲ轉シテ其政治社會ヲ見レハ或ハ其一己人ノ自由ニ任ス可キ一モ獨政治ノ干涉ヲ免レサルアリ。或ハ町村ノ自治ニ任ス可キ一モ獨

中央政府ノ牽制ヲ受クル者アリ。而シテ其政黨ト稱スルモノニシテ猶私黨ノ大弊ヲ免ル、能ハサルモノアリテ。例ヘハ佛國ノ下議院ニ於テハ貴族ヲ放逐スルノ議ヲ決シタルカ如キ。英國ノ下議院ニ於テハ彼ノブラドローカ誓ヲ諾セサルヲ以テ議院ニ入ルヲ許サ、ルカ如キ兒戲ニ類スルコトアリト。

眞ニ然リ。然ラハ則チ彼ノ歐洲ナルモノハ其昔時ニ於テハ政治社會ヲ以テ生活社會ヲ支配シタルニ係ラス。今ヤ其生活社會ノ進歩ヨリシテ政治社會ノ進歩ヲ促シ。經濟世界ノ交際ヲ以テ政治世界ノ制據ヲ打破リ。生産機關ヲ以テ武備機關ヲ顛覆スルハ早晚避ク可ラサルノ命運ト云ハサル可ラス。

第六回 平和世界 二 (同上)

富ハ實ニ第十九世紀ノ一大運動力ナリ。既ニ兵ノ能ク政治世界ヲ支配スルノ勢力タル一ヲ知ラハ、富ノ又ク能ク經濟世界ヲ支配スルノ勢力タルヲ知ラザル可ラス。政治世

界ノ經濟世界ヨリ籠絡セラル、ヲテ知ラハ。兵モ又富ヨリ籠絡セラル、ヲテ知ラサル可ラス。兵ノ勢力ノ廣大ナルヲ知ラハ兵ヲ支配スル富ノ更ニ廣大ナル勢力タルヲ知ラサル可ラス。ソレ第十九世紀ノ世界ハ富能ク兵ヲ支配スルノ世界也。

蓋シ歐洲ノ歴史ニ於テ常備軍ノ制度ノ創始シタルハ實ニ彼ノ富カ兵ニ向テ一着ノ勝ヲ占メタルモノナリト云ハサル可ラス。何トナレハ彼ノ常備軍ナルモノハ全國ヲ舉テ皆兵ナルノ社會ヲ一變シテ全國一部ノ小數ヲバ兵ヲシメ。其他多數ノ人民ヲ容易ニ其殖産ノ事業ニ從ハシメ。且ツ從事セシメサル可カラサルノ必要ヲ生シタレハナリ。何ソヤ渠ノ人民ハ獨リ自家ノ口ヲ糊スルニ止ラス。併セテ其厄介物タル常備軍オモ養ハサル可ラサレハナリ。

常備軍ノ創始ト火器ノ發明トハ其時代ヲ問ヘハ殆ト同時トモ云フ可ク。其關係ヲ問ヘハ實ニ精妙不思議ナル因縁ヲ有スルモノニシ。之ヲ解説スルヲ暫ク他ノ議論ニ譲リ。吾人ハ唯彼ノ常備軍ハ火器ニヨリテ成リ。火器ハ高價ナル經費ニヨリテ立ツモノナルヲ明言シ置クヲ以テ満足セサル可ラ。看ヨク今日ニ於テ宇内ヲ睥睨スル通邑

大都ノ如キモ。近世史ノ始メニ於テハ實ニ憐ム可キ微少ナルモノニシテ。彼等ハ如何ニシテ封建豪族。鷲鳥ノ一爪一攫ヲ免レタルカ。唯々王政ノ大翼中ニ其隱所ヲ求メタルハナリ。

而シテ彼ノ帝王ハ何カ故ニ之ニ自由ノ特許ヲ與ヘタルカ。何カ故ニ其ノ自治權ヲ放任シタルカ。何カ故ニ其味方トナリテ恒ニ之ヲ保護シタルカ。何カ故ニ其通商貿易ヲ獎勵シ其進歩ニ加勢シタルカ。他ナシ唯渠輩ヨリ租稅ヲ出サシメンカ爲メ而已。詳ニ之ヲ云ヘハ。彼ノ常備軍ヲ保ツハ入費ヲハ負擔セシメンカ爲メ而已。苟モ英國憲法史ヲ一讀シタル人ハ知ル可シ。彼ノ帝王ハ何カ故ニ都邑ノ市民ヲバ國會ニハ出席セシメタルカ。何カ故ニ又ク何ノ必要アリテ國會ヲ開設シタルカ。何ノ必要アリテカ其尤モ大切ナル權理ヲハ吝ム氣モナク人民ニ讓與シタルカ。唯一ノ必要アルノミ。即チ兵備ヲ維持スル一ノ必要アルカ故ナリシヲテ。

此ノ如ク其ノ始ニ於テハ武備ヲ達スルノ一手段トシテ武備機關ノ中ニ養成セラレタル也。彼ノ生産機關ナルモノハ其性質ニ於テ非常ニ開發ス可キノ分子ヲ有シタルカ故ニ。

見スノ一粒ノ芥子種カ春陽ニ乗シ生長スルカ如ク。遂ニ空中ヲ舞フノ燕雀サヘモ其枝ニ巢フニ到ルノ勢トナレリ。勢ハ茲ニ到ル。縱令彼ノ帝王宰相等ハ如何ニ後悔スルモ今更及フ所ニ非ス。例ヘハ英國ノ如キモ所謂彼ノバシホット氏カ言ノ如ク「ヘンリー第八世ノ奴隸的ノ國會ハ一變シテエリサベス女王ノ不平的ノ國會トナリ。更ニ一變シテゼームス第一世ノ激昂的ノ國會トナリ。又更ニ一變シテチャールズ第一世ノ謀叛的ノ國會ト」生長シ。今ハ彼ノ神種神權説ノ大僧正タル查斯王モ止ムヲ得ス彼ノ製造人。職工。商業家。貿易者。農夫等ニ向ツテ其ノ膝ヲ屈シ其喘息ヲ窺ハサル可カラサルニ到ラシメタリ。嗟呼是レ何ノ故ツヤ。唯富ノ力能ク兵ヲ制スルカ故ナリ。蓋シ歐洲野蠻人亂入以後殊ニ常備軍創始以後ノ歴史ハ實ニ兵ト富トノ消長盛衰ノ事實ヲ以テ充滿シタルモノニシテ軍口之ヲ兵。富。戰争史ト云ハサル可カラス。吾人ハ讀テ茲ニ到ル毎ニ恰モ木曾山中ノ旅客カ尺幅ノ天ヲ眺メ。寂々タル一笥千巖萬壑ノ中ヲ蹈破シ始メテ碓氷嶺上ニ到リ。茫々タル八州ノ平原ヲ臨ムカ如ク實ニ其ノ快活ヲ感セスンハアラス。

ソレ上古ニ於テ野蠻人カ開化人ヲ蹂躪シタル由縁ノモノハ他ナシ。唯腕力ヲ以テ富ヲ

制スルヲ得タルハナリ。今日ニ於テ開化人カ野蠻人ヲ吞滅スル所以ノモノハ何ツヤ。唯ダ富ヲ以テ腕力ヲ制スルヲ得レハナリ。實ニ今日ノ世界ハ富ヲ以テ兵ヲ制スルノ時代ニシテ富ハ即チ威力ナリトハ實ニ今日ノ大勢ヲ看破シタルノ警語ト云ハサル可ラス。アダムスミス曰ク

近世ノ戦争ニ於テハ火器ノ莫大ナル費用アルカ爲ニ善ク此ノ費用ヲ支辨スルヲ得タル國民ニ便益ヲ與ヘタリ。即チ富シテ文明ナル國民チ。貧ニシテ野蠻ナル人民ニ向テ其勝利ヲ占ムルヲ得セシメタリ。上古ニ於テハ此ノ富シテ文明ナル國民ハ彼ノ貧ニシテ野蠻ナル人民ノ攻撃オハ防禦スルニ甚タ困難ナルヲ感シタレト。近世ニ於テハ却テ貧ニシテ野蠻ナル人民ハ富シテ文明ナル人民ノ侵入ヲハ防禦スルノ甚タ困難ナルヲ感スルニ到レリ。彼ノ火器ノ發明ノ如キ一見スレハ禍害的ノモノ、如シト雖モ實ニ文明ノ擴張ト維持トニ向テ共ニ恩惠アルモノト云ハサル可ラス。

然ラハ則チ知ル可キ而已。今日ニ於テ東洋諸國カ歐洲ヨリ吞滅セラル、所以ノモノハ他ナシ。唯我ハ貧ニシテ野蠻ナル國ニシテ彼ハ富シテ文明ナル國ナルカ故ナルヲチ。是レ自

然ノ埋ナリ又タ奚ソ之ヲ疑ハンヤ。

試ニ見ヨ。彼ノ露國ノ如キハ全地球廿六分ノ一又ハ陸地七分ノ一ヲ占メ。方八百五十万英里ノ版圖ヲ有シ。今古無比ノ大帝國タルニ係ラス。而シテ又タ純平タ腕力國ナルニモ係ラス。其兵馬ハ以テ歐洲列國ヲ蹂躪スルニ足ルノ猛勢アルニモ係ラス。其ノ勢力ヲ歐洲ニ逞フスル能ハサルノミカ。東亞ニ於テサヘ思フ程ニハ逞フズル能ハサル所以ノ者ハ何ソヤ。英國ノ之ヲ掣肘スルカ故ナリ。而シテ彼ノ英國ハ何ヲ以テ之ヲ掣肘スルカ。彼ヲ海上ノ王ヲラシムル海軍アルカ故カ。曰ク否。彼ヲ海上ノ王ヲラシムル所以ノモノハ海軍アルカ爲メニアラス。商船アルカ爲ナリ。マルポール氏曰ク「千八百七十七年ニ當リテ諸國ノ港灣ニ入りタル船舶ヲ舉クレハ。一億零三百三十九万艘ニシテ而シテ各國ノ船舶ハ四千九百十五万噸ニ上ラス。其餘ノ五千四百二十四万噸ハ悉ク英國ノ商船ナリ」ト而シテ此ノ莫大ナル商船ハ如何ニ又タ何ノ必要アリテ所有スルカ。其商業ノ隆盛アルカ故ナリ。實ニ英國ノ仲買商ハ全世界ノ五割三分餘ノ大數ヲ占メタルヲ以テノ故ナリ。英人ポルター氏曰ク「我邦若シ製造ノ熟練アラザラシメハボナパートノ大戦ニ

沿リ決シテ勝算ナカリシナラン」ト既ニ然ラハ英國カ露國ヲ掣肘スル所以ノモノモ亦此ニ存スルヤ知ル可シ。然ラハ則チ英國カ所謂伯ヲ世界ニ振フ所以ノ者ハ。而シテ彼ノ世界ノ最強國タル露國ノ敢テ其右ニ出ツルニ能ハサラシムル所以ノモノハロムバルド街ノ貨幣市場アルカ故ナリ。ニウカツスルノ造船所アルカ故ナリ。マンチエストルノ綿花製造所。セツフィールドノ機器製造所アリ。倫敦ノ万櫛林立ノ港灣アルカ故ナリ。實ニ彼ノ諸製造所ノ烟筒ヨリ吐キ出ス万丈ノ黒烟ハ敵ヲ報スル烽火臺ノ如ク。彼ノ露國ヲノ敢テ其野心ヲ逞フスルニ能ハサラシメタリ。看ヨク如何ニ彼ノ露國カ其ノ人民ヲ鞭撻シ。其膏血ヲ絞ルモ。限りアルノ財本ハ以テ限りナキノ經費ニ充ル能ハス。策究シ術盡キ。其最後ノ手段ハ唯其不信用ヲ世界ニ廣告スル高利ノ公債ヲパロンバルド街ニ向テ募集セザル可カラサルノ勢ニ迫ラスンハアラス。彼ノコブデン氏カ所謂英人ニ向テ「汝カ金ヲ露國ニ貸スハ是レ汝ハ噴火山上ニ財本ヲ置クナリト」忠告シタルカ如ク。彼ノ露國ハ尤モ不安心ナル得意者ナレバ其金利ノ殊更ニ不廉ナルモ固ヨリ故ナキニ非ス。然ラハ則チ知ル可キ而已。英國カ露國ヲ凌駕スル所以ノモノハ富ヲ有スレハナリ。露

國カ凌駕セラル、由縁ノ者ハ富チ有セサレハナリ。果ソ然ラハ富ト兵トハ今日ノ世界ニ於テ如何ナル比例ノ勢力チ有スルカ。固ヨリ智者チ埃テ之ヲ解セサル可シ。吾人ハ實ニ云フ富ノ力ハ以テ兵ニ敵ス可シ。兵ノ力ハ以テ富ニ敵ス可ラス。何トナレハ今日ノ世界ニ於テハ兵ハ富ニ依テ維持スルヲ得ルモ富ハ兵ニ依テ維持スルヲ得サレハナリ。

試ニ思ヘ。若シ今日ニ兵ノ力能ク富チ支配スルヲ得ハ。彼ノビスマルクハ何ソ自ラ苦ンテ第十九世紀ノライコルゴストナリ。鐵錢チ鑄リ。貿易チ禁シ。港灣チ鎖シ。關門チ設ケテ往來チ遮リ。世界ノ外更ニ一ノ新世界チ作り。天地ノ中更ニ一ノ新天地チ開キ。彼ノ日耳曼帝國チ近世ノスバルクヲラシメ。已レガ思フ儘ニ武備ノ機關チ發達セシメサル。苟モ此ノ如クナレハ一國チ擧ケテ城トナスモ可ナリ。人民チ擧ケテ兵トナスモ可ナリ。訓練ノ爲トシテハ盜賊チ公許スルモ可ナリ。演習ノ爲トシテハ奴隸チ襲撃セシムルモ可ナリ。將來兵士トナルノ見込チキ極弱ナル小兒ハ之ヲ屠ルモ可ナリ。然ルニ彼ノビスマルクハ自ラ此ノ如キ得意ノ事チナサス。何チ苦ンテ自ラ尤モ其不得意ナルンロン

チ學ハントスル乎。何カ故ニ其大奪掠家タル資格ニ加フルニ商業家ノ性質チ以テセント欲スル乎。吾人ハ彼カ國內ニ於テ製鐵事業チノ白耳教。英國ト競争セシ。或ハ青銅器。燈火器チハ利齒。白耳教。西班牙。伊太利ノ市場ニ於テ佛國ノ製品ト角逐セシメントシタルカ如キ。又近來東洋殊ニ日本支那ノ市場ニ於テ東洋ノ舊主人タル英國チハ其ノ貿易ノ戰爭ニ於テ壓倒セント企テタル如キ。其手段ハ經濟的自然ノ境界チ超越シ政治ノ上若クハ兵略上ノ手段ニモセヨ。其目的ハ貿易者ノ善意ニ出テソ陰險ナル外交家ノ分子チ含ムニセヨ。何カ故ニ彼ハ此ノ如キ事業チ經營スルノ必要チ感シタルカ。吾人ハ實ニ之ヲ怪マサルチ得ス。雖然毫モ怪ム勿レ。是レ所謂第十九世紀ノ大勢ナリ。實ニ彼ハ富ノ勢カ即チ富ニアラサレハ兵備チ保ツ能ハサルノ必要ハ彼ノビスマルクチソ外交ノ政略家ノ真相ニ貿易者ノ假面チ被ラシメタリ。吾人ハ實ニ日耳曼人民ノ爲ニ其前途ニ一道ノ微光アルチ見テ之ヲ祝セスンハアラス。ソレ人ノ國チ奪ハンカ爲ニ貿易スルモ貿易ナリ。人チ殺サンカ爲ニ貿易スルモ貿易ナリ。盜跖ノ心チ以テ貿易スルモ麴蘖ノ心チ以テ貿易スルモ。貿易ハ即チ貿易ナリ。既ニ貿易ナリ。貿易ノ太陽一タヒ日耳曼帝國ノ

三郎曰、好強可
爲妄庸政治家
坐右銘、

中心ヲ照ラスキニハ。彼カ奇々怪々ナル魔術ヲ以テ幻出シタル武備ノ妖星ハ忽然トシ
其光ヲ失フヤ固ヨリ論ヲ埃タサルナリ。去年九月八日ノ獨逸官報ハ記シ曰ク。吾人ハ十
餘年前マテ戰勝ノ利ニ賴ルニ非レハ得難シト信シタル所ハモハサ今ヤ勸業ノ功ニヨリ
テ之ヲ得ルノ幸運ニ達セリト。彼ノ獨逸人民モソレ今ニ悟ル所アルカ。彼ノビスマ
ルクノ強頂傲鷲ナル尙ホ第十九世紀ノ大勢力ニ向テハ泥中ニ拜跪セリ。况ンヤ他ノビ
スマルクタラント欲スル人ニ於テオヤ。又况ンヤビスマルクタル能ハサル人ニ於テオ
ヤ。世ノ妄庸政治家ヨ願クハ眼ヲ轉シ汝ノ後頭ヲ顧ミヨ。
唯タ一見セハ歐洲ハ腕力ノ世界ナリ。少ク之ヲ觀察スル時ニハ裏面ニハ更ニ富ノ世界
アルヲ見。兵ト富トハ二個ノ大勢力ニソ所謂雙懸日月照乾坤ノ有様ナルヲ見ル可シ。
然レモ更ニ精密ニ之ヲ觀察セハ兵ノ太陽ハ其光輝燦爛クルカ如シト雖モ夕陽既ニ斜ニ
西山ニ入ラントスル絶望的ノモノニシテ彼ノ富ノ太陽ハ紅輪杲々トシ將ニ半天ニ躍リ上
ラントスル希望的ノモノナルヲ見ル可シ。而シテ更ニ一層ノ思考ヲ凝ラス時ハ此ノ絶
望的ノ光輝モ。畢竟スルニ彼ノ希望的ノ光輝ニ反映シテ霎時ニ幻出シタル者ニシテ。之

ヲ例ヘハ彼ノ月ハ固ヨリ光輝ナキ者ナレモ唯太陽ノ光輝ニ反映シテ美妙ノ光ヲ放ツカ
如キヲ見ル可シ。ソレ月ノ光ハ太陽ノ光ナリ。若シ太陽ノ光ヲ除キ去ラハ月光トテ別ニ
見ル可キモノハアラザルナリ。今日ニ於テ兵ノ勢力アルハ富ノ勢力ヲ假リタレハナリ。
若シ富ノ勢力ヲ除キ去ラハ兵ノ勢力トテ別ニ見ル可キモノハアラサル可シ。想フニ世
ノ活眼家ハ此ノ道理ヲ容易ク承認ス可シ。昔時ニ於テ武備ノ爲ニ存在シタル生産ハ今
日ニ於テハ一變ノ生産ノ爲ニ存在スルノ武備トナリ。其目的ハ一變シテ手段トナリ其
手段ハ一變シテ目的トナリ。君臣主僕其位地ヲ顛倒シ。昔時ニ於テハ汗ヲ流シ骨ヲ折リ。
彼ノ武士ニ奉シタル商人農夫ヲ保護センカ爲ニ今日ニ於テ彼ノウエトルルノ豪傑
ウエリントソノ如キ大將軍モ。ツラフアルカルノ英雄子ルソノ如キ水師提督モ。血戰
振鬪スルニ到リシハ。吾人カ天理人道ノ爲ニ祝セサル可カラサル所ナリ。而シテ今日ニ於
テハ彼ノ兵備ナルモノハ獨リ生産ヲ保護スルノ必需品ニ止ラス。又生産機關ノ勢力ヲ
天下ニ廣告スルノ驕奢品タルカ如キノ狀アルハ實ニ吾人カ尤モ奇異ノ現象ナリトシ觀
察スル所ノモノナリ。例ヘハ彼ノ徳川時代。天下泰平烽火ヲ見ス。寸鐵ヲ用ヒサルノ時

ニ於テハ彼ノ戰國ノ時代ニ於テ必要品ナル刀劍ハ一變シテ驕奢品トナリ。彼ノ貴紳豪客カ正宗ノ太刀。兼定ノ短刀。其鏢ト云ヒ。其小柄ト云ヒ黄金ヲ裝ヒ寶玉ヲ鏤メ。意氣揚トトメ市中ヲ横行スルノ時ニ於テハ。道傍ノ人誰モ天晴レ貴人ナリト指シ語ルヲ見テ自ラ得意トナスカ如ク。今日歐洲諸國ニ於テモ「クルツア」砲ト云ヒ。「アームスツロン」砲ト云ヒ。甲鐵艦ト云ヒ。水雷火船ト云ヒ。唯一種國光ヲ耀スノ裝飾ニシテ。我國ハ此ノ如キノ軍備アルゾト他國ニ誇示スルニ過キズ。要スルニ其戰爭ナルモノハ多クハ軍備ノ戰爭ニメ其未タ實際ニ戰端ヲ開カスシテ其勝敗ヲ決スルノ狀アルカ如キハ何ソヤ。他ナシ。是レ唯富ノ多少ヲ以テ其勝敗ヲ決スルモノニ非ス。何ソヤ。故ニ曰ク富ハ實ニ第十九世紀ヲ支配スル一ノ大勢力ナリト。

第七回 平和世界 三 (同上)

然リ而シテ彼ノ富ト兵トハ決シテ同一ノ主義ニ非ス。戰爭ヲ支配スルノ主義ハ以テ商

業ヲ支配スルノ主義ニアラス。縱令二個ノ山嶽ハ相會スルコトアルモ併行ノ二線ハ相會スルコトアルモ二個ノ主義ハ決メ相會合スルモノニアラサルコトヲ開拓シタルハ實ニ富ノ兵ニ向テ其大勝利ヲ占メタルノ第二着ト云ハサル可カラス。ソレ人ハ主我的ノ動物ナリ。吾人ハ決シテベンサム氏ノ宗教ニ隨喜シテ實利主義ヲ主張スルモノニアラサレ也。然レモ人間ヲ支配スル重ナル力ハ何物ソト問ハ、吾人ハ決シテ自愛心ナリト答フルコトヲ猶豫セサル可シ。既ニ一個人ヲ支配スル重ナル勢力ハ自愛心ニアルヲ知ラハ此ノ一個人ニ賴テ組織セラレタル一國ヲ支配スル重ナル勢力モ亦一國ノ自愛心ナルコトヲ知ラサル可ラス。ソレ一人ト雖モ一國ト雖モ。自愛心即チ利己心ノ爲ニ支配セラル。一ノ動物タルヲ知ラハ併セテ若シ彼我ノ利益兩立セサルニ於テハ決シテ己ヲ損シ他ヲ益スルカ如キコトヲサハル可キノ理ヲ知ラサル可ラス。如何ニ基督教ノ感化ハ廣大無邊ナルニセヨ。如何ニ佛法ノ功德ハ澤山ナルニセヨ。彼ノ基督ノ愛モ。釋迦ノ憐ミモ。若シ自家ノ利益ト他ノ利益ト併立。併進。併行。セサル限リハ火中ニ油ヲ投スルカ如ク。却テ益々炎々ノ勢焰ヲ加フルニ過キサル可シ。而シテ彼ノ上

古否ナ殆ント近世ニ到ル迄。世人皆ナ其尤モ身ニ適切ナル。其尤モ直接ノ必要ナル貿易ノ利益ハ彼我兩立セサルモノトノ妄想ヲ抱ケリ。苟モ此ノ妄想ノ各人ノ頭腦ニ。社會ノ全隅ニ跋扈スル間ハ。如何ニ博愛ノ說教ヲナスモ。恰モ道傍ノ石地獄尊ニ向テ講談ヲ試ムルカ如ク。聞ク人ハ固ヨリ説ク人サヘモ其心ニ於テハ決シテ悦服甘心セサルハ當然ノト云ハサル可ラス。而シテ貿易ノ法則ハ彼我ノ利益ヲ並立セシムルニアリ。貿易ノ法則ハ即チ人情ノ法則ナリ。宗教ノ法則ナリ。愛情ノ法則ナリト云フ。万古ノ眞理ヲ叫破シ。而シテ殆ント俗耳ヲ聳動スルカ如ク明暢ニ叫破シタルハ實ニアダムスミス其人ニシテ此ノ法則ヲ實行セシムルノ作用ヲ發明シタルハゼームスワット其人ナリト云ハサル可ラス。若シ人ノ國家ヲ破リ。人ノ社稷ヲ滅シ。百姓ノ力ヲ罷シ。百姓ノ財ヲ盡クシ。人ノ父ヲ殺シ。人ノ子ヲ孤ニシ。亂政虐刑ヲナシ。以テ天下ヲ殘賊スルノ人ヲ以テ英雄豪傑トセハ。彼ノナボレナン。ビスマルク。ゴルチャコフノ如キ實ニ其人ナリト雖モ。若シ襤褸ヲ纏フモノヲニ躰ニ適スル新衣ヲ穿タシメ。半ハ土ヲ食フノ窮民ニ向テ肉ヲ與ヘ。雨露霜雪ノ侵シ來ル茅舍ヲ一樓シテ愉快ナル家宅トナサシメ。萬國ノ怨恨ヲハ

一變ノ友愛ノ情トナシ。兵氣鎮爲日月光ノ希望ヲハ前途ニ生セシメ。社會ノ結合ハ強迫ノ結合ヲ頼マズ。隨意ノ結合ヲ頼ム可シ。隨意ノ結合ハ利益ノ結合ニ。利益ノ結合ハ即チ愛情ノ結合タルハ一大眞理ノ燈火ヲ世界ニ興ヘタル人ヲ以テ。世界ハ尊敬ト欽慕トニ價スルノ太人トセハ。其人ハ則チスミス、ワットノ二氏ナラサル可ラス。社會ヲ撼スハ決シテ一個人ノ力ニミ依頼ス可ラス。然レモ若シ一個人ノ力ニヨリテ第十九世紀ノ新世界ヲ湧出スルコトニ盡力シ。且ツ其功勞アル人ハ誰ナリト問ハ、直ニ指テ二氏ニ屈セサル可ラス。實ニ我第十九世紀文明ノ世界ハ金冠ヲ戴クノ帝王ヨリモ。三台ニ坐スルノ宰相ヨリモ。浮誇艶麗ノ文人才子ヨリモ。人民ノ偶像タル雄辯快論ノ國會議員ヨリモ。活潑老練ノ商業家ヨリモ。敬虔熱心ナル宗教家ヨリモ。實ニ此ノ二氏ニ向テ負フ所ノモノ多シト云ハサル可ラス。實ニ今日ノ世界ハ蘇格山中ニ寒儒ノ手ニヨリ作爲セラレタルノ世界ナリ。二氏ノ如キハ實ニ宇内ノ大恩人ニシテ無冠ノ皇帝ト云ハサル可ラス。願クハ我現今ノ人民ヨ。我將來ノ人民タル青年ヨ。少ク彼ノナボレオン、ビスマルクヲ嘆美スルノ熱情ヲ一轉シ此ノ二恩人ヲ嘆美セヨ。

蓋シ近時ノ世界ニ於テ眞正ノ平和主義ナル者ハスミス氏ヨリ出テタリト云ハサル可ラ
 ス。固ヨリ氏カ以前ニ平和主義ヲ講シタルノ士一ニ足ラス。然レモ是レ唯ターノ空論
 而已。即チ快樂主義ヲ仇敵トシテ。苦痛主義ヲ本尊トナシ。世好ニ反シ。人情ニ逆ヒ。滔
 ヲタル世界名奔利走ノ人ニ向テ。ストイツクノ哲學家タルヲ求メ。之ニ望ムニ雪山苦行
 ノ釋尊ヲ以テシ之ニ責ルニ而壁九年ノ遠磨ヲ以テスル迂濶ニシテ苛刻ナル空論而已。サレ
 ハ一方ニ於テハ平和主義ヲ講シ。一方ニ於テハ爭鬥主義流行シ。議論ハ唯タ議論ニシテ
 實際ハ別ニ實際ナレハ。如何程尖吻熱舌。辨シ去リ鼓シ來ルモ所謂ル空言世ニ補ヒナカリ
 シト雖モ。スミス氏ニ到リテハ。彼ハ平和ナルモノハ自家ノ利益ヲ犧牲トシタルノ平和
 ニアラス。自家ノ利益ヲ進取セシカ爲メ。平和ナリト一唱シタルカ故ニ。茲ニ於テカ始
 メテ實際ニ行フ可キ平和主義ナルモノ出テ沛然トシテ江河ヲ決スルカ如ク之ヲ防ク能
 ハサル勢トナレリ。蓋シ平和主義ナルモノハ一ノ極樂淨土ト雖モ。上古ノ所謂平和ナル
 モノヲ得ント欲セハ恰モ佛者ノ所謂劍山ヲ攀ヂサル可ラス。極樂ニ入ルハ何人ニテモ實
 ニ願フ所ナレド。劍山ニ攀ルノ苦痛ニ至リテハ何人ニテモ實ニ逡巡避易セサルヲ得ス。

氏出テ、ヨリ平和ノ極樂ニ達スル何ノ苦モナク。所謂劍山モナク。三途ノ川モナク。横
 行瀟歩ヲ以テ。陶朱公カ術ヲ抱テ。釋迦ノ極樂ニ旅行スルハ道ヲ教ヘタリ。此ノ門一
 ヒ通ス。誰レカ好メテ此ニ入ラサルモノアラソ。看ヨク平和ノ主義ハ隱然既ニ其勢力
 ナ社會ノ中心ニ蒐集シタルコトナク。
 戰争ヲ以テ商業ヲナサンヨリ商業ヲ以テ商業ヲナスニ就レ。ソレ貿易ノ主義ハ平和ノ
 主義ナリ。然ラハ則チ富ノ益々進歩スルニ從ヒ平和主義ノ愈々進歩スルハ豈ニ又宜ナ
 ラスヤ。例ヘハ彼ノ一昨年來清佛ノ開戦ニ際シ。上海寄留ノ外國人等カ其平和ヲ欲スル
 ノ餘リニ共ニ釀金シテ以テ二國ノ爭鬥ヲ調停セントシタルカ如キ。是レ決シテ兩國生靈
 ノ塗炭ニ困ムノ狀ヲ見ルニ忍ヒス。此ノ如ク道德上ノ職分ヲ盡スモノニアラス。サレ
 ハ彼ノ迂儒ノ眼中ヨリ見レハ殆ト理由モナク因縁モナク。他人ノ頭痛ヲ痲氣ニ病ムノ
 類タルガ如ク。實ニ咄々怪事ノ如シト雖モ決シ然ラス。彼ノ外國商人等ハ寧ロ少シク出
 金ノ苦痛ヲ忍受スルモ。戰争ノ爲ニ其取引上ニ大ナル損害ヲ被ラサランカ爲メニ之ヲ
 企テタルナリ。即チ彼ノ利己ハ一念ハ外國人民ヲ其關係ナキ二國ノ和睦ヲ經營セシ

三節曰、此一段
論恐過刻若曾
百事出利益敗
兩奴從暴、亦可
言出于利矣乎、

メタリ。吾人ハ此ノ如キ事ノ世ノ所謂ル慈善家。道德家。博愛家。ノ丹心ヨリ出ヅシテ却テ彼ノ只タ利益レ汲々タルノ商人ヨリ出テタルヲ見テ。理論ノ實ニ價值ナク而シテ其價值アルノ理論ハ人間ノ自愛心ト一致セサル可ラサルモノナルヲ知レリ。知ル可シ平和主義ト自愛主義トハ彼ノ富ト兵トノ如ク決シテ敵對ノ主義ニ非ス。即チ一致協同ノ主義ト云ハサル可ラサルヲ。ソレ戦争ニ敵スルモノハ平和主義ニ非ス。寧ロ利己主義ナリ。彼ノ平和主義ナルモノハ唯タ利己主義ノ境遇ニ於テ始メテ生長シ唯タ此レト一致シテ始メテ其力ヲ逞フスルヲ得ルモノナリ。吾人ハ彼ノ戦争主義ノ爲ニ此ノ意外ノ大敵ニ遭遇シタルヲ悲シ平和主義ノ爲ニ此ノ意外ノ勢力アル味方ヲ得タルヲ祝セサル可ラス。實ニ彼ノ腕力主義ノ恐ル可キ大敵ハ唯此ノ利己主義ニアリ。唯此ノ利己主義ニアリ。今日ニ到ル迄腕力主義ノ社會ニ横行シタル所以ノモノハ唯タ人ノ妄想ヨリシテ利己主義ト一致シタルモノトナシタレハナリ。即チ利己主義ノ勢力ヲ假リタレハナリ。而今ヤ人ヲ損スルハ己レヲ利スルニ非ス。己ヲ利スルハ即チ人ヲ利スルナリトノ主義社會ニ勢力ヲ有スルニ到ル。雖レカ此ニ到リテ復タ腕力主義ノ味方トナルモ

三節曰、理與利
一致是自然之
結果、若曾爲利
思想則非有道
者之言、

ノアランヤ。看ヨク今日ニ於テ其心中ニ天下ノ泰平ヲ祈ラサルモノハ唯タ二三ノ權謀政治家。貪ル狼ノ如キ帝王宰相。若クハ無主義ナル二三ノ海陸軍人ノ尤モ少キ少數ニ止マルヲ。而シテ猶ホ此等ノ人々カ其幾分ノ勢力ヲ社會ニ有スルカ如キノ觀アルハ唯過去ノ因果ヨリシテ己ム可ラサルモノアレハナリ。ソレ止ム可ラサルモノナリ。豈ニソレ久シキヲ保タンヤ。試ニ思ヘ今日ノ世界ニ於テハ一個人ニシテ平和主義ヲ唱フル而已ナラス。一部ノ階級ノ人々平和主義ヲ唱フル而已ナラス。即チ一國ヲ舉ケテ平和主義ヲ唱フル者アルヲ。其國ハ何ノ邊ニアル。即チ吾人カ東鄰ノ北米聯邦是也。

明治十七年八月十四日開設ノ萬國媾和協會ニ於テ米人ブラウン氏ハ左ノ演説ヲナセリ。

我合衆國政府ハ人口五千萬ヲ有スルモ。仍ホ平時ニアリテハ僅ニ二萬五千人ノ常備軍ヲ以テ足レリトス。是レ我邦獨立以來兵亂ノ少カリシ所以ニシテ百有一年間に於テ外國ト兵ヲ交ヘシハ千八百十二年(英國トノ役)及ヒ千八百四十六年(墨西哥トノ役)ノ二回ノミ。而シテ其間西、佛、露、墨、其他ノ諸國ヨリ購求シテ以テ我カ版圖ニ併セタ

ル土地ハ諸君ノ熟知スル如ク極メテ大ニシ。人口モ又三百方ヨリ五千方ニ増加シタリ。斯ク版圖愈々廣ク人民愈々多キヲ致セシモ皆平和ノ方略ニ依ルモノニシ。一民一土モ兵力ヲ以テ征奪スル所ナク。歐洲ニ於テ毎ニ缺ク可ラストナス所ノ常備軍ノ如キ我邦ニ於テハ内、秩序ヲ保チ外、國威ヲ存スルニ於テ其必要ナルヲ感セサリキ。夫ノ南北ノ亂ハ四年ニ跨リ。地ヲ蕪シ。命ヲ害シ。殊ニ言フニ忍ヒサルノ慘狀ヲ呈セシモ。余ハ是ニヨリテ益々常備軍ノ必要ナキヲ確信セリ。蓋シ此ノ際南北雙方ニ於テ募集シタル兵ハ無慮百五十方ニ下ラサリシカモ。亂熄ムノ後數年ヲ出スノ各其常産ニ復シ。兵丁ノ數ハ僅々タル定數ニ過キササルニ至レリ。要スルニ常ニ大兵ヲ擁スレハ動モスレハ之ヲ弄セントスルノ念ヲ起シ。亂ヲ戢ムル所以ノモノヲ以テ却テ亂ヲ開キシ。古今其例ニ乏カラス豈ニ嘆セザル可ケンヤ。

吾人ハ實ニ之ヲ異マサルヲ得ス。彼ノ龍驤虎視各國互ニ劍鋒ヲ削リ。地球ノ表面ニハ未ダ一日モ烽火ノ上ルヲ見サルノ日ナク。未ダ一日モ砲聲ヲ聞カサルノ時ナキ今日ニ於テ。如何ナレハ如此國體ニシ。而シテ此ノ如ク光榮ニ。其國體ヲ維持スルヲ得ル乎。之ヲ例

フルニ北米聯邦ノ今日ノ世界ニ於ケル。恰モ刀戟相繼シ。砲銃相接スルノ修羅ノ衢ニ悠然トシテ平服ヲ着シ。脱刀ノ横行濶歩スル者ノ如ク。實ニ其傍若無人ノ舉動ニ到リテハ。何人ト雖ヒ驚カサルヲ得ス。而シテ彼ハ何ノ頼ム所アツテ此ノ大胆ナル舉動ヲナスヤ。彼ノ各國ハ何ノ恐れ、所アリテ此ノ世界第一等ノ富榮ナル。即チ其尤モナル奇貨ヲハ彼ノ羅馬ノカルセーシニ於ケルカ如ク。歴山大帝ノタイルニ於ケルカ如ク。一攫一抔ノ奇功ヲ試ミサル乎。苟モ此問題ヲ了解スルハ士ハ必ス第十九世紀世界ノ眞面目ヲ了解ス可矣。」

今日ニ於テ各國ノ欲スル所。富ヨリ甚敷ハナシ。各國ノ恐れ、所富ヨリ甚シキハナシ。ソレ今日ノ世界ハ富ノ世界ナリ。而シテ彼ノ北米聯邦ハ富ニヨリテ立チタルノ國體也。ソレ唯々世界第一等ノ富榮ナル國ナリ。故ニ世界ノ大盜賊モ之ヲ窺竄スル能ハサルナリ。若シ苛刻ナル批評的ノ眼ヲ以テ之ヲ觀察シタラハ彼ノ北米聯邦トテ決シテ一々敬服ス可キ事而已ニハアラサル可シ。然レハ其國家制度文物ノ美ナルニ到リテハ吾人ハ實ニ之ニ心醉セサラント欲スルモ決シテ能ハサルナリ。彼ノ平民主義ノ政治ノ一隅ニ發達シ

タルニ止ラス。平民的ノ活氣ハ全社會ニ充滿磅礴シ。獨リ天下國家ノ大經綸ノミナラ
ス。日用其身ニ接近ノ殆ント人ノ注意ヲ惹ク能ハサル程ノ微妙些細ナル事ニアモ之ヲ
解剖スレハ悉ク平民的ノ分子ニヨリテ組織セラレサルハナシ。之ヲ要スルニ其ノ一國
ヲ擧ケテ徹頭徹尾。唯平民的ノ分子ノ結晶躰ニ云フ可キ一大現象ニ向ツテハ吾人カ實
ニ欽慕嘆美措ク能ハサル所ナリ。トクフウ井ル氏ハ曰ク

米人ノ身ヲ挺シ險ヲ踏ミ商業ニ從事スル。尙ホ佛人ノ軍陣ニ於ケルカ如シ。佛人ハ征
略ノ爲ニ之ヲ用ヒ。米人ハ廉價ノ爲ニ之ヲ用ユ。蓋シ米人ノ行險活潑ナル氣象ハ之ヲ
ノ世界ニ於テ尤モ廉價ニシテ尤モ快速ナル貿易者トナラシメタリ。
又曰ク

今ヤ其ノ櫓竿ニ翻々グルノ花旗ハ既ニ天涯地角。到ル所ノ人ヲメ尊敬セシムルノ力
ヲ有セリ。忘フニ數年ヲ出テスノ人ヲシテ更ニ恐怖セシムル所ノモノトナルヤ必セリ。
余ハ一タビ此ノ人民カ此ノ商業ニ電勉スルノ熱心ト其ノ商業ヲ進捗セシムル自然ノ
便益ト(按。善キ港灣ニ富ムカ如キノ類)及ヒ今日ニ於テ既ニ其成就シタル所ノ功績

ニ就キ思考スル時ニハ。余ハ早晚此國カ地球上第一流ノ海上ノ權者トナルヲ信ヒ
サラント欲スルモ能ハサルナリ。彼ノ羅馬人民カ世界ヲ征伏センカ爲ニ生レ出タル
如ク此ノ人民ハ海上ヲ支配センカ爲ニ生レ出タル者ナリ。

實ニ彼ノ羅馬人ハ鐵ヲ揮フテ金ヲ攫メリ。然レモ今ヤ米人ハ金ヲ攫ンテ鐵ヲ揮ヘリ。是
レ二國ノ相違シタル而已ニ止ラス。二國ニ依テ代表セラル、古今時勢ノ相違ナリ。ソレ
上古ノ時勢ハ腕力。富ヲ制スルノ時勢ナリ。近世ノ時勢ハ富。腕力ヲ制スルノ時勢ナリ。
而シテ彼ノ富ハ獨リ腕力ヲ制スルノミナラス。腕力ノ兒孫タル涙ナリ。血ナリ。怨恨ナリ。
爭鬥ナリ。嫉妬ナリ。強弱ヲ壓スルヲナリ。暴正ニ勝ツヲナリ。其他疾病。饑饉。放火。
盜賊。等ヲ一掃シ去ラトンスルノ希望ナシ。既ニ吾人カ眼前ニ横ハラシメタリ。吾人ハ試
ニ英國ニ於テ自由貿易ノ大先達タルコブデン氏ノ説ヲ聞ク可シ。

余ハ之ヲ信ス。彼ノ生活上ノ利益ハ自由貿易主義ノ全勝ヨリシテ人類ノ得タル所ノ一
少部分ノ利益ニ過キサルヲ試ニ遠大ノ眼ヲ開ケ。余ハ自由貿易ノ主義カ道義ノ世
界ニ於ケルハ猶ホ重力ノ法ノ宇宙ニ於ケルカ如ク人類ヲ一所ニ吸引シ。ソノ種族。宗

教。國語。等ノ相反對敵視スルモノヲ脱却シ。吾人チノ無極ノ平和ノ帶紐ヲ以テ一致セシムルヲ信スルナリ。更ニ一層ノ遠大ノ眼ヲ開キ視ヨ。余ハ之ヲ推測シ。且ツ之ヲ夢想ス。漢々タル將來即チ千有余年ノ後ニ於テ。此ノ主義全勝ノ結果ハソレ如何ナル可キカト。余ハ實ニ其結果ナルモノハ世界ノ表面チ一變シ。今日ニ流行スル處ノモノヨリモ全ク其ノ趣チ異ニスル所ノ政府ノ組織チハ採用スルコアルヲ信ス。余ハ彼ノ帝國ノ版圖チ張り。其ノ威力チ擴ゲ。雄壯ナル陸軍チ設ケ。偉大ナル海軍チ備ヘントスルカ如キ。即チ人ノ生命チ斬殺センカ爲ニ。若クハ勤勞ノ報酬タル財產チハ殘滅センカ爲ニ用ユルノ器械チハ備フルコノ願欲ト熱望トハ必ス烟散霧消スルヲ信スルナリ。余ハ若シ人類カ一家族トナリ。互ニ其同胞ト共ニ自由ニソノ勤勞ノ結果チバ貿易スルチ得ルノ日ニ於テハ。此ノ如キノ凶器ハ無用トナリ。更ニ之ヲ用ユルノ必要ナキニ到ルヲ信スルナリ。

吾人ハ實ニ此ノ言ノ夢想ニ屬セサランコトヲ希望シ。且ツ實ニ此ノ言ノ夢想ナラサルコトヲ信スルモノナリ。何トナレハ今日宇内ノ經濟世界ノ現象ハ實ニ此ノ言ノ空望ニアラサルコトヲ吾人ニ向テ保證スレハナリ。ソレ近世ノ歴史ハ兵ト富トノ戰爭史ナリ。而シテ第十九世紀ノ時代ハ富カ兵ニ向テ大勝利ヲ得且ツ得ントスルノ時代ナリ。看ヨク歐洲將來ノ歴史ニハ必ス彼ノ帝王宰相等チノ狼狽顛倒セシムルハ一大革命アル可シ。而シテ其ノ革命ナルモノハ何ソヤ。即チ商業主義カ腕力主義ニ向テ其ノ抗抵チ試ミ。而シテ連戰連捷終ニ其最後ノ目的ヲ達スルノ一大革命ナルコトヲ。嗟呼我カ同胞人民ヨ。記應セヨ。我カ四隣ノ境遇ハ實ニ此ノ如キノ有様ナルコトヲ。

第八回 平民主義ノ運動 一

(第二社會自然ノ大勢ヨリ論ス)

天地ハ萬物ノ逆旅ニシテ光陰ハ百代ノ過客ナリ。而シテ此光陰ノ大潮流ト共ニ世界ノ表面ニ發出スル人事ノ現象ハ自カラ運轉變動セサル可カラサル者アリ。而シテ其變動ナル者ハ自カラ社會自然ノ大勢ノ爲ニ支配セラレ、者アルヲ見ル也。

試ミニ見ヨ。上古ニ於テ光彩燦爛。世界ノ舞臺ヲ裝フタル貴族的ノ現象ハ、何クニア
 ル。看ヨ。其一半ハ既ニ凋落シ去リ。視聽ノ世界ヲ去リ。既ニ記憶ノ世界ニ入りシニ非ラ
 スヤ。而シテ其ノ僅ニ生存スルモノトシテモ瘦步蹣跚既ニ其片足ヲハ墓中ニ投シタルニ非
 ラス乎。是ニ反シ彼ノ平民的ノ現象ナルモノハ。恰モ一夜ノ中ニ富士ノ高山カ地而ヨリ
 湧出シタルカ如ク。第十九世紀ノ世界ニ突兀トシテ聳エ來リタルニ非ラスヤ。蓋シ貴族
 的ノ現象既ニ去リテ平民的ノ現象將ニ來ラントスルハ是レ歷史上ノ一大事實ナリ。已
 ニ事實ナリ必ラス其然ル所以ハ者アテサル可カラス。

抑モ社會ヲ組織スルノ分子ハ。實ニ雜駁ナルモノナレハ。其運動ノ如キモ決シテ單純ノ
 法則ノミニテ支配セラル可キ者ニアラサルハ固ヨリ論ヲ俟タス。故ニ吾人ハ敢テ此ヲ
 以テ。生産武備ニ機關ノ消長盛衰ヲ以テ。唯一ノ原因トハ爲サ、レニ。若シ此等ノ現象
 ハ如何ナル境遇ニ生長シ來ル可キカト問ハ、吾人ハ猶豫ナク答ヘント欲ス。彼ノ貴族
 的ノ現象ハ武備機關ノ進歩シタル境遇ニ生スル者ニシテ平民的ノ現象ハ生産機關ノ隆
 盛ナル境遇ニ生スル者ナリト。則チ上古ノ歴史ニシテ此ノ如キ現象アルハ決シテ異ム

ニ足ラス。何ントナレハ此ノ如キノ境遇アレハナリ。近世ノ歴史ニ於テ此ノ如キノ現象
 アルハ決シテ異ムニ足ラス。何ントナレハ此ノ如キノ境遇アレハ也。

如何ナル自由ノ意志ヲ有スル動物モ。必要ノ前ニハ必ラス其首ヲ低レサル可カラス。實
 ニ上古ニ於テ武備機關ヲ設ケサル可ラサルノ必要ハ既ニ他ノ一種。異樣異彩ナル貴族
 的ノ現象ヲ生セサル可カラサルノ必要ヲ産セシメタリ。而シテ何ノ必要アリテ上古ニ於
 テハ武備機關ヲ設ケサル可カラサラシメタルカ。人間社會ノ進歩セサル可カラサル必
 要アルカ故ナリ。切ニ是ヲ言ヘハ優勝劣敗ノ妙理ヲ活用シテ以テ優等ノ人種ト優等ノ
 社會トヲシテ社會ニ生存ヒシメ社會ヲ支配セシメントスルハ必要アルカ故ナリ。

世界文明ノ微光ハ兵ノ運動ト共ニ始リ。武備ノ機關進歩スルニ從ヒ社會ハ愈々其歩ヲ
 進メ。二者並行未タ嘗テ離テ聯ヘ。缺テ聯テテ運動セサルコトハ非ス。吾人ハ實ニ斷言ス。
 文明ナル者ハ實ニ武力ノ胎内ヨリ孕産シタルモノナルコトヲ。試ミニ思ヘ。文明世界ノ
 人類ヲシテ文明ノ民ヲラシメント欲セハ自由ハ必要ナルカ如ク。野蠻世界ノ民ヲシテ
 文明ノ民ニ進メント欲スル時ニハ抑壓ナル者ハ實ニ必要ナリ。此レハ其ノ應ハ動クカ

儘ニ放任セザレハ以テ文明ノ運動チナス能ハス。彼レハ其意ノ動クカ儘ニ放任スル時ニハ以テ文明ノ運動チナス能ハス。其目的ハ一ナリ。然レモ其手段此ノ如ク異ナラサル可カラサル所以ノ者ハ實ニ其人民ノ位置ニ於テ已ム可カラサル者アレハ也。

試ミニ思エ。如何ニシテ偉大ナル帝國ハ生スルヲ得タル乎。如何ニシテ器械技術ハ發明スルヲ得タル乎。如何ニシテ輻強ナル脉格ヲ有スル人民ハ社會ヲ支配スルヲ得タル乎。如何ニシテ緻密ナル法律ハ生シタル乎。如何ニシテ錯雜ナル政治社會ノ機關ハ發達スルヲ得タル乎。是ヲ約スレバ如何ニシテ人類ノ社會ヲシテ蜂衙蟻樓ヨリ高等ナルモノトナラシメタルヲ得タル乎。是レ皆ナ腕力運動ノ結果ニアラスヤ。蓋シ今日ノ所謂文明世界ニ向テ未開野蠻ノ人民ヲシテ一步ヲ轉ゼシメタル者ハ何ツヤ。他ナシ。ニムロツトノ如キ。秦始皇ノ如キ。若シクハロミユロスノ如キ。メテセスノ如キ。ライコンルゴスノ如キ。人々ノ社會ニ出デタレハ也。若シ此等ノ人ナカリセハ今日ノ社會ハ依然タル太古ノ社會ニシテ。今日ノ人民ハ唯々彼ノタルタルノ曠原ニ野獸ヲ逐ヒ。アラビヤノ砂漠ニ駱駝ヲ驅ルノ人民ナル可シ。則チ是等ノ暴君若シクハ壓制者ナル者ハ實ニ社

會進化ノ大恩人ト云ハザル可カラズ。故ニ上古ノ世界ニ於テ早ニ自治ノ制度ヲ適用シ平民的ノ現象ヲ以テ社會ヲ支配シタルノ國牀ナキニ非ラズ。則チカールセーシノ如キ。ロイルノ如キ。若シクハ亞雅ノ如キ。或ハ地中海ノ沿岸ニ星羅シタルクイル希臘ノ諸殖民地ノ如キ。自由ノ光輝ヲ上古ノ社會ニ放チタル者ナキニアラズト雖モ小魚ハ大魚ノ餌トナリ。小敵ハ大敵ノ擒トナリ。終ニ近傍ノ腕力國ノ腹ヲ肥ヤスノ食物トナレリ。是レ何ノ故ツヤ。蓋シ其時節ヲ得ザレバ也。其境遇ニ適セザレハ也。其ノ進歩ト社會全體ノ進歩ト平均ヲ得ザレバ也。故ニ上古ノ歴史ニ平民社會ヲ見レバ恰モ方綠叢中一點ノ紅ヲ望ムカ如ク實ニ愉快トモ珍奇トモ云フ可ケレモ。到底可憐可悲ノ歴史タルニ過キス。故ニ知ル可シ。羅馬ノカールセーシヲ滅シタルハシビオノ功業ニモアラズ。カールセーシノ滅サレタルハハニバルノ罪ニモアラズ。亞雅カス波爾多ノ爲メニ屈辱セラレタルモ獨リ是ヲペロポンチノスノ一戰ニ歸ス可ラス。其滅ビタルハ平民的ノ社會ナルガ故ナリ。或ハ寧ロ平民的ノ社會ノ罪ト云ハンヨリ其時節ニ不恰適ナル社會ナリシガ故ナリ。其威カヲ逞フシタルハ貴族的ノ社會ナリシガ故ナリ。或ハ寧ロ貴族的ノ功德ト云ハンヨリ

其時節ニ恰當ノ社會ナリシガ故ナリ。武備的ノ世界ニハ貴族的ノ社會以テ其力ヲ逞トスルヲ得可シ。生産的ノ世界ニハ平民的ノ社會以テ其力ヲ逞トスルヲ得ベシ是レ自然ノ理ナリ。

雖然光陰ノ潮流ハ奔リテ止マズ。武備的ノ機關既ニ其効用ヲ社會ノ進化ニ竭シ。是レガ爲メニ社會カ一步ヲ轉ズルノ時ニ於テハ社會ノ境遇モ一步ヲ轉セザル可カラズ。白雪天地ニ滿チ四望銀世界ノ日ニ於テ。春風百花ヲ扇クノ好時節ハ殆ンド人ノ夢想セザリシ所ナリト雖也。地球カ地軸ヲ轉シ。其軌道ヲ奔ルヤ端ナク此ノ時節ニ來ラザル可カラサルガ如ク。我が世界ノ歴史モ。日月ノ潮流ト共ニ終ニ此ノ意外ナル境遇ニ來ラザル可カラザルノ命運トナレリ。蓋シ彼ハ中古ノ歴史ハ武備ノ境遇一變シテ生産ノ境遇トナリ。貴族ノ社會一變シテ平民ノ社會トナラントスル一大過渡ノ歴史ニシテ近世ノ歴史ハ既ニ半バ其目的ヲ成就シ。又々半バ是ヲ成就セント欲スルノ歴史ト云ハザル可カラズ。彼ノ生産ノ機關カ武備機關ノ中心ヨリ出デクルガ如ク又々近世平民的ノ現象ナルモノハ多クハ中古ノ貴族的ノ現象中ヨリ生出シ來ラザルモノ殆ンド稀レナリ。而シテ

武備機關ノ衰亡ト。貴族社會ノ凋落ト。生産機關ノ興隆ト。平民社會ノ勃起トハ。恒ニ一致聯帶ノ運動ヲナスモノニシテ此ノ中ニハ實ニ云フ可カラサル妙理ノ存スルモノアルハ社會ノ大勢ニ通シタルノ士ノ實ニ玩味スル所ロナラン。蓋シ英國ホド其秩序善ク平民主義ノ進歩シタルモノハアラス。實ニ英國社會變遷ノ實例ハ以テ歐洲一般社會ノ模範トシテ論ズルニ足ル可シ。而シテ彼ノ英國ハ何カ故ニ此ノ如ク速ニ封建ノ羈絆ヲ脱シ。此ノ如ク速ニ帝王ノ專制ヲ脱シ。此ノ如ク速ニ宗教ノ專制ヲ脱シ。妄想迷信ノ專制ヲ脱シ。如何ニシテ其政治ノ自由ヲ得。如何ニシテ其ノ社交ノ自由ヲ得。如何ニシテ其思想ノ議論。良心ノ自由ヲ得タルカト問ハ。古今ノ學者ノ是ニ答フル。其說甚ダ繁ク且ツ長シト雖也。唯タ一ノ要領ヲ擧ゲンコトヲ請ハ。萬口一聲皆富ノ進歩シタルガ故ナリト云フ可シ。商業ノ進歩ト。平民主義ノ進歩トハ。決シテ單行スル者ニ非ラズ。良シ暫時ハカ、ル例外ノ現象モアルベケン也。到底相聯絡セザル可カラザルモノ也。苟モ然ラザレバ其二者ノ生存決ノ覺束ナキ也。若シ是ヲ疑ハ。盡ツ試ミニ英國憲法史ヲ一讀セザルヤ。嗟呼奚ツ夫レ造物主ノ用意ノ周到懇切ナルヤ。彼レハ抑壓ノ人生ニ幸福ヲ與フル時ニ

於テハ必ズ人生ニ向テハ其抑壓ヲ與ユタリ。彼手自ラ與ユタルニアラズ。然レモ社會ノ境遇ハ當時ノ人類ヲシテ抑壓ヲ忍受セザル可カラザラシメタリ。人類已ニ自由ヲ必要ナリトナスキニ於テハ造物主ハ又々自由ヲ與フ。渠レノ是ニ與フル所以ノ者ハ他ノ術ナシ。唯タ人類ノ境遇ヲ一變シテ抑壓ヲ忍受ス可カラザラシメタリ。上古ノ社會ニ武備機關ノ增長シタルハ近世ノ社會ニ生産機關ノ增長センカ爲メ也。上古ノ社會ニ於テ貴族的ノ社會ノ流行シタルハ近世ノ社會ヲシテ平民的ノ社會タラシメンカ爲メ也。吾人が先祖ノ抑壓ヲ被リタルハ吾人ヲシテ是ヲ被ラザラシメンカ爲メ也。即チ吾人ヲシテ自由ヲ得セシメンガ爲メ也。

實ニ自由ノ世界則チ平民的ノ社會ハ彼ノルソーガ夢想シタル如キ質朴野蠻ノ社會ニ於テ決シテ行フ可キ者ニアラズ。則チ其性質ヲシテ順從ナラシメ。其氣像ヲシテ順致セシメ。是ヲシテ結合協力ノ道ヲ知ラシメ。是ヲシテ自愛他愛ノ關係ヲ知ラシメ。是ヲシテ社會ノ威力ヲ感ゼシメ。其形骸上ニ於テハ恒久ニ耐ユルノ身軀タラシメザル可カラズ。其智力上ニ於テハ遠慮アリ。將來ヲ豫備スルノ智識ヲ蓄エシメザル可カラズ。其感情

上ニ於テハ主我的ノ放恣ナル運動ヲ制スル種々ノ軀面法。習慣法ノ支配ヲ被ラシメザル可カラズ。唯タ此ノ如ク進歩シタル社會ニシテ始メテ人爲ノ結合止ンテ自然ノ結合生シ。人爲ノ必要止ンテ天然ノ必要生シ。強迫牽制的ノ運動止ンテ始メテ自由隨意的ノ運動行ハル。一ヲ待ル也。ソレ野禽ヲ林園ニ馴レ養ハント欲セバ先ツ是ヲ籠中ニ收メザル可ラズ。籠中ハ決シテ野禽目的ノ地ニアラザル也。然レモ林園ノ中ヲ高飛翔吟セシメント欲セバ先ツ此ノ究屈ナル籠中ノ苦ヲ忍受セシメザル可カラズ。然ラザレバ決シテ其性ヲシテ馴養セシムルコト能ハザルナリ。ソレ世界ハ造物主ノ林園ナリ。人類ハ其野禽ナリ。是ヲシテ其幽谷ヲ出デ喬木ニ移リ林園ヲ快翔セシメント欲セバ先ツ貴族社會ノ籠中ニ孤囚タラシメザル可カラズ。ソレ上古貴族的ノ社會ハ人類ヲ教育シテ自由ノ天性ヲ全フセシムル一ノ學校ニテアリシコトハ。人類カ幾千年ヲ經過シタルノ今日ニ到リ。始メテ其過去ノ足跡ヲ回顧シ漸クニ其深意ノ萬一ヲ理會スルヲ得ルニ到レリ。ソレ火中ニ蓮花ヲ咲カシメ荆棘ノ中ヨリ葡萄ヲ收穫シ不自由中ヨリ自由ヲ生ズルカ如キ不可思議ノ手段ニ至リテハ吾人ハ實ニ驚嘆ヒザラントスルモ能ハザル也。而

シテ人生ノ狭少ナル心ヲ以テ考フレバ此ノ不自由的ノ學校ニ在ル日月ノ餘リニ遼遠ナリシヲ見テ竊ニ疑フ者アレヒ。渠ノ無極ヲ以テ時トナシ。宇宙ヲ以テ家トナス。上帝ノ眼光ヨリ見レハ一秒時間ニダモ價ヒセザル可シ。造化一步ヲ轉ズレバ人生幾千年ヲ經過スルヲ知ラズ。嗟呼又々大ナル哉。

第九回 平民主義ノ運動 二 (同上)

抑モ此ノ平民主義ノ運動ノ尤モ著明ナルハ政治世界ニアリ。蓋シ平民主義ノ政治世界ニ侵入スル恰モ狂瀾怒濤ノ海面ヲ捲テ奔ルカ如ク。貴族的ノ堤防ハ一時ニ潰裂セサラント欲スルモ能ハサルノ勢ニシテ。即チ米國革命戰爭ノ如キ。佛國革命ノ如キ。希臘。伊太利ノ獨立ノ如キ。英國憲法改正案。非穀物條例運動ノ如キ。皆十目ノ觀ル所。十手ノ指ス所ナリ。一千八百六十五年フライイト氏ハホルミングハムノ公館ニ於テ議院改正案ニ關シ左ノ演說ヲナセリ。

國家ノ危禍トシテ恐怖ス可キモノハ平民主義ニ非スシテ寧ロ平民ノ正常ナル請求ト權利トニ敵對スル執政者執權者ナリ。其名稱ハ彼レ自ラ稱シテ王黨ト云ヒ民權黨トモ云フニセヨ。其眞面目ハ保守黨ナルモノニ此ノ黨派コソ實ニ吾人カ戰ハサル可クサル眞ニ國家ノ大危禍ナリ。渠輩ハ河流ヲ禦ク可シ。奔水ヲ逆流セシム可シ。然レトモ一旦水勢ノ激昂汎濫スル時ニ於テ。而シテ今ヤ其時ノ來ル眞ニ眼前ニ迫ルノ時ニ於テ。若シ聰明ナル政略ヲ以テ此ノ愚妄ナル政略ニ代ユルコトナクンバ乍チニシテ其堤防ヲ潰破セシム可シ。渠レ自ラ揚々トシテ今ハ平民主義ヲ鎮壓シタリト安心スルノ時ニ於テ乍チ一致雄決シタル人民ノ猛志ヲ以テ此チ一掃スルニ到ル可シ。乞フ試ニ眼ヲ舉テ歐洲ノ表面ヲ見ヨ。未ク代議ノ制度ヲ適用セサルノ國ハ唯二國即チ露土ノ二國アル而已。而シテ露國ノ如キハ他ノ歐洲諸國ト共ニ駭々乎トシテ自由ノ域ニ進メリ。代議政體ノ如キハ伊太利ニ於テモ。或ハ埃太利ニサヘモ。又或ハ殆ンド日耳曼諸聯邦ニ於テ。北方ノ諸國ニ於テ。白耳義ニ於テ。和蘭ニ於テ。佛蘭西ニ於テ。葡萄牙ニ於テ。西班牙ニ於テ發見セラレサル所ナキニアラスヤ。

蓋シ平民主義ハ今日政治世界ノ一大勢力ナリ。吾人ハ其ノ何ノ處ヨリ來リ。何ノ處ニ往クヲ知ラス。然レモ其ノ威ノ觸ル、所。其氣ノ激スル所。至大至剛殆ソド天地ニ充塞スルノ勢ナルハ吾人ガ恒ニ目撃ノ驚嘆スル所ノモノナリ。其氣運ノ趣ク所或ハ貧賤ナル農夫。僱工。賤人ヲシテ權利ヲ保存セシムルノ嘆願書トナリ。或ハ柔婉優美ナル婦女ヲ參政ノ權ヲ分配センコトヲ迫ルノ公訴狀トナリ。或ハ壯烈鬼神ヲ泣カシムル獨立檄文トナリ。或ハ萬峯飛舞天ヨリ來ル雄快ノ演說トナリ。之レカ爲ニ俄然トシテ一ノ大平民國興リ。之レカ爲ニ忽然トシテ一ノ大貴族國滅ヒ。之カ爲ニ一個ノ市民ハ乍ラ世界萬國ノ敬禮推尊ヲ受クルノ大統領トナリ。之カ爲ニ朕ハ即チ國家ナリト誇言シタル大皇帝ノ子孫モ他國ニ流寓シ天涯ノ孤客トナラサル可ラサルニ到レリ。而シテ其ノ或ハ之ヲ激スルヤ天狗地ニ噴テ聲、雷ノ如キ虛無黨ノ爆裂彈トナリ。等閑ニ觸着スレハ火星ヲ飛ハス社會黨ノ猛烈手段トナリ。殆ソト人ヲシテ其ノ所以ヲ端倪ス可ラサシムルノ有様トナレリ。是レ何ノ原因アリテ然ル乎。他ナシ渠輩カ政治上ニ於テ此ノ如キ願望ヲ有スル所以。而シテ此ノ願望ハ鍾リテ此ノ如キ大勢力ヲナス所以ハ者ハ。唯タ彼等カ既ニ

生産上ニ於テ得タル所ノ者ヲハ政治上ニ擴クルヲ以テハ故ナリ。既ニ商賣上ニ於テハ唯一ノ購買者ト販賣者。即チ唯一ノ權理者ト義務者トアル而已。故ニ渠輩ハ之ヲ政治上ニ推シ及シ政治上ノ關係ヲモ唯タ權理義務ノ關係ヲ以テ支配レシコトヲ欲スルナリ。生産上ニ於テ渠輩ヲ使役シ。渠輩ヲ運動セシムル者ハ唯タ自然ノ必要アルノミ。故ニ渠輩ハ政治上ニ於テ唯タ自然ノ必要ヲシテ其命令者タラシメンコトヲ欲スルナリ。生活上ノ最大威權者ハ唯タ正義ナリ。故ニ政治上ノ最大威權者モ唯タ正義ニアランコトヲ願フナリ。之ヲ要スルニ生産上ニ於テハ渠輩ハ自由ナリ。平等ナリ。自然ナリ。故ニ政治上ニ於テモ自由ナリ。平等ナリ。自然ナランコトヲ欲スル而已。ソレハ人類ハ利害尤モ切ナルノ點ニ向テ尤モ其痛痒ヲ感ス。生活上ノ利害ハ直接ノ利害ナリ。故ニ人類ハ期セスシテ生活上ニ於テ先ツ其安心立命ノ地位ヲ得タリ。政治上ノ利害ハ間接ナリ。然レモ既ニ直接ノ利害ニ於テ其所得バ之ニ隨テ其尤モ心ヲ悩マヌモノハ必ズ間接ノ利害ナラサル可ラヌ。直接ノ利害アル間ニ間接ノ利害ナレ。既ニ一步ヲ轉シ來レハ間接利害モ一變シテ直接ノ利害トナラサル可ラス。ソレ青ハ藍ヨリ出テ、藍ヨリモ青シ。平民主義ハ生産機

關ノ境遇ニ生出シ殆ント其勢力ハ駕シテ之ニ上ラントス。然ラハ即チ今日ニ於テ政治
 上ニ於テ平民主義ノ流行スル豈ニ又宜ナラスヤ。今日ノ社會ヲ維持スルニハ平民主義
 ナラサル可ラス。今日ノ平民主義ハ社會ノ元氣ヲラサル可ラス。彼ノ貴族社會ノ武備主
 義ノ爲ニ武備主義ト共ニ武備主義ニ頼リテ立タサル可ラカク。又々彼ノ生産世
 界ナルモノハ平民主義ノ爲ニ平民主義ト共ニ平民主義ニヨリテ立タサル可ラス。只此
 ノ一ノ必要アリ。必要ノ向フ所天下ニ敵ナシ。今日ニ於テ平民主義ノ天下ニ敵ナキモ
 豈ニ又宜ナラスヤ。世ノ平民主義ノ仇敵ヲ以テ自ラ任スルノ士ハ之ヲ以テモンテスキ
 ヌウ。ルーソー輩ノ鼓舞煽動ニ出テタリトテ恨メシク其ノ不平ヲ訴フレド。是レ豈ニ然
 ランヤ。彼ノ二氏ハ其議論少疵ナキニ非スト雖モ。一世ノ智勇ヲ推倒シ。万古ノ心胸ヲ
 開拓ス。其豪膽卓識固ニ世出ノ人物ナルハ論ヲ竣タスト雖モ若シ其ノ言フ所ニノ人民
 ノ實利實益ト相反スルカ。若シクハ相關涉ナキ時ニ於テハ何カ故ニ此ノ如ク一聲ノ霹
 靂大地ヲ劈クノ大革命ヲ生出シ來ランヤ。彼ノ人民ナルモノハ政治上ニ於テコソ平民
 主義ノ如何ヲバ理會ヒサリシモ生活上ニ於テハ既ニ之ヲ實行シ來リシナリ。彼ノ二氏

ハ如キハ空中ノ樓閣ヲ構成シ來リテ人民ヲ教唆シタルニ非ズ。唯々人民ノ實際上ノ事
 實ヲ觀察シ之ヲ歸納シ之ヲ演繹シテ一片ノ議論ヲ作爲シタル而已。釋迦ハ固ヨリ慈
 善家ナリ。然レモ釋迦ノ來ラサル前ニ人類ノ慈善ヲ行フモノソレ幾千人ナル乎。彼ノ二
 氏ハ固ヨリ平民的ノ政論家ナリ。然レモ二氏ノ說法セサル以前ニ幾何ノ人民カ事實上
 ニ平民主義ヲ實行シタル乎。ソレ國家ハ人民ヲ以テ組織シタル一大有機體ナリ。既ニ然
 ラハ平民主義ノ分子ハ國家ト共ニ國家ノ中ニ生出シタルヤ疑フ可ラス。而シテ其ノ未
 タ發達セサル由縁ノモノハ何ソヤ。其時節未ク來サレバナリ。其境遇未タ生セサレハ
 ナリ。其機會未タ熟セサレハナリ。今ヤ既ニ其機會ヲ得タリ。二氏ナシト雖モ固ヨリ此
 ノ境遇ニハ此ノ現象アラサル可ラス。況ンヤ二氏ノ如キ案内者アルニ於テオヤ。
 蓋シ今日歐洲各國ニ於テ平民主義ノ運動ナルモノハ。彼ノ東洋ノ僞英雄カ龍驤虎變。手
 チ大澤ノ中ニ揮フツ其方一ヲ僥倖スル大博奕的ノ閑事業ニ非ス。否ナ實ニ人民ノ利害
 存亡ニ大關係ヲ有スルモノ也。歐洲ノ世界ハ平民ノ世界ナリ。故ニ彼ノ租ヲ食ヒ。稅ヲ
 飲ミ。他人ノ膏血ヲ絞リテ自家ノ口腹肉慾ヲ飽カシムル如キ閑生活ヲナスモノハアラ

三郎曰、泰皇漢
 武源右將繼太
 閔、自著者觀之
 不唯孩兒、其膽
 識可謂絕倫、

ス。然ラハ則チ何ノ暇アリテカ我ニ關係ナキ事業ニ無用ノ心配ヲナスモノアラシヤ。文明ノ世界ハ多忙ハ世界ナリ。豈消閑ノ計ナキニ苦ムモノナランヤ。而シテ彼ノ如ク憤發激昂自ラ進テ止マサル所以ノモノハ自家頭上ニ禍福安危ノ應報アレハナリ。故ニ歐洲ノ平民主義ナルモノハ二三子ノ偶爾ノ盡力ニ出タル行潦ノ水ニハアラス。彼ノウイクトルヒユゴー氏ハ曰ク「今ヤ佛國ノ經過セサル可ラサル危機ノ叢中ニ於テ卒爾トシテ問フ者アリ。曰ク誰レカ此ノ如キ困厄ヲバ作出シタル乎。吾人ハ誰レヲ罰ス可キ乎。歐洲ノ狼狽者流ハ曰ク佛國ニアリト。佛國ノ狼狽者流ハ曰ク巴里ニアリト。巴里ノ狼狽者流ハ曰ク出版ノ自由是レナリト。然レモ活眼精識ノ人ハ曰ク其罪人ナルモノハ出版ノ自由ニ非ス。巴里ニアラス。佛國ニアラス。即チ其罪人ハ深ク人間頭腦ノ中ニアリト。吾人モ亦此ノ如ク曰ハント欲ス。若シ今日ノ平民主義ノ罪人ヲ問ハント欲セバ人民ノ實利實益ニアリ。即チ軍ノ人民ニアリト。ソレ上古ニ於テ平民主義ノ政治世界ニ流行セサル所以ノモノハ唯國家アリテ人民ナキヲ以テナリ。今日ニ於テ其流行スル由縁ノモノハ人民アリテ國家ハ之カ爲ニ設ケタルヲ以テナリ。然ラハ則チ何故ニ平民主義ハ其全勝

チ今日ニ博スル能ハサル乎。曰ク是レ抑モ説アリ。

荷モ因果ノ理法宇宙ノ万物ヲ支配スル間ハ人間ト雖モ。社會ト雖モ。決シテ其一部分ハ過去ノ抑壓ヲ免ル、ト能ハサル可シ。ソレ過去ノ歐洲世界ハ貴族的ノ世界ナリ。然ラハ則チ今日ニ於テ縱令如何ニ其抑壓ヲ脱セント欲スルモ幾分カ之ヲ忍受セリル可ラサルハ未ダ現今ノ社會ノ産出セサル以前ニ既ニ指定セラレタル一ノ命運ト云ハサル可ラス。彼ノスペインセル氏カ冷刺シタルカ如ク。學校ノ教育ニ於テ一週ノ六日間ハアチルス。

(ツロイ戦争ノ勇將)チハ英雄トシテ崇拜セシメ其第七日(日曜日)ニハ基督ヲ親愛ス可シト教ヘ。公館ノ響應ニ於テハ未ダ國會ノ爲ニ祝杯ヲ傾ケスシテ却テ先ツ陸海軍ノ人ノ爲ニ之ヲ傾クルカ如キ雜駁ナル習慣ハ如何ニシテ生シタル乎。傲慢偏僻ニシテ不健全ナル愛國心ハ如何ニシテ生シタル乎。門閥ヲ尊ヒ。舊慣ヲ重ニスルノ風習ハ如何ニシテ生シタル乎。人間ノ關係ハ權理義務ニアラスシテ主人ト奴隸ナリトノ妄想ハ如何ニシテ生シタル乎。官吏チ鬼神ノ如ク尊ヒ。武勳ノ外ニハ更ニ勳業ナントノ迷思ハ如何ニシテ生シタル乎。何故ニ政府ヲハ爲サ、ル所ナキ。能ハサル所ナキ。無盡藏ノ威權者ト

種ヲ下シタル禍機ヲバ氏ニ遺傳シテ氏ヲシテ之ヲ收穫セシメタル故ナリ。蓋シ保守黨ノ今日ニ於テ尙ホ若干ノ勢力ヲ英國政界ノ一方隅ニ有スル所以ノ者ハ。固ニ彼ノ舊分子ノ力ニ殊ニ之ヲ扶植シタルビーコンスフィールド侯ノ力アルヲ以テナリ。彼ノサリスホリーノ善ク罵ル。チャルチルノ傾危ナル。勿論弱敵ニ非ラサレモグラットストン氏ノ眼中ヨリスレバ是レ兒曹而已。所謂公等碌々ノ輩而已。而シテ今日ニ於テ氏ヲシテ斷々平トシテ彼ノコブデン。ブライト諸氏カ主張スル純粹潔白ナル平民的ノ政治家トナル能ハス。却テ月ニ一鶏ヲ竊ムノ姑息手段ヲ行ハサル可ラサラシメタル所以ノモノハ何ソヤ。墓中ノ大敵アルカ故ナリ。實ニ彼ノウエストミニオスタルノ幽鬱ナル積土ノ中ニ沈黙シタル一個ノ死人ハ却テ議院壁内ニ起テ扼腕擊節多々益々辨スルノ衆多ノ生人ヨリモ氏カ進路ヲ防障スルモノト云ハサル可ラス。吾人ハ三國志ヲ讀ミ死セル孔明生ケル仲達ヲ奔ラスルノ一節ニ到リ竊ニ其奇談ニ驚キタリ。然ルニ今ヤ料ヲサリキ吾人カ眼前ニ於テ復々此事アルヲ見ントハ。

三郎曰、設過去抑壓餘孽猶々數百言、雄快無比、黃粉幼婦四字、可以評此文、

第十回 平民主義ノ運動 三 (同上)

雖然過去ハ既ニ過去ナリ。豈ニ久敷ヲ保タン乎。今日ニ於テ武備ノ機關ト貴族的ノ現象トハ既ニ其宇宙ニ生出シタル所以ノ目的ヲハ達シタリ。渠輩ノ事業ハ既ニ成就セリ。渠輩ノ功蹟ハ既ニ其局ヲ結ヘリ。渠輩ハ我カ社會ト人民トナシ此ノ位置ト此ノ時節トニ伴ヒ來レリ。最早渠輩ハ此ノ世ニ要ナキナリ。故ニ人或ハ曰ン既ニ然ラハ何ソ潔ク其最後ヲ遂ケサルヤ。造化ハ何故ニ斯ル無用ノ長物ヲハ空間ノ世界ニ竄流セサルカ。曰ク説アリ。遠途ノ旅客カ朔風肌ヲ裂キ積雪脛ヲ没スル万山ノ中ヲ經過スル時ニハ必ス綿衣ヲ重テサル可ラス。實ニ此ノ時。此ノ處ニ於テハ綿衣程必要ナルモノハアラサル可シ。然レモ春色靄然タル平原曠野ニ出ツル時ニ於テハ若シ何物カ尤モ必要ナル否厄介物ナルカト問ハ、必ス此ノ綿衣ナラサル可ラス。然ラハ何爲ソ此ノ綿衣ヲ脱セサル乎。習慣ハ人心ヲ纏フハ綿衣ノ身ヲ纏フヨリモ甚シ。既ニ之ヲ知ラハ過去ノ抑壓ノ甚敷モ亦知ル可キナリ。雖然如何ナル過去ノ抑壓ト雖モ人類ノ自愛心ニ敵スルコト能ハサルナリ。ソレ人ニ自愛心アルハ物ニ求心力アルカ如シ。ソレ物躰ハ恒ニ降下スルモノナリ。然レモ

或ハ輕快ナル瓦斯ノ作用ヲ假ル所ノ輕氣球ノ如キハ空中ヲ飛揚スルコトモアルナリ。然レモ是レ例外而已。輕氣球ト雖其作用終レハ乍チ求心力ノ權威ノ下ニ降服セリル川ラス。或ハ人爲ノ假設ノ作用ノ爲メニ自愛心ノ活動ヲ制スルカ如キコトアルヘシ。然レモ是レ亦タ例外而已。如何ナル威武ト雖モ如何ナル尊嚴ト雖モ如何ナル富貴ト雖モ如何ナル誘惑。迷妄。偏僻。陋習ト雖モ其鋒ニ敵スルコトヲ得ンヤ。自愛心ノ向フ所ハ天下ニ敵ナシ。ソレ黒雲日光ヲ蔽フトモ太陽ハ依然トシテ雲間ニ存スルナリ。然ラハ則チ亦タ焉ソ其全勝ノ近キニアルヲ疑ハシヤ。吾人ハ之ヲ信ス。第十九世紀社會ノ大烈風ハ既ニ彼ノ上古ニ於テ垂天ノ雲ノ如キ鬱々惹々タル貴族ノ大木ヲ拔キ去レリ。既ニ拔キ去レリ。縱令暫時ハ其綠色ヲ變セリルモ是レ既ニ死セル材木ナリ。生ケル林樹ニアラサルナリ。實ニ然リ。ソレ豈ニ久敷ヲ保タン哉。ミル氏曰ク「我邦(英國)ノ制度ノ既ニ變革シタル所以。若クハ將ニ大變革ヲナサントスル所以ハ。哲學者流ノ力ニ出テタルニ非ス。近時ニ勃然トシテ其勢力ヲ增長シタル社會多數人民ノ利益ト願欲トノ力アルカ故ナリ。」ト故ニ知ル可シ。平民主義ノ勢力ヲ逞スル所以ハ人民ノ利益願欲。是レカ

三編目好

鼓動者トナルカ故ナリ。貴族主義ノ萎靡スル所以ハ人民ノ利益願欲。是レカ反對者トナルカ故ナリ。去レハ彼ノ英國ニ於テモ。今日ニ於テ彼ノ貴族的ノ現象ナル外交政略或ハ軍口權謀倭掠ノ政略ナルモノハ獨リマンチエスタル派ノコブタン。ブライイト諸氏ノ之ヲ攻撃スルノミナラズ。其ノ始メニ於テ諸氏カ唱ヘタル白雪陽春ノ格調ハ高遠ニシテ之ヲ和スルノ人ハ少カリシト雖モ。其ノ主義ハ人民ノ實利實情ニ伴フタルノ故チ以テ。否テ軍口實利實情ニ基キタルヲ以テ今ハ之ニ唱和スルモノハ一ニシテ足ラス。

(註) スペンセル。ペイン等ノ哲學家ヲ始メジョンモルレイ。フレデリックハリソン其他有名ノ議員紳士等カ一社ヲ結ビ。非侵掠同盟ト號シ。去ル十五年二月二十二日倫敦ノ「ウエストミニストルパレイスホテル」ニテ會盟式ヲ行ヒタリ。其目的ハ從來ノ英國ノ動モスレハ武威ヲ外國ニ振ヒテ侵掠主義ヲ實施スルコトアルヲ憂ヒ。成ル可ク其弊ヲ矯メテ四海皆ナ兄弟ノ交リナサシメントノ旨ニテ。其手段ハ一ニ英國政略ニ注目ス可シ。二ニ外交政略ニハ議院ノ主權權ヲ擴張ス可シ。三ニ外交家ノ外國人ニ對シテ壓抑ノ手段ヲ施シタルモノハ之ヲ免セシム可シ。四ニ英國臣民保護ニハ兵力ヲ

用フルモ可ナリトノ主義ニ至當ノ區域ヲ立ツ可シ。五ニ外人ト接スルニハ正道ヲ旨トシ蠻民ト雖也之ヲ待スルニ荒暴ノ所爲アル可ラス。六ニ戦争ハ成ル可ク和談仲裁若クハ萬國公法ノ改良ニ依リ之ヲ防止ス可シ。七ニ社會公衆ニ示スニ人民ノ繁榮ハ全ク文明諸國ト和平ナルト。野蠻諸國ト葛藤ナキニ依ルコトヲ以テス可シ。

而シテ此ノ如キハ獨リ英國ニ止ラス。歐洲諸國皆然リ。吾人ハ其實例ノ一斑トシテ一千八百八十四年(即チ明治十七年)萬國仲裁媾和協會第四會議ノ記事ヲ左ニ掲載ス可シ。

萬國仲裁媾和協會ハ瑞士國ベルン府ニ於テ該大學校五十年祭ノ當日即チ八月四日豫テ約定シタル如ク國會議場ニ於テ總會ヲ開キタリ。全會長瑞士聯邦參議院議員ルコンテツトハ開會ノ祝詞ヲ述ヘテ曰ク「戦争ハ人世中最モ畏懼ス可キ患害ニシテ其社會ヲ毒スルヲパフイロツキセラ(害虫ノ名)ノ葡萄樹ニ於ケル。若クハ虎列刺病ノ人生ニ於ケルヨリモ甚タシトス。戦争ハ必スシモ葛藤ヲ調治シ得ルノ手段ニ非ス。何トナレハ戦争止ムモ葛藤ハ依然相結テ解ケサルコトアレハナリ。故ニ列國ノ葛藤ヲ調和スルニハ仲裁ノ手段ヲ以テスルニ如クモノナカル可シ。斯ノ如クスレハ一國ノ兵

備ハ單ニ國內ノ平和ヲ維持シ。外ニ向ヒテ其國ノ獨立ヲ保守スルニ足ルノ度ニ止マルコトヲ得可シ」。トルーコンテツトハ又ク我等ノ茲ニ此ノ協會ヲ起スニ至リタルハ畢竟有名ナルブルンテユリーノ遺志ヲ襲キタルモノニシテ我等博士ノ功勞ヲ追謝セスンハアル可ラスト云ヘリ。英國委員長ホワドソンブラットハ益々本會ノ趣旨ヲ擴張シテ會員ヲ増加センコトヲ望メリ。佛國委員ハ當時佛國憲法改正案ノ討議アルカ爲ニ代議士トシテ自國ノ國會ニ臨席セルヲ以テ本會ニハ缺席セラレタリ。抑モ此協會ノ爲ニ計ルニ各國ノ都府ニ其支會ヲ設ケ百方心力ヲ盡クシテ益々輿論ヲ喚起シ。以テ各國ノ國會及政府ニ其影況ヲ與フルニ如クハナシ。然リ而シテ其事業タルヤ實ニ重大至難ノモノトス。何トナレハ其事業ハ數千百年ノ慣習ヲ破リ隨テ一國內軍務ニ從事スル人々ノ利益ヲ損スレハナリ。然リト雖之カ爲ニ毫モ志ヲ屈撓ス可ラス。唯勵精以テ之ヲ務ムルニ於テハ所謂正ハ邪ニ勝ツノ理ニ違フコトナク竟ニ其志望ヲ達スルノ期ニ至ル可シ。英國委員ハ千八百八十二年比律憲府ノ會議以來一回モ缺席スルコトナク列國ノ間將ニ葛藤ノ起ラントスルニ當リテ其機ヲ失ハズ。毎ニ書面ヲ以テ之ヲ調停セ

ソノ事務メタリ。現ニ蘇士運河并ニ埃及事件ニ就キテ該委員ハ佛國委員ニ照會シテ
 目下協議中ナリ。又タ英國委員ハ諸國ニ向ヒテ其主義ヲ宣布シ而シテ職工輩ノ内ヨリ
 殊ニ夥多ノ賛成者ヲ得タリ。此日瓦整堡樞密議官獨逸國會代議士フオンビユーレル
 ハ全獨逸國民ハ均シク是レ平和ヲ好ム者ナレモ今ニシテ其兵備ヲ緩ニスルコト能ハサル
 ハ。畢竟各國々民ノ往々獨逸國民ニ反スルノ舉動アルカ爲ナリ。予ハ獨逸國會ニ於テ
 兵備ヲ減セントノ建議ヲ提出セシニ初ハ二人ノ之ニ同意スルモノナカリシガ。其後
 同議員四十名ノ賛成者ヲ得ルニ至レリト。萬國平和ノ主義ヲ取テ此ノ仲裁媾和協會
 ナ賛成シ近時新ニ入會シタル人々左ノ如シ。

レウイスアツプルトン(英國委員ノ書記)

フヒフセル婦人(龍動府)

但シ此婦人ノ目的ハ今日ニ於テ各國相競ヒテ兵備ヲ盛ニスルハ抑モ婦女輩ノ罪ナ
 リ。何トナレハ万國ノ婦女輩同心協力シテ之ニ抗スルキハ必ス戰爭ノ源ヲ絶ツ可
 クシテ自カラ兵備ヲ要セサレハナリト云フニアリ。

ペーロー、エフローラ(巴勒府) 元老院議官アルフヒーリー、ドンステグノー(羅馬府)
 スタルン(フカレスト府) ル、モンニユー(巴勒府) カール、フオン、ベルゲン(ストッ
 シホルム府) バイエレン(コーペンハーゲン府) リュ、ウエンタール(ベルリン府) ミ、
 ーリス(フライブルグ府)

既ニ此ノ如シ。人若シ歐洲政治ノ前途ハ如何ト問ハ、吾人ハ直ニ其大西洋向岸ナル一
 大平民國ヲ指示シテ答ヘントス。唯此ノ如クナラン而已ト。實ニ彼ノ北米合衆國ハ平民
 主義運動ノ先登者ナリ。彼ノ人民ハ造物主ノ選民ナリ。今日世界ノ人民ニ向テ其將來ノ
 命運ヲ指定スルノ標的ナリ。ソレ臘梅ノ雪中ニ其蓓蕾ヲ破ルハ一陽來復ヲ報センカ爲
 メナリ。今日ノ世界ニ此ノ如キ社會ノ生スルハ是レ將來政治ノ變動ヲ豫知セシメテ之
 カ豫備ヲナサシメンカ爲ノナリ。意フニ其迅速コソアレ。彼ノ第十九世紀ノ大勢力ニ敵
 對シテ揚々自得スルハ日且曼。露西亞ト雖モ。一度ハ彼ノボンペーノ都府カウ井シユ井
 オス山ノ大噴火ノ爲ニ一夜ノ中ニ忽然トシテ地中ニ埋没シタルカ如ク。意外ニモ其ノ今日
 ハ現像カ地球上ノ表面ヨリ散去スルノ一大奇事ハ必ス將來ノ歴史ヲ裝フモノアラソ。

是レ吾人カ今日ヨリ斷言スル所ニシテ吾人ハ唯彼ノ二國ノ皇帝宰相等カ此ノ危險ニ遭逢スルノ準備ヲ今日ニ於テナサンコトヲ祈ルナリ。此ノ如ク平民主義ノ運動ハ政治ノ世界ヲ一變セントスルニ止ラス。宗教上ニモ。經濟上ニモ。文學上ニモ。學藝上ニモ。技術上ニモ。或ハ人類ノ社交上ニモ。其感情。思想。議論上ニモ其他ノ人事ノ現像ノアラン限リハ恰モ地球ノ表面ニ空氣ノ充滿セサル所ナキカ如ク到ル所。觸ル所。相化合シ相結晶セサルハナク。之ヲ縱截スルモ。之ヲ橫斷スルモ。其經線ト云ヒ。其緯線ト云ヒ。皆平民的ノ現象ナラサルハナシ。唯彼ノ政治上ノ如キハ殊ニ其著明ナル一斑ノミ。吾人ハ一々之ヲ解説セント欲ス。唯恨ムラクハ其紙幅ヲ有セサルコト。英國急進黨ノ名士モルレー氏ハ曰ク。

近世ノ社會ハ平民的ニセヨ。若クハ貴族的ニセヨ。社交。宗教。政治上ノ大變革ノ途ヲ踏マサル可ラス。此ノ事クルヤ實ニ困難ナリ。艱難ナリ。危險ナリ。而シテ是レ今日ノ大勢ナリ。汝ハ政府ヲ分離シ之ヲ特別一個ノ物トナシ。今日ノ雄大深遠ナル勢力ノ感化ヲ被ラサルモノトナシテ之ヲ論スル能ハス。西歐ノ文明ハ肅々トシテ其新舞臺ニ

出テ來レリ。政府ノ軀裁ノ如キハ其ノ一小部分ニ過マリルナリト。

吾人ハ實ニ此ノ人ノ活眼ナルニ敬服スルナリ。吾人ハ實ニ此ノ言ノ適切ナルニ感心スルナリ。歐洲ノ大勢ハ實ニ此ノ如キ而已。

之ヲ要スルニ人類カ記憶ニ存セサル千萬年ノ過去ハ吾人得テ之ヲ知ラス。人類ノ想像ノ未タ達セサル千萬年ノ未來ハ吾人得テ之ヲ知ラス。然レモ吾人カ理會ト想像トノ域内ニアル一幅人類旅行ノ畫圖ヲ諦視スレハ。正々堂々自ラ一定ノ目的ニ向テ。一定ノ順序ヲ蹈ミ。恰モ彼ノ精銳ナル佛國ノ常備兵カナポレオンノ號令ニ從ヒ行軍スルカ如ク。朝ニセエンノ河ヲ渡リ。夕ニアルプスノ雪嶺ヲ超ヘ。鐵馬風ニ嘶キ。雄劍氷ニ沒スルノ地ヲ蹈ミ。今ヤ既ニトスカンノ原野ニ達シ。青蒼ノ林。和鳴ノ禽。柳時花明ノ村落ニ達シタルカ如シ。彼ノ往キニアルプスノ雪嶺ヲ攀タルハ今トスカンノ沃野ニ達センカ爲ナリ。武備世界ノ境遇ニ入りタルハ生産世界ノ境遇ニ達センカ爲メナリ。貴族的ノ現象ノ社會ニ生シタルハ平民的ノ現象ノ社會ニ生センカ爲ナリ。人類ヲシテ不自由ノ世界ニ孤囚トナラシメタルハ人類ヲシテ自由ノ郷里ニ達セシメンカ爲ナリ。而シテ今ヤ人類ノ

旅行ハ既ニ此ノ郷里ニ達セント欲スルノ時節ナリ。所謂時節到來ノ日ナリ。其步趨ノ一層快活ニ赴キシハ固ヨリ論ヲ竣タサルナリ。若シ人カニシテ天賦ノ運動ヲ遮ル能ハサルヲ知ラハ又タ人類ノ運動ヲ遮ル能サルヲ知ラサル可ラス。四時ノ循環ヲ支配スルハ人爲ノ力ヲ得テ及フ所ニアラサルヲ知ラハ人類命運ノ循環ヲ支配スルモ亦タ人爲ノ力ヲ得テ及フ所ニアラサルヲ知ラサル可ラス。蓋シ人類ハ彼ノロビンソンクルソーガ如ク偶然トシテ絶海ノ孤島ニ漂泊シタルモノニアラス。必ス其ノ目的ヲ有シ。既ニ其ノ幾千年前タイギリス。イウフレチスノ河畔ニ其簡易ナル社會ヲ構造スルノ時ヨリシテ。既ニ今日ノ境遇ニ入り。今日ノ社會ニ出テサル可ラサル一ノ命運ヲ豫メ其造物主ヨリ指示セラレタルモノナリ。彼ノ造物主ハ既ニ人類ノ先祖カ征途ニ上リ一步ヲ轉セントシタル時ニ於テハ其子孫タル第十九世紀ノ人類ヲ必ス此ノ所此ノ時ニ達セシメサル可ラサルノ大經綸ヲ豫定セラレタルヲ吾人カ決シテ疑ハサル所ナリ。而シテ吾人々類ハ百川ノ海ニ朝宗スルカ如ク今ヤ既ニ此ノ命運ニ空湧シ來レリ。今ヤ平民主義ノ運動ハ火ノ如ク。電ノ如ク。地球ノ表面ヲ快奔雄走シ而シテ彼ノ生産的境遇ノ必要ハ人民ヲ

三冊目、一結有
千鈞力

驅リ。社會ヲ驅リ。如何ナル人類ヲモ如何ナル國體ヲモ悉ク之ヲ平民的ノ世界ニ擠トサントス。是レ即チ第十九世紀ノ大勢ナリ故ニ勢ニ從フモノハ榮ヘ勢ニ逆フモノハ亡矣。

第十一回 天然ノ商業國

(第三我邦特別ノ境遇ヨリ論ス)

全、球、ノ、境、遇、ハ、以、テ、一、部、ノ、境、遇、ヲ、支、配、セ、サ、ル、可、ラ、ス、。全、面、ノ、大、勢、ハ、以、テ、一、局、ノ、大、勢、ヲ、支、配、セ、サ、ル、可、ラ、ス、。然、ラ、ハ、即、チ、我、カ、日、本、特、別、ノ、境、遇、ト、大、勢、ト、ハ、亦、奚、ソ、世、界、一、般、ノ、境、遇、ト、大、勢、ト、ニ、ヨ、リ、テ、支、配、セ、ラ、ル、ハ、モ、ノ、ナ、ル、ヲ、疑、ハ、ン、ヤ、。

讀者ハ既ニ記憶セラル可シ。今日ノ世界ノ境遇ハ實ニ富ノ境遇ニシテ。今日ノ世界ノ大勢ハ實ニ平民主義ノ大勢ナルヲ。既ニ然ラハ吾人ハ唯此ノ事實ヨリシテ直ニ我カ日本ノ將來ハ商業國トナル可シ。又タ商業國トナラサル可ラスト斷言スルヲ得可キヤ

第十一回 天然ノ商業國

固ヨリ論ヲ俟タス。雖然彼ノ日耳曼ノ如キ。露國ノ如キハ其國ニ固有スルノ一種特別ノ事情アルカ爲ニ容易ニ全躰ノ大勢ニ從ヒ。全躰ノ境遇ニ入り。全躰ト共同一致ノ運動ヲナス可カラサルカ如キノ觀ナシトセス。意フニ我カ日本ニ於テハ果シ此等ノ事情アラサルヤ。否ヤ。是レ吾人カ我邦ノ境遇ヲ觀察スルニ先チ。思考ヲ勞セサル可ラサルノ點ナリトス。

凡ソ今日ノ大勢ニ抗シ武備ヲ以テ一國ノ生活ヲ維持スルモノハ必ス過去ノ止ム可ラサル事情アルカ故ナリ。而シテ其事情ニ於テ尤モ重ナルモノハ(第一)内部ノ結合薄弱ニシテ未ダ強迫ノ威力ヲ假ラサル可ラサルモノ存スレハナリ。

蓋シ内部ノ結合薄弱ニシテ動モスレハ分裂ノ傾向ヲ生スル所以ノモノ其原因一ニシテ足ラス。或ハ人種ヲ異ニシ其性情行徑ニ於テ自ラ氷炭相容レサルモノアリ。或ハ其腕力ヲ以テ征服セラレケルニモ係ラス。其嘗テ獨立國タリシ遺風ヲ存シ。其國躰ノ記憶ヲ有シ。耻ヲ包ミ愧ヲ忍フト雖其心中報復ノ念未タ一日モ去ル能ハス。爲メニ征服者ヲ一日モ鐵火ノ下ニ其國ヲ鎮壓スルニ非レハ高枕安臥スル能ハサルモノアリ。或ハ宗教。言

語。風俗ノ相撞着スルヨリ。或ハ商業上ノ利益相異ナルヨリ。或ハ其國家ノ面積餘リニ廣漠ニ過キ。政治家ノ手中ニ於テ隨意ノ結合ヲ頼ンテ之ヲ維持スル能ハス。動モスレハ分解セントスルノ勢アルカ爲ニ。又或ハ其政府ナルモノ人民ヲ。即チ人民ノ實情實利ヲ代表スル能ハス。之カ爲ニ風聲鶴唳其位置ノ危險ナルニ恐レ。爲ニ止ムヲ得ス武力ヲ假テ國ヲ維持セサル可ラサルノ苦策ヲ行フアリ。即チ埃太利ノ匈牙利ニ於ケルハ其人種。國躰ノ殊アルカ爲ナリ。土耳其セルウヰヤ。ロマニヤニ於ケル。英國ノ愛蘭土ニ於ケル。其人種。國躰。風俗。言語。宗教ノ相異ナルアルカ爲ナリ。魯國ノ如キハ一ハ其土地一個ノ政治ノ版圖トシテ。又殊ニ其人民ト政府ト相仇視スルカ爲ナリ。米國南北戰爭ノ如キハ其南北ノ利益相反シタルカ爲ナリ。日耳曼聯邦ノ今日ニ強迫ノ結合ヲ假ラサル可ラサル所以ノモノハ兵略上ノ結合ナルカ爲ナリ。(第二)外圍社會ノ刺撃アルカ故ナリ。若シ過去ニ於テ二國相仇トシ。所謂歴史的ノ記憶ナル者ヲ有スル場合ニ於テハ。我ヨリ彼ニ報ヒスンハ。彼レ必ス我ニ報フルヲアルヲ以テ。勢ヒ相互ニ龍驤虎視。武備機關ヲ發達セシメサル可ラス。或ハヨシ。然ルコトナキモ若

シ強大ニシテ且ツ武備的ノ國ト其境界犬牙相接スル場合ニ於テハ我レ恒ニ戒嚴スル所アラサル可ラス。然ラスンハ乍チ彼ノ封豕長蛇以テ我チソ城下ノ盟ヲナサシム可シ。又殊ニ其位置ニ於テ兵略上ノ所謂爭地タルノ國土ハ尤モ武備ニ注目セサル可ラス。何トナレハ萬邦。萬人。皆誕チ流シ。牙チ磨シ。皆其ノ呑噬ノ機會ヲ俟ツヲ以テ少ク我ニ乘ス可キ隙アラハ乍チ其國脉ヲ亡フニ到ラン。カ、ル場合ニ於テハ萬々止ムヲ得ス。泣ク
 〱モ假令一國チ身代限ノ悲堺ニ沈淪セシムルモ武備ノ用意ヲ做サ、ル可ラス。即チ日佛ノ關係ハ歴史的ノ記憶アルカ爲ナリ。露日ノ關係ハ犬牙相接スルカ爲ナリ。伊太利ノ如キハ羅馬帝國沒落以來群雄鹿ヲ逐ヒ。千兵萬馬ノ驟馳スル所萬目一手。皆以テ其大ニ欲スル所ヲ逞フセント欲スルモノアルカ爲ナリ。試ニ思ヘ。我邦ハ果ソ斯ル止ム可カサルノ事情アルカ。唯一ノ國脉ナリ。唯一ノ人種ナリ。唯一ノ風俗ナリ。唯一ノ言語ナリ。其結合ナルモノハ利益ノ結合ニ兵略上ノ結合ニ非サレハ固ヨリ利害ヲ殊ニスルカ如キモノアルコトナシ。宗教ノ如キハ今日ニ到ル迄殆ント政治家ノ注意ヲ惹ク程ノ現像ニスラ進歩スルコト能ハス。假令將來ニ於テ基督教ノ勢力ヲ進歩シタリトア之カ爲ニ一

三郎曰、俄草
 日本商業論九
 篇、我、國、勢、適
 實、今、讀、此、篇、
 覺、其、所、見、如、合
 符、契、

國ノ一致ヲ鞏固ナラシムルコトハアルモ以テ散漫ナラシムルコトハアル可ラス。而シテ其面積ハ二萬四千七百九十四方里ニ出テス。如何ナル凡庸政治家ト雖モ以テ之ヲ掌上ニ運轉スルコトヲ得可シ。然ラハ即チ其外部ノ事情ハ如何。四方八面唯々大海ノ茫々蒼々タルヲ見ル而已。三十年前迄ハ鎖國ノ政器ヲ探リタレハ歴史的ノ記憶トテ更ニ存スルモノハ非ス。邦土美ナリト雖モ伊太利ノ如キ單騎長驅直ニ其城下ヲ陷レラル、カ如キニアス。既ニ然ラハ我邦チ商業國トナスニ亦タ何ノ妨害的ノ事情アラシヤ。若シ外部ノ事情ハ恒ニ我ニ向テ反射ノ運動ヲ與フルモノトセハ我邦ハ寧ロ武備的ノ運動ヲハ障礙スルコトアルモ商業上ノ發達ヲ激成スルモノナリト云ハサル可ラス。之ヲ要スルニ我邦ハ自然ノ結合ニヨリテ自然ノ國脉ヲナシタルモノナリ。故ニ之ヲ治ムルノ方略トテ別ニ存セサルナリ。唯々自然ノ傾向ニヨリテ即チ水ノ下流ニ就クカ如ク之ヲ治ム可キナリ。

雖然我邦ハ特リ此ノ如ク自然ノ境遇ニ入り。自然ノ運動チナスニ於テ未ターノ妨害物ヲ發見セサル而已ニ止マラス。更ニ一步ヲ轉シテ考ル時ニハ非常ニ便益ナル事情アル

ヲ見ル可シ乞フ試ニ之ヲ説カソ。

(第一)氣候。彼ノ造物主ハ我カ日本人民ヲ配置スルニ尤モ便宜ナル中帶ノ地ヲ與ヘタリ。故ニ我日本人民ハ氷山雪屋ノ中ニ住スルエスキモノノ如ク鯨油ヲ飲ミ。海豹ノ肉ヲ食ヒ。寒氣ト戰ハンカ爲ニ此ノ世ニ生活スルモノニ非ス。又彼ノアラビヤ人ノ如ク熱天燦地。一木一草モ其自由豊美ナル生長ヲナス能ハス。駝鳥ノ伴侶トナリ。駝駝ノ主人トナリ。沙漠ヨリ出テ、沙漠ニ入ルニモアラス。又草木禽獸得意ノ世界トモ謂フ可キアマツン河流地方ノ如ク。如何ニ斧ヲ揮フモ森々タル高草大木ハ人ヲ壓シテ侵シ。猛獸毒蛇ハ人ニ迫リ來ルノ地ニ生活セサル可ラサルノ命運ヲ有スルモノニアラス。實ニ我邦ノ氣候ハ以テ寒温ノ適度ヲ得。其空氣ハ以テ乾濕ノ順序ヲ失セス。之カ爲ニ人間ノ生活ニ必要ニシテ有益ナル動植物ハ便宜ニ蕃殖スルヲ得ルノミナラス。人類サヘモ以テ遺憾ナク其天賦ノ能力ヲ開發スルノ便宜ヲ有スルモノナリ。

(第二)地味。彼ノ摩西ハ迦南ノ地ヲ指シテ蜂蜜及ヒ牛乳ノ流レ溢ル、邦ト云ヘリ。而我邦ノ如キハ實ニ生糸及ヒ茶ノ湧キ出ツル地ト云ハサル可ラス。實ニ我カ桑園並ニ

繅糸ノ產出高ハ左ノ如シトナス。

我カ外國輸出貿易品ノ首位ヲ占メタル生絲ノ根元トモ稱ス可キ桑園反別ハ。十一萬百七十四町三反三畝步(明治十四年ノ調査)ニシテ各種ノ採葉數ハ。二億四千五百八十一萬千六百六十九貫目ニテ。平均一反步ニ付二百二十三貫目ニ當レリ。而シテ凡ソ養蠶ハ原紙一枚ノ拂立ニ桑葉二百貫目ヲ要スル由サレハ。桑葉二億四千五百八十一萬千六百六十九貫目ヲ以テ百二十二萬九千五百八石ノ成繭ヲ收メ。九十八萬三千二百四十六貫六百八十日即チ六百十四萬五千二百九十二斤ノ生糸ヲ製造シ得ルコトナレハ。而ルニ又全國養蠶家ノ數ハ明治十五年ノ調査ニテ七十五萬二千五百三戸ナレハ之ニ桑葉及桑葉製系ヲ配當スレハ。一戸ニ付桑園ハ一反四畝十九步。桑葉ハ三百二十六貫八百目。製系ハ八斤強ノ平均ニ當レリト云フ。(十九年四月八日中外物價新報)而シテ其外國輸出ノ高ハ

量 數	元 價
十五年	十六年
十五年	十六年

生糸、二八八四、〇六八^斤、三、二二一、九七五^斤、一六、二三二、一五〇^圓、一六、一八二、五五〇^圓
 蠶及絹類總計 一九三七七、八〇〇^圓、一八、六七八六二五^圓

(第四統計年鑑)

之ニ續テ尤モ有益ナル產物ハ問ハスシテ茶ナルヲ知ルヘシ。試ニ其外國輸出ノ高ヲ舉ケン。

	十五年	十六年	十五年	十六年
茶	二、三五八九、〇九八 ^斤	二、四、一四一、七三七 ^斤	六、八五八、七六三 ^圓	五、九七六、五九五 ^圓
茶類及胡椒合計			七、〇三三、三八〇 ^圓	六、一、一一、九三九 ^圓

(第四統計年鑑)

而シテ茶島反別ハ

明治十四年各府縣ノ調査總計ニ據ルニ無慮四萬二千二十三町九反トス。

之ヲ要スルニ。明治十六年外國輸出ノ總計ハ二千八百九十八萬三千九百三十二圓ニシ

テ内二千四百七十九萬〇五百五十四圓ハ生糸。茶ノ諸類ナレハ取リモ直サス此ノ二品ハ我國輸出ノ殆ト六分ノ五ノ大數ヲ占ムルノ我カ特有產物ト云ハサル可ラス。蓋シ我邦ノ耕地ナルモノハ四百五十萬七千四百七十四町四反四畝十六步ニシテ。即チ全面積ニ對スル比例百ニ付十二ヲ占ムルノ割合ニシテ。彼ノ桑園茶園ナルモノハ之ヲ合算スルニ。十五萬二千九百九十八町二反三畝步ナレハ概スルニ則チ耕地ノ三十分ノ一ヨリ出テス。吾人ハ之ヲ希望ス若シ今日ヨリシテ彼ノ封建世界ノ訓言タル如何ナル場合ニテモ決シテ一國生活ノ必用ヲ他ニ仰ク可ラスト云フ固陋ナル惡習ヲ去リ。天地廣大。四海兄弟。天ノ時ニ從ヒ。地ノ利ニ隨ヒ。分業ノ便宜ヲハ世界ヲ通シテ適用スルノ自由貿易主義ニ則リ。此耕地ハ元ヨリ山腹水崖。悉ク桑園茶園ナラサルハナク。我邦ヲ舉ケテ養蠶ノ世界。生糸ノ故郷トナサハ我邦ノ繁榮モ亦期ス可キ也。

ウルシ一氏曰ク「土地ノ肥瘠ハ人民ノ職業ノ如何ヲ制ス可ク。人民職業ノ如何ハ亦タ以テ其政治ノ如何ヲ制ス可シ」ト實ニ然リ。我邦ノ地味ハ我人民ヲシテ生産者タラシメントス。意フニ我生産的ノ職業ハ亦タ平民國トナス可キ哉。

(第三)形勢。 賴襄曰「余嘗歷遊東西。考其山河所起伏。以爲我邦地脈自東北而來。漸西漸小。譬之人身。陸奧出羽其首也。甲斐信濃其脊也。關東八州及東海諸國其胸腹。而京畿其腰臂也。至山陽南海以西。則股耳。脛耳。ト吾人ハ此ノ比喩ノ果シ當テ得タルヤ否ヤチ知ラス。然其實ニ我邦ノ地形ハ尤モ不同ニシテ東北ヨリ西南ニ向テ延々トシテ一ノ蜿蜒形ヲナシ。山岳中ニ秀テ。河海外テ繞クルカ故ニ。其風土モ自ラ適度ノ不同ヲ得。之カ爲ニ社會生産ノ發達ヲ刺衝スルニシテ足ラス。ソレ形勢ノ不同ヨリシテ上古ノ希臘ハ文明ノ先鞭者トナレリ。然ラハ奚ソ今日ニ於テ我邦ノ前途ヲ疑フモノアラシヤ。而シテ且ツ我邦人民ハ更ニ一ノ記憶シ且ツ注意セサル可ラサルコトアリ。何ソヤ曰ク我邦ハ嶋國ナルコト是也。ギルベルト氏ハ其古代商業史ニ於テ論シテ曰ク。

嶋地ノ商業ニ便利ヲ呈スルハ大抵ノ場合ニ於テ大陸諸國ヨリ迥カニ大ナルモノトス。何トナレハ元來島嶼ナルモノハ其面積ニ比スレハ大陸諸國ヨリモ遙ニ長キ海岸ヲ存シ。其氣候ハ通例溫和ニシテ四時ノ變化遙カニ少キカ故ニ商業ノ動作。氣候ノ爲ニ阻礙セラル、ハ忠ナク。又海ハ天然ノ城砦ナルカ故ニ外寇ハ危難自ラ稀レニ。從テ

兵籍ニ編入スルヲ要スル人口ノ割合亦自ラ少ク。且ツ他國トノ通商ハ必スヤ海ニ由テ行ハサル可ラサルカ故ニ。人民ハ知ラス識ラス。海上ノ習慣ヲ得。其他造船航海ノ研究セラル、コト遙カニ大陸諸國ヨリ一般ニシテ。且ツ人民ハ海上ノ戰爭ニ於テ更ニ多クノ熟練ト勇氣トヲ有スルカ故ナリ。是故ニ古代ノ歴史ニ於テクレテ。ロイドス及ヒサイプラスノ諸嶋ハ各其商業ヲ以テ世ニ其名ヲ著シタリキ。且ツ嶋嶼ニハ海ニ由テ諸州ノ間ニ貿易ヲ營ムヲ得ルハ便利アリ。是故ニ他國ニ於テハ内國貿易ニシテ道路ト運河ノ手段ヲ以テ行ハル、處ノ者モ嶋地ニ於テハ一ノ沿海貿易タルナリ。然リ而シテ一國各地ノ間ニ於テ貨物ノ交易ハ之ヲ行フニ船舶ヲ以テセハ時ト金ヲ費スコト遙カニ減少ス。

此ノ言實ニ至レリ。豈又ク吾人カ喋々ヲ要センヤ

(第四)位置。 試ニ輿地ノ圖ヲ開キ見ヨ。我邦ハ果シテ如何ナル位置ヲ有スル乎。實ニ東洋ノ極東ニ位スルモノナリ。版圖固ヨリ偏少ニシテ之ヲ以テ各國ニ雄視スルニ足ラサルハ勿論ナリト雖モ其位置ノ便宜ヲ得。將來東洋貿易ノ中心タルハ好機會ヲ有スルノ

三郎曰、短少才人、能應魁偉男子、比喩絶妙、頗足顯我國人意、

一點ヨリシテ考フレハ邦土偏小ナリト雖モ決シテ遺憾トスルニ足ラス。ソレ軀幹短小ナリト雖モ才智拔群ノ人ハ以テ魁然タル偉男子ヲ制スルヲ得可シ。古ヨリ商業國ナルモノ必スシモ大國ニ限ラス。希臘ノ亞典ノ如キ。タイルノ如キ。和蘭ノ如キ。白耳義ノ如キ。或ハ英國ノ如キ。其面積ヲ學クレハ或ハ我ト相均シク。若クハ我レノ二分。三分ノ一ニ出テス。而シテ其百貨ノ走集スル所トナル所以ノモノハ其位置ヲ得タルヲ以テナリ。ソレ長袖能ク舞ヒ。多錢善ク買フ。山野ニアルモノ必ス獵ヒンコテ欲シ。河海ニ濱スルモノ必ス漁センコテ欲シ。市町ニアルモノハ必ス賣ランコテ欲ス。ソレ天然ノ位置ハ我ヲシテ東洋貿易ノ中心市場トシメント欲ス。我邦人民タルモノハ唯々此ノ好機會ニ躊躇スルコトナク。遲疑スルコトナク。攫取スルニアル而已。而シテ首ヲ轉シテ四圍ノ光景ヲ着目。其東方ニハ一衣帶水ヲ隔テ、世界ニ無類ナル大帝國ノ支那ト相對シ。南方ニ於テハ南洋群島ヲ控ヘテ濠洲ト相連リ。其北方ノ國境ナル千島ハシベリヤノ岬ナルカムサツカト相望ミ。呼ヘハ嚮ヘント欲スルカ如ク相迫レリ。ソレ支那ハ其本部ノミニ於テステ百五十餘萬方英里ノ面積ヲ有シ。其人口四億ニ垂ントス。其殷富繁盛ナルハ泰西人

ノ恒ニ之ヲ恐レ。之ヲ羨ミ。之ヲ取扱セントシテ止マサル所ノモノナリ。
濠洲ノ如キハ固ヨリ新國ナリト雖モ。ソレ唯新國ナルヲ以テ將來我邦トノ貿易ニ於テ大ニ希望ヲ有スルモノナリ。其金礦ニ富ミ。石炭ニ富ミ。牛羊ハ澤々トシ烟村ニ散シ。眼界一望砂糖ノ天地。小麥ノ乾坤。今日ニ於テ既ニ嶄然其頭角ヲ顯ハセリ。彼ノシベリヤ地方ノ如キ固ヨリ濠洲ニ比ス可キ者ニアラサレハ。其我カ一ノ得意客タルコトハ決シテ爭フ可ラサル事實ナリ。而シテ其ノ我ニ向ツテ最大一ノ得意者ナル者ハ其太平洋向岸ナル我カ東隣ノ北米合衆國是ナリ。今日ニ於テ我輸出品ノ重ナル者ハ乃チ生糸ニシテ生糸ノ重ナル輸地ハ即チ北米合衆國ナリ。實ニ米國ト日本トハ商業上ノ關係ニ於テハ唇齒相扶ケ。輔車相倚ル好兄弟ト云ハサル可ラス。雖然獨リ之ニ止ラス。若シ彼ノレツセツプ氏カ大經畫ナルバナマ地嶽開鑿ノ業果ヲ氏カ豫期スル所ノモノ、如ク一千八百八十九年ニ成就シ。ニ大洋ノ聯絡ヲ得ハ。彼ノ四百餘年前コロンブスノ腦中ニ浮ミ出タル大西洋ヲ直航シテシハングリ(日本)ニ達セントノ夢モ果シ之ヲ實行スルヲ得ルノ運ヒト成ラハ。是ヨリシテ太平洋ハ勿論大西洋ノ兩岸ニ對立スル各都府ノ港灣ヨリ

或ハ地中海沿岸ノ市邑、ヨリシアラタルノ海峡ヲ以テ、西太平洋ノ二大洋ヲ通シテ、天水一髮雲霧渺茫ノ大道ヲハ、千百ノ蒸氣船相來リ相去リ、乍チシアラタルノ海峡ヨリ我港灣ニ到ル迄、一線ノ船橋ヲ架スルニ到ラン。若シ此時節ニ際セハ、我邦ハ縱令自ラ好マサルモ、我天然ノ好位置ハ、我邦ヲ驅テ勢ヒ商業國タラシム可シ。况ンヤ舊來ノ陋習ヲ破リ。天地ノ公道ニ基キ上下心ヲ一ニシ盛ニ經綸ヲ行ヒ。斷然トシテ武備擴張ノ主義ヲ廢棄シ。吾人カ嘗テ「自由道德及儒教主義」ノ小冊子（明治十七年十二月）ニ於テ論シタル如ク。若シ我制度ヲシテ自由ノ制度トナシ。財政ヲ整理シテ。信用ヲ厚フシ。人民所有ノ權ヲ安全ニシ。百般ノ職業ヲ解放シテ人民ノ自由ニ任セ。干涉保護ノ跡ヲ削リ。大ニ我カ港灣ヲ浚ヘ。大ニ我カ關稅ヲ減シ。全國ヲ開テ内地雜居ヲ公許シ。來ルモノハ拒マズ。往クモノハ追ハス。外國ノ人民モ。外國ノ資本モ。外國ノ貨物ヲモ。自由ニ注入スルヲ得ヒシメハ。我國百工ノ興隆スル恰モ霜雪ニ壓セラレタル草芥カ春風ニ逢フテ俄然トシテ其芽ヲ發スルカ如ク。乍チニシテ池塘芳草ノ好時節トナルハ決シテ疑フ可ラス。果シ此ノ如クンハ耕者皆欲耕於王之野。商賈皆欲藏於王之市。行旅皆欲

出於王之塗。乍チニシテ太平洋中ノ一埠頭トナリ。東洋ノ大都トナリ。萬國商業ノ問屋トナリ。數萬ノ烟筒ハ煙ヲ吐テ爲メニ天日ヲ暗カラシメ。如レ雲高樓。如レ林檎竿。錐盤。檳榔。柚鍛ノ音ハ蒸氣筒ノ響。車馬塵囂ノ聲ト。共ニ相和シテ晴天白日雷鳴ヲ聞クカ如クナラン。豈ニ又タ愉快ナラスヤ。

彼ノシヨセフ、クツク氏ハ云ハスヤ。日本ハ小ナレモ楫ノ如シ。東洋ノ大船ヲ搖スハ即チ此ノ楫ナラサル可ラスト。實ニ尤モ道理アル言ト云フ可シ。以上ノ理由果シ相違ナクンハ我邦ハ實ニ天然ノ商業國クルノ境遇ヲ有スルモノト云ハサル可ラス。然レモ玆ニ一ノ疑フ可キコトアリ。我人民ノ資格ハ果シテ商業家タルノ資格ヲ有スルヤ否ヤハ問題是ナリ。

吾人ハ之ヲ知ル。我カ今日ノ人民ハ軍隊世界ノ中ニ生長シタルノ人民ニシテ未ダ全ク商業家タルノ資格ヲ有セサルモノナリト。然レモ此ノ一障礙アルカ爲ニ決シテ吾人カ斷言シタル所ノモノヲ代フルコト能ハサルナリ。ソレ我カ邦人ナルモノハ始メヨリ商業家。生産家タル能ハサルノ命運ヲ有スルモノナルカ。吾人ハ決シテ然リト明言スル能ハ

サルナリ。何トナレハ彼ノ封建ノ習慣ハ實ニ我カ人民ヲシテ尤モ無益ニシテ活用ナ
 キ人物トナラシメタレハナリ。蓋シ習慣ニヨリテ養成セラレタル性質ハ又ク習慣ニヨ
 リテ之ヲ變更スルヲ得可シ。一ハ境遇ニヨリテ制セラレタル性格ハ亦タ他ノ境遇ニヨ
 リテ之ヲ制スルヲ得可シ。試ニ看ヨ。我カ封建ノ士族ハ維新ノ大變動ノ爲メニ其永世
 ノ家祿ヲ失ヒ。自力ニ食マサル可クナルニ到レリ。而シテ今日ニ於テ此士族ノ餓死シタル
 モノ殆ト稀レナリ。何トナレハ其境遇ノ變更ト其必要ノ刺撃トハ相伴ヒ。相携ヘ。我カ
 士族ヲ強迫シテ悉ク之ヲ生産者トナラシメタレハナリ。我カ武士ニシテ生産者トナル
 ヲ得ハ我カ武士國ヲシテ商業國トナスモ何ノ難キコカ之レアランヤ。

ソレ前ニ陳シタル如ク。我國ハ世界ノ境遇ノ爲ニ支配セラレ。世界ノ大勢ノ爲ニ支配セ
 ラレ。而シテ其支配ヲ妨害スルノ事情ハ一モ存スルコトナク。却テ之ヲ激成媒介スル所ノ我
 特別天然ノ境遇ノ爲ニ支配セラレ。而シテ是非共世界萬國ト對立シテ一國ノ生活ヲ維
 持セサル可クサルノ必要ノ爲ニ支配セラレ。サレハ此等ノ必要ハ乍チ我カ邦人ノ資格
 ヲ一變シテ純然タル商人。貿易者。職工。資本家。事業者トナス可シ。如何ニ當然タル春

風ノ爲メニ化セラル、能ハサル頑石ト雖也。此ノ切迫ナル勢ノ爲ニ化セラル、可シ。况
 ハヤ我邦人ノ如キ敏捷圓活其尤モ融通變化境遇ニ從ヒ。事情ニ從ヒ。適用ノ資格ニ當ム
 ナ以テ世界ニ評判高キモノニ於テオヤ。

ソレ吾人カ先祖ハ決シテ徳川氏封建末路ノ人民ノ如ク遲鈍。迂闊ニシテ然カモ怯懦軟
 腸。深窓ノ婦女子然タル人ニ非ス。其活潑有爲ニシテ然カモ其大膽行險ノ氣象ニ當ムカ
 如キハ吾人カ且ツ誇リ且ツ羨ム所ノモノナリ。

試ニ看ヨ。彼ノ大友宗麟ノ如キ。浦生氏郷ノ如キ。或ハ伊達政治ノ如キ。其使節ヲ羅馬府
 ニ遣シ。我カ綠髮黑眸ノ人士ハ。既ニ第十六世紀ノ終リニ於テ。彼ノ羅馬大帝國ノ結構
 壯麗ナル舊都ニ於テ。各國ノ貴紳ト法王ノ膝下ニ近接シ。其ノ壯嚴神聖ナル儀式ニ與
 リ。セントピートルノ寺院ニ於テ其祭壇ノ傍チハ翱翔スルヲ得タリシニ非スヤ。殊ニ
 伊達政宗カ邪法迷レ國唱不レ終。欲レ征蠻國ニ未レ成功。圖南鵬翼何時奮。久待扶搖萬里
 風。ノ詩ヲ賦シ其行ヲ送リタル支倉常長ノ一行ノ如キハ一千六百十四年(慶長十九年)ニ
 太平洋ヲ一直線ニ航海シ。墨西哥ニ到リ。西班牙ニ着シ。終ニ羅馬ニ達シタリ。若シ太平

洋航海ノ第一先登者ヲ以テマセラン(千五百二十年)トナサハ其第二ノ先登者ハ乃チ我
 カ支倉常長トセリル可ラス。嗟呼我カ邦人ハ千古ノ豪傑マセラン以後ノ一人ト云ハサル
 可ラサルノ豪勇無双ナル航海チナセリ。獨リ此ニ止マラス。支那海。印度洋ノ沿岸。西海
 ノ群島諸方ニ於テハ我カ買船ノ時々往來スル而已ナラス。我カ行險者流ハ或ハ殖民チ
 ナシ。或ハ其地方ノ重ナル權者トナリタルコトハ吾人カ喋々チ俟タスシテ識者ノ知ル
 所ナラン。而シテ如此我邦ニ於テ航海通商ノ道進歩シタルノ時ニ於テ既ニ貿易ノ眞理。
 眞主義ナルモノハ其微光チ放チタルカ如キチ見ルナリ。慶長年間我カ買船ノ安南ニ赴
 クヤ。當時ノ碩儒即チ徳川時代文學ノ開山タル藤原肅ハ其舟中ノ規約チ作り與ヘテ
 曰ク

凡回易之事者。通有無而以利己也。非損人益己已矣。其利者雖小。還大也。
 不其利者雖大。還小也。所謂利者。義之嘉會也。故曰貪賈五之。廉賈三之思焉。

(外交志稿)

若シ此ノ勢ニシテ中途ニ遮斷スルコトナクンハ。豈ニ今日ニ於テ吾人カ以テ我邦人カ商

業者タル資格チ有スルヤ否ヤノ議論チ喋々シ。亦シ我邦ハ天然ノ商業國ナリト云フカ
 如キノ問題チ喃々スルカ如キ迂遠ノ勞チ探ルチ要ヒン乎。論ヨリ證據。今日ニ於テハ我
 邦ノ人民ハ皆チ生レナカラ爛眼活潑ナル貿易者トナリ。生レナガラニシテ波濤ノ健兒
 トナラン者チ。之チ思ヒ之チ想ヘハ。吾人ハ實ニ近時封建ノ創業者ナル徳川家康ニ向
 ヒ。遺憾チキ能ハサルナリ。然レトモ是レ唯タ一時ノ妄想而已。既往各々可ラス。然レト
 モ特リ此ノ事實ハ以テ我邦人ハ決シテ貿易者。航海者タルノ資格チ古ヨリ有セサルモ
 ノニアラス。今日ニ於テ其之チ有スルヤ否ヤチ疑フカ如キニ到リシハ畢竟人爲ノ抑制
 ハ然ラシムル所ニシテ。若シ之チ遮斷シ。除却シ。自由ニ其ノ運動チ放任スルトキハ。我
 邦人民ハ他人ノ鼓舞作興チ待タス。彼ノ先祖ノ如ク。否チ彼ノ先祖ヨリモ更ニ一層ノ
 進歩シタル生産者。商業家トナルハ決シテ疑フ可ラリルノ道理チ説明スルノ證據ト云
 ハサル可ラス。

第十二回 過去ノ日本一

(第四我邦現今ノ形勢ヨリ論ス)

我邦ノ少年學生ハ其講堂ニ於テ教師ヨリスバルタノ話ヲ聞キ。其一種。奇妙奇怪ナル國風ナルヲ見テ相共ニ驚嘆。舌ヲ捲ケル。知ラスヤ吾人カ父祖ノ日本ハスバルタノ如ク。又タスバルタヨリモ一層緻密周到ニ軍隊組織ノ行届キクル一ノ武備社會ナリシヲ。今ヤ吾人ハ現今我邦ノ形勢ヲ論セントスルニ際シ。吾人ハ先ツ此ノ父祖ノ社會ニ關シ一瞥ノ勞ヲ取ラサル可ラス。

我カ封建社會ノ前ニ斯ル封建社會ナシ。我カ封建社會ノ後ニ斯ル封建社會アル可ラス。實ニ吾人カ父祖ノ社會ハ宇宙ノ年代ニ於テ空前絶後ノ現象ト云ハサル可ラス。何トナレハ徹頭徹尾。社會ノ生命元氣ナルモノハ唯一ノ武力ニシテ普天ノ下。率土ノ濱。凡ソ我カ社會ノ空氣ノ觸ル。所。勢力ノ感スル所。此精神充滿シ。恰モ今日ノ常備軍制ヲハ全國人民ニ推シ及シ。今日ノ常備兵營ヲハ全國ニ擴充シテハナリ。實ニ當時ノ有様ハ唯此ノ如シ。曰ク全國皆兵營ナリ。全國人民皆兵士ナリ。兵士ノ使役ニ俱スル夫率ナリ。吾

三郎曰、比較新舊兩社會光景、昔々有様哉、

人ハ少シク事實ニ關シテ觀察スル所アラソ。蓋シ當時ノ武士ナルモノハ即チ今日ノ所謂常備兵ニシテ其相殊ナル點ハ此ハ或ル期限中只自ラ兵士ノ義務ヲ負擔スルモノナレトモ。彼ハ其ノ生レテヨリ死スル迄。其一家主人ヨリ家族ニ及フ迄。其先祖ヨリ子孫ニ及フ迄。兵士ノ義務ヲ負擔スルモノナリ。然ラハ則チ怪ム勿レ。當時ノ武士カ坐作進退ニ双刀ヲ横ヘタルハ是レ今日ノ常備兵カ銃ヲ肩ニシ。劍ヲ腰ニスルモノナリ。其幼少ヨリ老大ニ到ル迄。武藝ニ從事シタルハ是レ今日ノ常備兵カ操練演習ニ從事スルモノ也。其旅行ノ自由ヲ有セス。只或ル免許ヲ得テ或ル期限ニ近國ヲ往來スルハ。尙ホ今日ノ常備兵カ水曜日曜ノ休暇ニ其門限中兵營ノ外ニ行歩スルヲ得ルカ如シ。其家ニアリテ行儀正シシ武器ヲ裝フタルハ。尙ホ今日ノ常備兵カ營中ニアルカ如シ。其城樓ノ大鼓ヲ聽キ。起臥進退シタルハ。尙ホ今日ノ常備兵カ喇叭ノ相圖ニヨリテ起臥進退スルカ如シ。彼等カ武藝ノ目錄ヲ得ル能ハス。家名斷絶スルハ尙ホ今日徵兵ノ募集ニ其体格不完全ニシテ其選ニ與カルヲ得サルカ如シ。足輕ヨリ家老ニ及ヒ。家老ヨリ城主ニ及ヒ。城主ヨリ征夷大將軍ニ上リタルハ尙ホ今日ニ於テ兵卒ヨリ下士。上士。佐官將官ニ上ル

ナリ。然リ而シテ此ノ全國ニ充滿シタルノ武士。及ヒ武士ヲ統制スル高等ナル武士(封建諸侯ノ如キ)ハ如何ニシテ生活シタル乎。彼等ハ一日ト雖トモ鋤ヲ手ニシタルコトアラサルナリ。一日ト雖モ算盤ヲ握リシコアラサルナリ。而シテ彼等ハ如何ニシテ其愉快ナル生活ヲナスヲ得タル乎。必ス他ニ輜重部ノ存スルモノアルヲ見ン。實ニ當時ノ農工商ハ皆是レ此ノ武士ト高等ナル武士ニ供給奉仕センカ爲ニ生存スル所ノ輜重部ニテアリシナリ。ソレ今日ニ於テモ常備兵ナルモノハ白ラ勞作スルモノニアラス。總テ皆全國人民ヨリ養ハル、モノナリ。而シテ其今日ト封建時代ト其趣ヲ殊ニスル所以ノモノハ他ナシ。今日ノ常備軍ハ人民ヲ保護シ。人民ノ生産ヲ保護センカ爲ニ存在スレトモ。昔時ハ人民ハ此ノ武士。及ヒ高等ナル武士ヲ奉養センカ爲ニ存在シタリシナリ。此ノ如ク彼等ハ唯一ノ輜重部ナリ。故ニ其目的ヲ達センニハ彼等ノ勞力モ、若クハ勞力ノ結果タル財産テモ。或ハ其二十キ生命ヲモ。之ヲ抛テ。之ヲ棄ルコトニ毫モ猶豫セサルナリ。否猶豫スルコト決メ能ハサルナリ。而シテ當時此ノ武士ノ分配ハ尙オ今日ニ於テ全國ニ十二旅團アリ。六師團アリ。之ヲ統制スルニ一ノ陸軍本部アルカ如ク。之ヲ三百ノ城下ニ於テシ。

而シテ江戶ニ統制シタリシナリ。故ニ三百ノ城下ハ是レ武士ノ小團結ノ地ニシテ。江戶ハ實ニ其大團結ノ地ト云ハサル可ラス。此ハ如ク武士ハ高等武士ヲ趁フテ集リ。輜重部ハ武士ヲ趁フテ集リ。諸ノ貨物ハ輜重部ヲ趁フテ集リ。是ニ於テカ一城下ニハ必ス一ノ市邑ヲ生シ。而シテ彼ノ全國ノ大城下ナル江戶ノ如キニ到リテハ今日ノ東京ニ比シテ殆ント蓊蓊スル繁榮ヲ現シタルモ亦故ナキニアラス。吾人嘗テ各地ニ遊ヒ其封建城下ナルモノヲ見ルニ。寂寥タル空壕。破屋。秋草茫茫ノ裡ニ自カラ過去社會ノ遺形ヲ殘セリ。吾人ハ其士族カ城門ヲ圍ンテ家シ。其商工カ士族屋敷ヲ繞リテ住スルモノ多キヲ見テ。愈々當時富ノ求心力ナルモノハ唯此ノ士族ニ存シタルモノナルヲ知ルナリ。彼ノ武士ナルモノハ如何ニシテ富ノ求心力ヲ有シタル乎。曰ク富ノ消費者クレハナリ。如何ニシテ其消費者タルヲ得タル乎。曰ク渠等ハ人ヲ所有シ。併セテ人ノ所有ヲモ所有スルノ主人ナレハナリ。故ニ渠輩ハ決シテ市民ト交易ヲナスモノニ非ス。唯一方ニ於テ横領シタル富ヲ以テ一方ノ貨物ト交換スル而已。實ニ武備ノ世界ニ於テハ唯此種ノ交換ノミ僅ニ行ハルヘキモ。真正ノ交易ナルモノハ決シテ行ハル、能ハサルナリ。何トナ

○レハ其世界ニハ二種ノ階級アリテ一ハ唯タ消費者ニシテ一ハ唯タ生産者ナレハナリ。
 消費者ハ徹頭徹尾唯愉快ニ安樂ニ貨物ヲ再生ノ見込ナキ地ニ向テ消費スルノミニ。
 生産者ハ徹頭徹尾唯終生骨ヲ折リ汗ヲ流シテ生産ノ業ニ従事スルノミニ。故ニ封建時
 代ノ農工商ハ自家ノ生活ヲ保ツンカ爲ニ勞役スルニ非ズ。他人ノ驕奢ニ資センカ爲メ
 ニ勞役スルナリ。即チ彼等ハ生活センカ爲メニ勞役スルニ非ズ。勞役センカ爲メニ生活ス
 ルナリ。是ヲ以テ一地方ノ富ハ城下ニ集リ。全地方ノ富ハ江戸ニ集リ。社會ノ富ハ武士
 ト高等ノ武士ニ集レリ。故ニ此等ノ主人ノ豪華ナルハ以テ其奴隸ノ貧乏ナルヲトス可
 ク。城下ノ繁榮ハ以テ田舎ノ衰弊ヲトス可ク。首府ノ富榮ハ以テ地方ノ困窮ヲトス可
 シ。此ノ如ク軍隊組織ノ社會ニ於テハ經濟上ニ於テ必ス自然分配ノ法出テ禁遏シテ人
 爲分配法ヲ施用セサル可ラサルモノナリ。人爲分配法ハ不平等主義ノ依テ行ハルヘキ
 境遇ナリ。不平等主義一クヒ横行スル時ニ於テハ忽然トシテ貴族的ノ社會ヲ幻出シ。暗
 々怪々可キ貴族的ノ現象ヲ生シ來ルヤ固ヨリ論ヲ談タス。
 凡ソ經濟世界自然分配ノ法則ニ從ヘハ全國全社會全人民ヲ舉テ皆一ノ生産者トナシ。

消費者トナシ。何人ニテモ生産者タルモノハ必ス亦タ消費者タル可シ。消費者タル者ハ
 必ス亦タ生産者タル可ラス。而シテ其ノ消費スル額ノ多少ハ必ス其生産ノ多少ニ
 平均シ。即チ消費スルコト多キモノハ亦タ生産スルコト多ク。生産スルコト少ナキ者ハ亦消費
 スルコト少ク。源因結果ノ關係ハ至密ニ行ハレ。其ノ勤勉シテ富チ生スルモノハ葡萄
 美酒。夜光ノ杯。花下ノ銀鞍。月前ノ船。以テ其自然ノ結果タル快樂ヲ買フヲ得可ク。其
 怠惰ニシテ放逸ナルモノハ惡衣惡食。他人ヨリハ辱メラレ。自家ニハ不愉快ヲ感シ。唯
 正ニ終生累々トシテ喪家ノ狗ヲ學ハサル可ラス。而シテ縱令此ノ如ク其懸隔アルモ以
 テ天ヲ尤ム可ラス。以テ人ヲ恨ム可ラス。何トナレハ自業自得自ラ種ヲ下シテ自ラ其實
 ヲ收穫スルハ是レ自然ノ約束ナレハナリ。彼ノ人爲分配ノ法ナルモノハ全ク之ニ反對
 シ。甲ノ原因ハ却テ乙ノ結果ト相聯帶シ。乙ノ原因ハ却テ甲ノ結果ト相附着シ。

自然
ノ分

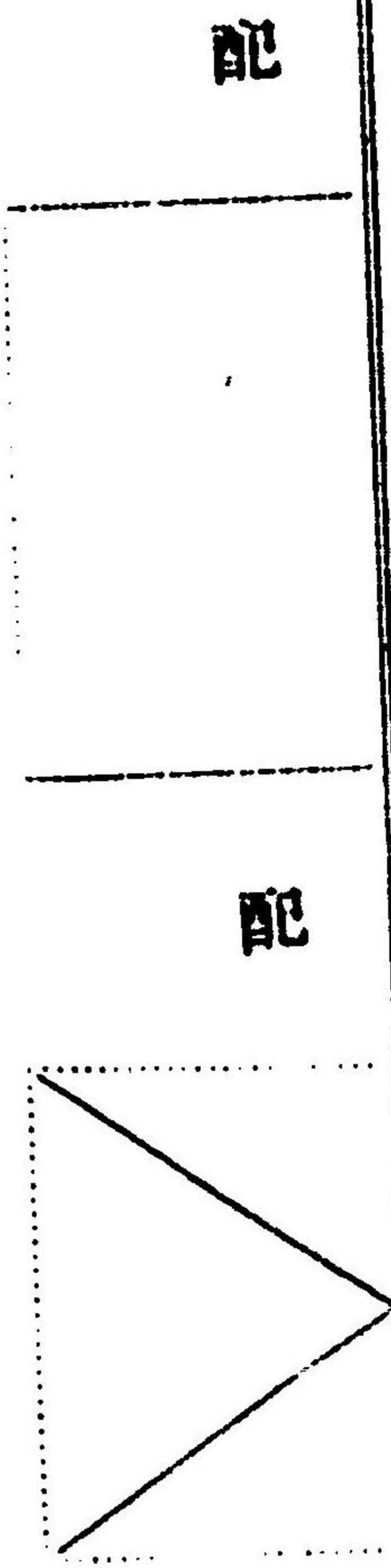
人爲
ノ分

果

果

果

果



勞者ハ恒ニ勞シテ却テ逸者ノ苦痛ヲ收メ。逸者ハ恒ニ逸シテ却テ勞者ノ快樂ヲ獲ルニ到ル。是レ豈ニ不平等主義ノ尤モ甚シキモノニアラスヤ。是豈ニ不正義ノ尤モ甚シキモノニ非スヤ。是ヲシテ忍フ可クンハ何事ヲカ忍フ可ラサルモノアラソヤ。而シテ徳川氏ノ天下二百六十餘年ノ長久ナル歲月ニ於テ。彼ノ武士ハ勿論其被害者タル農工商ノ人民スラ。未タ一人ノ正義ノ恢復ニ向ツテ天理人道ノ保護ヲ叫破シタルモノナキハ何ソヤ。吾人ハ實ニ之ヲ怪マサルヲ得ス。

既ニ此ノ如シ。此ノ境遇ニ生出シタルノ現象豈ニ尋常普通ノモノナランヤ。蓋シ社會ノ表面ニ發表スルノ現象ハ其裏面ノ精神ヲ反映シタルモノニシテ即チ其鏡ナリ。サレハ彼ノ埃及ノ巨大ナル角石塔。彼ノ支那ノ萬里長城ノ如キ。大工事ノ今日ニ存在スルハ是レ

上古ノ二國ニ於テ貴族社會ノ尤モ發達シタルノ證據ニ非スヤ。何トナレハ此ノ如キ時代ニ於テ。此ノ如キノ國ニ於テ。此ノ如キノ大仕懸ノ工業行ハル、所以ノモノハ決シテ偶然ニ非ス。唯百姓ノ力ヲ罷シ。百姓ノ財ヲ竭シ。全國人民ノ肝腦ヲ搾リテ以テ成就シタルモノナルヲ知ル可シ。實ニ此二大工業ノ大ハ即チ大ナリト雖トモ是レ唯タ万古ノ年代ニ於テ上古ノ壓制ノ流行シタルヲ示スノ紀念碑タルニ過キサルナリ。凡ソ一邦ノ貧富ハ全國人民ヲ平均シタル總稱ナルモノナリ。而シテ彼ノ貴族社會ハ全休ヨリスレハ非常ノ貧國タルニモ係ラス。其社會ノ現狀ハ却テ平民的ノ富國ヨリモ壯麗雄大。光彩燦爛タルモノアル所以ハ何ソヤ。唯全國ノ富チ人爲ノ手段ヲ以テ一部ニ蒐集シタルカ故也。即チ彼ノ貴族カ美麗ナル衣服ヲ穿ツハ全國人民ヲハ裸躰トナシタレハナリ。其醇酒ヲ飲ミ。梁肉ニ飽クハ全國人民ヲハ土ヲ食ヒ。水ヲ飲マシメタレハナリ。其居レハ妍媚タル美姬ヲ擁シテ巍々タル樓閣ニ住シ。出レハ肥馬ニ跨リ。輕車ニ駕シ。隸從雲ノ如キハ全國人民ヲシテ風ニ櫛リ。雨ニ浴シ。父子兄弟妻子ヲシテ相共ニ離散シ。相共ニ溝壑ニ轉ヒシメタレハナリ。故ニ貴族世界ノ第一弊ハ他ヲ損シテ己ヲ利スルノ一點ニシ。

他ナ泣カシムルハ己レ笑ハンカ爲ナリ。他ヲ顛セシムルハ己レ舞ハンカ爲ナリ。他ヲ哭セシムルハ己レ歌ハンカ爲メナリ。己レ飽カンカ爲ニハ他ノ股ヲ割テ食ハサル可ラス。己レ淫慾ヲ逞フモンカ爲ニハ他ノ子女若クハ妻ヲモ豪奪セサル可ラス。己レカ奇怒ニ觸レハ他ヲ斬殺セサル可ラス。况ンヤ己レカ生命ヲ維持センカ爲ニ。固ヨリ他ノ一命ヲ要求スルヲ是レ遲疑センヤ。其ノ生命スラ之ヲ屠リ。之ヲ斷ツ。所謂ル斬レ人若レ草不レ聽聲ノ時ニ於テハ正義焉クニアル。公道焉クニアル。平和焉クニアル。權理焉クニアル。法律焉クニアル。只暴逆是レ正義ナリ。偏頗是レ公道ナリ。爭鬪是レ平和ナリ。威力是レ權理ナリ。滅法是レ法律ナリ。斯カル社會ヲ稱シテ吾人ハ大野蠻大壓制ノ社會トハ曰フナリ。而シテ此ノ如キハ所謂武備機關ノ澎漲シタル自然ノ結果ナリ。故ニ此ノ惡因果ヲ憎ンテ尙ホ全國ヲハ軍隊組織ノ社會トナサントスルハ。是レ實ニ醉ヘルヲ惡ンテ酒ヲ強フルノ類ナリ。豈ニ認ラヌヤ。世人或ハ美術ノ我邦ニ進歩シタルヲ見テ我邦ノ光榮トナスモノアリ。然レトモ是レ豈ニ誇稱スヘキモノナランヤ。試ニ思ヘ我邦ノ如キ貧國ニシテ何故ニ斯カル一國ノ身代ニ不釣合ナル高尚ノ美術ハ生シタル乎。唯貴族的ノ需

用アルカ故ナリ。而シテ此ハ需用ナルモノハ何故ニ生シタルヲ得タル乎。平民的ハ困乏アルカ故ナリ。ソレ封建貴族(或ル意味ニ於テハ)無限ノ富源ヲ有スルモノナリ。其生活ノ必要ニハ不相應ナル富ヲ有スルモノナリ。故ニ乍チ其需用ヲ生シ。其需用ヨリシテ奇妙不可思議ナル現象生シ來レリ。即チ錦緞。綸子。綾。錦等ノ精巧ナル織物ヲ製造シタルハ。是レ我邦人民ノ襤褸サヘ纏フ能ハサルモノアリタレハナリ。九谷焼ノ綸爛タル陶器ヲ製造シタルハ。是レ我カ人民ノ貧乏德利ヲ有スル能ハサルモノアリタレハナリ。梨子地金蒔繪。漆器等ヲ製造シタルハ。是レ我カ人民ノ破レタル鵬儼ヲモ有セサルモノアリタレハナリ。幽禪染若クハ縹箔ノ製造セラレタルハ。是レ我カ人民カ紅花染ノ綿衣スラ着クル能ハサルモノアリタレハナリ。金銀。赤銅。象牙。等ノ奇創緻密ノ細工行ハレタルハ。我カ人民カ鍋釜サヘモ有セス。齒牙ヲ以テ庖刀ニ代ヘ。手指ヲ以テ箸ニ代ヘ。月光ヲ以テ燈火ニ代フルモノアリタレハナリ。彼ノ日光ノ廟ノ壯嚴雄麗。金碧目ヲ眩シ。今日ニ及ンテ尙ホ世界萬邦ノ飽暖喝采ヲ博スル所以ノモノハ。是レ我カ人民カ一坏ノ墓田ヲモ有セス。三尺ノ石塔ヲモ有セス。亡親ノ菩提スラ吊フ能ハサルモノアリタレハナ

印ヲ替ヘ云々。

ソレ衰勢茲ニ到ル如何ニ彼ノ賢相カ苦心以テ祖宗ノ天下ニ恢復セント欲スルモ豈ニ亦得ヘケンヤ。蓋シ軍隊組織ノ制度ハ決シテ永久ニ其武士ノ活潑質朴ナル本來ノ眞面目ヲ遺持スル能ハサルモノナリ。見ヨ其先祖ハ赤手ヲ揮フテ四海ヲ壓倒シタル羅馬人モ其子孫ニ到レハ乍チ北狄蠻人ノ鐵蹄ニ蹂躪セラレタルコアラスマヤ。吾人ハ決シテ斯カル現像ノ武備社會ニ生出シ來ルチ以テ毫モ怪ム可ラサルノ事トナスナリ。何トナレハ其武士ナルモノハ所謂人民ノ租ヲ食ヒ。稅ヲ衣ルモノナリ。如何ニ驕奢ヲ事トスルモ我ニ於テ損スルコトハ非サルナリ。玉杯ヲ作ルモ可ナリ。象箸ヲ作ルモ可ナリ。銀橋ハ以テ池水ニ架ス可ク。白砂糖ハ以テ假山ノ白雪ヲ裝フ可シ。ソレ我ニ惡因ヲ結ヘハ善果來リ。我ニ善因ヲ結ヘハ惡果來ル。竊リ釣者誅。竊リ國者候。候之門仁義存。如何ニ其食ハ一羹一菜ニ限り。其服ハ綿衣ニ限ルモ其結果ハ唯生活ノ不愉快ヲ感スルノミ。其儉約我ニ於テ何ノ利益カアル。如何ニ酒池肉林。流連荒亡ノ樂ヲナスモ唯生活ノ愉快ヲ感スルノミ。其驕奢我ニ於テ何ノ損害カアル。ソレ一方ニ於テハ無限ノ權利者ヲラシメ。一方ニ於

テハ無限ノ義務者ヲラシメ。而シテ其主人ニ責ルニ其奴隸ヲ善待ス可キヲ以テス。豈ニ亦タ愚ナラスヤ。蓋シ彼ノ武士若クハ高等ノ武士ハ無限ノ權威ヲ有スル無責任ノ皇帝ナリ。之ヲ取テ盡キス。之ヲ汲ンテ涸レサルノ財源ヲ有スルモノナリ。縱令涸ル、コトアルモ自家ニハ決シ痛痒ナキ財源ヲ有スルモノナリ。既ニ之ヲ有ス。豈ニ焉ソ之ヲ耐ムニ遲疑センヤ。故ニ吾人ハ斷言ス彼ノ武備ノ社會ナルモノハ必ス其武士チ其主人チ驕奢ニ導クモノナリ。文弱ニ導クモノナリ。何トナレハ彼等ハ自家ノ勞力ニヨリテ生活スルモノニ非レハナリ。彼等ハ其生活ノ必要ヨリモ澤山ナル富ヲ有スルモノナリ。彼等ハ其富ヲ有シ之ヲ消費スルノ道ニ苦ムモノナリ。焉ソ其間ニ於テ不自然ナル需用ヲ生セサルコト能ハシヤ。一方ニ於テ生活ニ必要ナラサル富ヲ有スルモノハ必ス一方ニ於テハ之ニ奉センカ爲ニ生活ニ必要ナル富ヲ有セサル者アルハ固ヨリ論ヲ俟タス。一方ニ於テ不自然ナル需用ヲ生スキニハ一方ニ於テハ之ニ供セン爲ニ不自然ナル供給ヲ生スルハ固ヨリ論ヲ俟タス。田口卯吉氏ハ其「日本開化ノ性質」ノ小冊子ニ於テ深切ニ此ノ道理ヲ説明セリ。吾人ハ試ニ其一節ヲ左ニ掲ク可シ。

此ノ如キ人民ノ頭上ニ累積セル諸侯大夫ニ到リテハ全ク之ニ異ナリ。彼等ハ勞作シテ產ヲ得ルニ非ルナリ。全ク人民ノ勞作シタルモノヲ其有トナシタルナリ。彼等ハ一妻ヲ以テ足レリトセサルナリ。是ニ於テカ更ニ妾ヲ求ム。若シ社會ノ人皆富人ナランニハ其求メニ應スルモノナカル可シ。然レモ彼等ノ爲ニ其產物ヲ供シタル人民ハ則チ貧困ニ陥ルカ爲ニ其妾ヲ求ムルニ及ヒテヤ喜ヒテ其子女ヲ供スルモノアリ。故ニ則チ社會ニ妾ト曰ヘルモノアリ。彼レ妾ヲ得テ尙足レリトセサルナリ。故ニ出テ娼家ニ遊フ。社會ノ人彼レ等ノ爲ニ。貧シキ者其子女ヲ鬻キテ以テ娼トナス。故ニ則チ社會ニ娼ト云ヘルモノアリ。既ニ娼アルモ以テ其樂ヲ滿タスニ足ラス。是ニ於テ更ニ妓ヲ求ム。社會ニ貧者アリ其子女ヲ以テ妓トナス。故ニ則チ妓ト云ヘル者社會ニ出ツルアリ。既ニ妓アリ。尙ホ未タ其慾ヲ滿タスニ足ラス。是ニ於テ平更ニ幫間ヲ求ム。社會ノ貧困ナルモノ盜賊乞食尙ホ且ツ之ヲ甘ンス。然ルチ況ンヤ幫間チヤ。是ニ於テカ社會ニ幫間ト云ヘル者アリ。故ニ以上ノ如キ變相チ社會ニ發シタルモノハ皆貴族的ノ需要ノ致ス所也。

ソレ圓石ヲ險崖ヨリ轉シ。積水ヲ絶壁ヨリ決ス。如何ニ孟賁鳥獲ノ腕力ニ富ムモ其勢ヲ制スルヲ得ンヤ。羅馬社會ノ文弱ニ趨クヤ。如何ニ老ケトーカ之ヲ怒罵シ。之ヲ叱咤シ。其鐵鞭ヲ飛ハスモ之ヲ如何ンセンヤ。徳川社會ノ驕奢ニ流ルヤ。如何ニ松平越中守。水野越前守アリテ其憤涙ヲ揮ヒ。苦慮痛心スルモソレ將タ之ヲ如何ンセン。蓋シ此ノ如ク嘆息ス可キ現象ヲ生スルハ富ノ分配ニ於テ其道ヲ得サレハナリ。富ノ分配ニ於テ其道ヲ得サルハ社會ノ組織ニ於テ其道ヲ得サレハナリ。實ニ因果ノ大法則ナルモノハ人力ニテ之ヲ駐止セントスルモ決シテ及フ可キニ非ス。世ノ政治家タルモノハ奚ソ其本ニ反ラサル。奚ソ其本ニ反ラサル。

第十三回 過去ノ日本 二 (同上)

我カ徳川時代ノ如キ武備機關ノ澎漲シタル邦ニ於テハ。如何ニ平和ナルモ。如何ニ其人口ヲ増殖スルモ。如何ニ其物産ハ興隆シ。如何ニ其農工商ノ生産者ハ勤勞スルモ。決シ

テ其全國ノ富ノ蓄積ヲ來シ。全國人民ノ生活ノ度ヲ進歩セシムル能ハサルナリ。何トナ
レハ總テ年々產出スル富ハ年々此ノ軍備ニ供シ。即チ武士及高等武士ヲ養ヒ。其驕奢
ヲ飽カシメンカ爲ニ消費スレハナリ。年々歲々斯カル不生産的ノ事ニ向ツテ其富ヲ投
スルハ。尙ホ貨物ヲ水底ニ投スルノ類ナリ。決シテ其再生ノ見込ハアラサルナリ。是レ
徳川氏ノ天下二百六十餘年ノ太平ナリシニモ係ラス。我邦ハ依然タル野蠻ニシテ貧國
タル所以ナリ。

實ニ武備ノ立法者ノ眼中ニハ唯一ノ兵略上ノ思想アル而已。其城下ノ位置ヲ定ムルニ
山ヲ絶チ。湖ニ依ルノ天險ヲ擇ヒ。其道路濶門ヲ築造スルモ。唯攻守ノ便宜ヨリ判斷チ
下シ。其關門ヲ設ケ其津留ヲナシ。其行政ノ區域ヲ定メ。其人民ヲ統制スルカ如キ。一ト
シテ兵機ヨリ出テサルモノアラス。或ハ其ノ農工商ノ事業ニ干渉スルカ如キモ固ヨリ
其事業ヲハ一種獨立ナル生産的ノ事業トシテ然カスルニ非ス。唯其武備ノ目的ヲ達ス
ル一手段一作用トシテナスモノナレハ。勿論經濟上ノ真理ノ如キハ夢ニタモ其腦中ニ
浮ミ來ル道理モナク、唯其方一ノ時ニ於テ。隣國ト開戦ノ時ニ於テ。其籠城ノ時ニ於テ。

差支ナキ糧食輜重ヲハ平生ニ調達シ措カサル可ラストナスカ故ニ。第一ニ封建領主カ
獎勵シタルハ農業ニシテ。農業中殊ニ獎勵シタルハ穀物ノ產出ナリ。而シテ彼ノ封建局
外ノ學士賴襄ノ如キスヲ封建立法者ノ策中ニ籠絡セラレ。尙ホ農ヲ尊ヒ。商ヲ賤ムノ議
論ヲナス。其弊亦タ知ル可ナリ。

之ニ續イテ武器調度ノ類。或ハ其領主ノ逸樂ヲ飽カシムルノ驕奢品ヲモ。悉ク其領地ニ
於テ製作セシメ。凡ソ今日ニ於テ南極洋ノ裏。北斗星ノ傍。或ハ熱沙漠々タル赤道直下
ニ於テ。凡ソ舟車ノ及フ所。太陽ノ照ス所。空氣ノ通スル所。人類ノ住スル所ヲ舉テ人類
ノ需用ヲ充タスノ供給地トナスニモ係ラス。我カ封建ノ世界ニ於テハ日本一國ヲ以テ
唯一ノ經濟世界ノ版圖トナセリ。其窮屈モ亦甚カラスヤ。此ノ如キハ尙ホ可ナリ。此ノ
日本國ニハ三百ノ領主アリ。其領内ハ皆一ノ兵營ニシ。其營中ノ人民ハ決シ自由ノ運動
ヲ有セサレハ我カ封建ノ經濟世界ハ取リモ直サス。此ノ一領地ト云ハサル可ラス。即チ
此ハ日本ハ面積平均三分ノ一ナル八十餘方里ヲ以テ其一世界一天地トモサルヘカラ
ス。即チ此ノ豆大ノ天地ニ於テ。此ノ僅少ノ人民ニ於テ。世界ヲ舉テ。世界ノ人民ヲ舉

テ。其從事スル職業ハ之ヲ概括シテ負擔セシメ。其產出ヲ求メサル可ラス。斯カル社會ニ於テ豈ニ分業ノ法行ハレンヤ。豈ニ損ヲ去テ利ニ就クノ便宜法行ハレンヤ。豈ニ天ノ時ヲ得。地ノ利ヲ得。人ノ和ヲ得。自然ノ傾向ニ從ヒ。自然ノ職業ヲナスカ如キコト行ハレンヤ。即チ封建領地ノ有様。孔子ノ所謂至治ノ世ナラン歟。

(註)老子曰。至治之極。鄰國相望。雞狗之聲相聞。民各甘其食。美其服。安其俗。樂其業。至老死。不相往來。

嗟乎封建至治ノ世界ハ實ニ此ノ如シ。是レ豈ニ吾人カ希望スル所ナランヤ。既ニ封建ノ社會ハ其生産者タル人民ヲシテ。悉ク自カラ鍛工トナリテ耕具ヲ作り。自ラ農夫トナリテ之ヲ耕シ。自ラ料理人トナリテ之ヲ調理シ。其近海ヲ航セントスルニハ自ラ舟大工トナラサル可ラス。自ラ水夫ヲラサル可ラス。其茅屋ヲ結フニハ自ラ木挽。大工。石工。泥匠。トナラサルヘカヲラサル所ノ彼ノロビンソンクローンチ學ハサル可シラシメダリ。ソレ此ノ如シ。豈ニ焉シ生活世界ノ進歩ヲ望ム可キノ理アラシヤ。此ノ如ク我カ封建社會ノ人民ハ窮屈ノ世界中。更ニ幾層ノ窮屈世界ニ住シ。不自由ノ天地中。更ニ幾倍ノ不

自由天地ニ居ラサル可ラサル。一ノ可憐ノ孤獨ナリキ。而シテ渠輩ハ何か故ニ悠々寛々トシテ安シタル乎。曰ク故アリ。何トナレハ彼ノ隣國ハ是レ其敵國ナレハナリ。昔シハ北條氏驥ノ販賣ヲ申變ニ閉サシ。之カ爲ニ武田氏ノ困厄シタルコトアリ。ソレ白刃前ニアリ。豈ニ十指ヲ斷ツヲ恐レンヤ。ソレ恒ニ籠城ノ覺悟ナリ。恒ニ死地ニ立ツモノナリ。此ノ時ニ於テ唯一ノ兵略上ノ必要アルノミ。即チ如何ニシテモ唯無事ニ欠乏ナク籠城ノ目的ヲ達シ得レハ可ナリ。豈ニ他ヲ顧ルニ遑アラシヤ。徳川氏ノ天下ハ元龜天正ノ胎内ヨリ出テ來リタルモノナリ。其多事ノ日ニ於テ慣例格式タルコトハ無事ノ日ニモ亦慣例格式トナルモノナリ。

ソレ此ノ如ク我カ封建ノ世界ニ於テ。隣國ヲ敵トスル所以ノ者ハ何シヤ。其武備社會ノ本質ニ於テ然カセサル可ラサル必要存スレハナリ。何トナレハ彼ノ武備ノ社會ナルモハハ唯隣國ヲ奪ハント欲スルカ若クハ奪ハレシラント欲スルノ他ニ其政略ナルモノアル可カラザレハナリ。而シテ其手段ハ此ノ如ク其ノ場合ニ於テ攻守ノ相違ヲ生スト雖モ。畢竟其目的ナルモノハ隣國ヲ敵トスルノ一點ニ歸着ス可シ。故ニ或ハ長蛇ノ急坂ヲ下

ルカ如ク進撃スルコアルモ。或ハ猛虎ノ嶋ヲ負フカ如ク退守スルコアルモ。勢イ其ノ頼
 ミトス可キハ唯自家領内ノ一天地ニアリ。然ラハ即チ割據ノ主義ハ是豈ニ武備社會ノ
 主義ニ非スヤ。彼ノ徳川氏カ鎖國ノ政略ヲ取リタルモ。彼ノ諸侯等カ鎖藩ノ政略ヲ取リ
 タルモ。固ヨリ其本チ一ニスルモノニ決シテ異ムニ足ラス。果シ然ラハ彼封建武士等
 カ北客能來何以酬。彈丸硝藥是膽羞。客憎不屬饜。好以寶刀一加渠頭。ノ軍歌ヲ誦フテ
 相互ニ狼視豺視シタルモ亦故ナキニ非サルナリ。吾人ハ此ニ於テカ彼ノ保護貿易ナル
 モノハ實ニ封建社會ノ遺物ニシテ。而シテ彼ノ干涉主義ナルモノハ實ニ封建社會ノ目的
 ナシテ違スルニ尤モ欠ク可ラサルモノナルコトヲ知矣。故ニ封建社會ニ於テハ尺地モ其領主
 ノ有ニアラサルモノナク。一夫モ其主人ノ臣タラサルモノナク。武備ノ版圖全局ニ澎漲
 ノ亦タ他ニ立錐ノ餘地ヲ剩サズ。目ヲ睨テ經濟世界ノ有様ヲ見レハ秋風寂寞。滿目荒涼
 唯タ黃而瘦骨。人鬼相半スルノ老若男女カ犁ヲ揮ヒ。杵ヲ握ルヲ見ルナリ。其從事スル
 職業ハ因ヨリ自由ノ職業ニ非ス。恰モ彼ノ士官カ兵士ヲ指揮スルカ如ク。彼ノ不慈悲ニ
 シテ殘忍ナル官吏ハ鐵鞭ヲ揮ヒ。之ヲ苛責シ。之ヲ強迫シ。何ノ容赦カ之アラソ。何ノ會

釋カ之アラソ。所謂苛政猛於虎トハ實ニ此ノ時代ノ有様ナラン。而シテ彼ノ無邪氣ニ
 シテ質朴ナル農夫等ハ抑モ如何ナル感觸ヲ有シタル乎。東洋ノ詩人歌ツテ曰ク。麥收
 上レ場絹在レ軸。的知輸得官家足。不望入口復上レ身。且免向レ城賣黃犢。田家衣食
 無厚薄。不見縣門一身即樂。ト其情此ノ如シ。豈ニ又憐ム可キコアラスマヤ。且ツ商業ノ
 如キモ決シテ純然タル商業行ハル、能ハサルナリ。彼ノミル氏ハ曰ク

凡ソ此ノ如キ社會ニ於テハ只二種ノ商人アリ。曰ク穀物ノ川運。曰ク貨幣ノ川運是ナ
 リ。穀物ノ川運ナルモノハ直ニ生産者ヨリ穀物ヲ購買セス。政府ノ代官ヨリ之ヲ購買
 ス。蓋シ代官ナルモノハ其租稅ヲハ作物ニヨリテ取立テ。而シテ之ヲ首府。即チ帝王ノ
 文武ノ官吏。兵士。及ヒ是等ノ人々ノ需用ヲ給スル工人ノ集ル所ノ首府ニ運送スルノ
 務メテハ好テ他人ニ依頼スルモノナリ。貨幣川運ナルモノハ不幸ナル農夫カ天災ニ
 ヨリ若クハ苛稅ニヨリ。切迫ニ瀕スルルニ其生活ヲ有テ。其耕作ヲ繼續サセシカ爲ニ
 金ヲ貸付ケ。次ノ收穫ニ於テ高利ヲ以テ之ヲ拂ハシメ。或ハ大仕掛ニ於テ政府ニ若ク
 ハ政府ノ歳入ノ一部ヲ有スル所ノ人々ニ貸付ケ。政府ノ收稅官ニヨリテ之ヲ保證シ。

若クハ或ル土地ヲハ其抵當ニ取り。以テ自ラ其土地ヨリ産スル所ノ税額ヲ以テ之ヲ拂ハシム。此ノ如キコトナサントスルニハ此用達ハ其抵當ヲ有スル間。其返済ノ仕佛了ル間。其地方ニ於テ政府ノ權力ノ大ナル部分ヲハ自ラ握リ之ヲ揮フコト得ルナリ。此ハ如ク是等ノ商人ハ重ニ政府ノ歳入ナル一國ノ產物ノ部分ニ於テ其地位ヲ有ツモハナリ。政府ノ歳入ヨリシテ彼等ノ資本ハ利潤ヲ以テ期限ニ從ヒ出入シ。而シテ其歳入コソ彼等カ固有ノ元資ノ泉源ニテ有リツルモノナリ。

實ニ此言タルヤ。我カ封建時代ノ商業世界ノ實相ヲ描寫シ得テ妙ナリト云フ可シ。試ニ見ヨ。江戸大坂ノ繁榮シタルハ何故ソヤ。而シテ其重ナル繁榮ノ分子ハ何人ソヤ。荷モ之ヲ思ヒ之ヲ想ヘハ必ス餘師アラン。ソレ商業モ亦軍務ノ一部ナリ。商人モ亦官吏ノ一人ナリ。此ノ時ニ於テ焉ソ、專賣特許ノ弊習行ハルナルヲ得ンヤ。吾人嘗テ貿易備考ヲ閱スルニ。我カ封建ノ商業世界ハ實ニ專賣特許ノ世界ナリシヲ知ルナリ。見ヨ彼ノ問屋ナルモノハ政府ト特別ノ條約ヲ結ビ。其實加金ナルモノヲ上納シ。其株式ナルモノヲ得。以テ公開競争ノ道ヲ絶テ。以テ其專門商業ノ利益ヲ壟斷シタルニ非スヤ。

(註)殊ニ彼ノ江戸ニ於テハ十組問屋アリ。漸ク專賣ノ特例ヲ得。續テ菱垣廻船積荷仲間ト連合シ。更ニ仲間株式ヲ定メ現在ノ惣員一千九百九十五名ニ株札ヲ付與シ。定員ノ外新ニ加入スルヲ許サズ。若シ組合中破産廢業ノ者アル時ハ組合ノ者其株式ヲ保管シ。適當ノ者ヲ選テ之カ嗣トナシ。以テ其缺ヲ補ハシム。而シテ其問屋ニ非サル者ハ產地ヨリ直買スルヲ禁シ。其業ヲ保護ス。其實加金額ハ舊制ニヨリ變更スル所ナシ。是ニ於テ更ニ六十五組ノ新連合ヲ團結シ。菱垣廻船積荷仲間ト稱フ。(貿易備考) 見ヨ其規律節制ノ周到嚴密ナルハ如何ナル普例ノ常備軍モ之ニハ三舍ヲ避クルナル可シ。

既ニ此ノ如シ。豈ニソレ富ノ進歩ヲ望ムヲ得ンヤ。吾人ハ又茲ニ觀察スベキコトアリ。彼ノ封建時代ニ於テ何故ニ遺傳血統ヲ尊ビ。門閥ヲ重シタル乎。蓋シ軍隊組織ニ於テ止ム可ラサル者アレハナリ。ソレ軍隊組織ハ強迫ノ組織ナリ。勇者獨リ進ムヲ得ス。怯者獨リ退クヲ得サレハナリ。彼ノ結合ハ壓制ノ結合ナリ。知者其知ヲ伸フルコトヲ得ス。愚者其愚ヲ現スコトヲ得サルナリ。實ニ軍隊ノ組織ニ知愚ナク勇怯ナシ。智勇。智勇ナル能ハ

ス。愚怯。愚怯ナルヲ能ハス。唯一切一様一定ノ規律ノ下ニ運動セサル可ラサルナリ。故ニ愚者ナリト雖モ其職ニアル久シキモノハ以テ智者ヲ支配ス可シ。智者ナリト雖モ其職ニアル久シカラサルモノハ以テ愚者ニ支配セラレ可シ。軍隊世界ノ進路ナルモノハ「唯先着」ノ一アルノミ。我。彼ヨリ立ツ後アレハ如何ニ我ハ健奔快飛スルモ決シテ彼ニ追及フコ能ハサルナリ。况ンヤ之ヲ凌駕スルニ於テオヤ。若シ今日各國陸海軍ノ軍制チ一覽セハ以テ我カ封建時代世襲ノ行ハレタル眞理ヲ知ル可シ。何トナレハ彼ノ陸海軍ノ制ハ其先着ノ勢力ヲハ其人一世ニ限り或ハ其孤子寡婦(即チ爵位。勳章。年金)ニ限ルコアルモ我カ封建社會ハ之ヲ擴ゲテ其末世末代迄モ及ホシタルモノナレハナリ。徳川治世ノ貴族ハ其先祖ヲ尊レハ其人民ニ功德アルヤ否ヤハ吾人カ決シテ保證セサル所ナレ也。其元龜天正群雄鹿ヲ逐フノ時ニ於テ多ク徒腹ヨリ起リ。手ニ唾シテ州郡ヲ橫領シタル人々ナレハ智勇拔群ナルコト固ヨリ吾人カ承認スル所ナリ。而シテ其子孫タル人々ハ何ノ功德アリテ何ノ才智アリテ。此ノ如ク數多ノ才俊豪傑ヲシテ餓吻ヲ鳴ラサシメ。數多ノ憂世懣時ノ人物ヲハ草莽ニ蟄伏セシメ。其館内ノ百姓ノ肝腦ヲ絞リ

タル乎。即チ何故ナレハ他人ノ血ト涙トヲ以テ自家ノ愉快ニ供シケル乎。只先着ノ一アルノミ。即チ其父祖ノ餘澤アルカ故ナリ。如何ナル財產家ノ子孫ト雖モ其人ニシテ不肖ナラハ以テ一ノ窮民トナル可シ。然レモ封建君主ハ如何ニ不肖ナリト雖モ如何ニ懦弱ナリト雖モ如何ニ狂暴放奢ナリト雖モ決シテ窮民トナルコト能ハサルナリ。而シテ彼ノ封建ノ人民ハ如何ニ雄才豪邁ノ人物ト雖モ殆ント青雲ノ道ハ遮斷セラレタリ。所謂天上天下千万里。以テ上ラント欲シテ上ル能ハス。下ラント欲シテ下ル能ハサルハ何ソヤ。是レ唯軍隊組織ノ精神ヲ以テ之ヲ維持シタルハナリ。實ニ武備社會ノ末路ニ於テ其特性ナル美風善俗ハ跡ヲ絶ツ可シト雖モ其固有ナル惡習毒氣ハ増長スルアルモ決シテ減少スルコト能ハサルナリ。如何ナル時代ニ於テモ軍隊社會ノ存セシ限リ。或ハ其世界ノ表面ヨリ飛ヒ去リタル後ニ於テモ何時迄モ其禍ハ存スルモノナリ。既ニ其ノ血統門閥ヲ重スルコト此ノ如シ。然ラハ即チ封建社會ノ境遇ハ造化カ人爲ヲ假リテ奇戲ヲ演スルノ舞臺ナリト云フモ又何ソ不可アラシヤ。見ヨ當時ニ於テハ醫者ニシテ診ヲ察シ匙ヲ取ルコト能ハサル者アリ。擊劍ノ師範ニシテ竹刀ヲ揮フ能ハサル者ア

リ。教授ニシテ句讀ヲ如ラサルモノアリ。箱筆ニシテ紙面ヲ書ク能ハス。畫師ニシテ繪具ヲ用フル能ハルル者アリ。或ハ加減乘除ヲ知ラサル算術家アリ。或ハ權衡度量ノ目ヲ知ラサル商人アリ。監察ヲナサル監察アリ。取締ヲナサル取締アリ。勘定ヲ知ラサル勘定方アリ。奉行ヲナサル奉行アリ。此ノ如シ奚ゾ獨リ十六ノ元老。八歳ノ征夷大將軍アルチ是レ怪マンヤ。

(註)大宰氏ノ經濟學政篇ニ曰ク。日本ニ於テハ諸道ノ學者技藝マテ多クハ專門ニテ其家ヲ世々ニシ。國家ニ仕ヘテ其祿俸ヲ世々ニス。故ニ藝術漸ク拙クナリテ堪能ナルモノ出來ル稀ナリ。又タ事ニ因テ其業モ賤クナリ。士人ハ肯テ學ハヌモアリ。是レ專門ノ失ナリ。專門トハ一家ヲ立テ其業ヲ傳フルコトナリ。

此ノ如キ遺傳世襲ノ弊習ハ之ヲ封建武士ノ一部ノミナラス。其附屬タル全隅ニ迄之ヲ及ホシ。終ニ之カ爲ニ奇々怪々。表裏反覆名實相違ノ現像ヲ生出シタリ。蓋シ其中央ノ部分ニ行ハルモノハ何事モ之ヲ其四隅ニ推シ及ホスハ自然ノ理ニシテ吾人ハ決シテ之ヲ怪マサルナリ。

サレハ彼ノ封建ノ社會ハ其有形ノ現像ニ於テスルノミナラス。又タ無形ノ現像ニ向テ其眞面目ヲ發露セリ。試ニ見ヨ封建社會ノ道德ナルモノハ天真爛熳。自然ノ中ニ脩養アリ。自由ノ中ニ規法アル。愛ス可キ。親ムヘキモノニアラス。却テ唯ク格式ニ拘泥シタル死物ノ道德ニ非スヤ。ソレ彼ノ今日ニ存在スル淨瑠璃院本ナルモノハ實ニ封建思想ノ產物ニシテ實ニ其真相ヲ描シ出シタル明鏡ナリ。

(註)これかゝ様。士の子と云ふ者は。ひもしい目をするが忠義じや。又たべるときに。毒でも何共思はず食ふ者じや。と言はしやつた故わし。何時迄も堪へて居る。其代り忠義をして仕舞ふたら早くまを食はしてや。夫迄の明日迄も。何時迄も。斯ふきつと居てお膝へ手をついて待つて居ります。お腹がすいてもひもじうのあい何共さ。いと。緘面つくり涙は出れど。稚氣に讀められたさが一ばいに。こちや泣きはせぬ。はいど額を撫て。泣顔を。隠す心は流石にも名に負ふ武士の種ありき。(伽羅千代萩)切腹シテ君ニ殉スル忠臣アリ。身ヲ賣リテ父母ヲ養フ孝子アリ。利ニ營々タル商人ニシテ利ヲ好マサルモノアリ。名ニ汲々タル君子ニシテ名ヲ欲セサルモノアリ。實ニ封建ノ

三浦曰、怒引漢
士古習、怒引漢
墨、泰西今代政
治家、曾、怒引漢
士、既、怒引漢、家
文、引、既、自、在、儀
論、縱、橫、使、隨、者
目、眩、心、驚、可、謂
奇、絶、之、筆、

道德世界ナルモノハ牛鬼蛇神。始ント吾人カ想像シ能ハサルモノアリ。然レモ是レ豈
ニ止ムヲ得ンヤ。軍隊組織ニ於テハ決シテ避ク可ラサル結果ナリ。ソレ軍隊組織ノ元氣
ハ唯從順ナリ。從順ノ極ハ其自然ノ反動作用ヲ牽制シテ人爲ノ作用ヲナスニアリ。若シ
起ント欲スル時ニ起チ。坐セント欲スルキニ坐シ。言ハント欲スルキニ言ヒ。厭セント
欲スルキニ厭シ。苦痛ヲ苦痛トシテ之ヲ避ケ。快樂ヲ快樂トシテ之ニ就カハ。豈ニ又軍
隊ノ組織ナルモノ行ハレンヤ。故ニ苟モ之ヲ行ハントセハ。苦痛ヲ快樂トシ。快樂ヲ苦
痛トナシ。毒ヲ藥トナシ。苦ヲ甘シトナサ、ル可ラス。

封建社會ニハ一個ノ人民ナシ。即チ人民ノ爲ニ設ケタル社會ニ非ス。社會ノ爲メニ否
寧口領主及其臣族タル武士ノ爲ニ設ケラレタル人民ナリ。人民ヲ保護センカ爲ニ官吏
アルニ非ス。官吏ニ奉センカ爲ニ人民アルナリ。既ニ人民ナシ。焉ソ人民ノ事業アラン。
既ニ事業ナシ。人民ニシテ如何ニ其驥足ヲ伸サントスルモ豈ソレ得ヘケンヤ。故ニ政府
ハ外ニ力ヲ致ス。餘地ハ寸毫モ存セサルナリ。然ラハ則チ善人モ。惡人モ。賢者モ。愚者
モ。其治國平天下ノ經綸アル人モ。其巧言令色ノ人モ。苟モ有爲ノ志アルモノハ焉ソ其

三郎曰、牛鬼同
一車、使人心咽
欲泣、

又曰、對上則無
限、對下則無
無限主人、誰得
痛切、

眼孔ヲ官途ノ一邊ニ注カサルヲ得ンヤ。ソレ封建社會ニ於テ官途ノ價值アル決シテ怪
ムニ足ラス。何トナレハ此ノ途上ヲ奔ラスンハ如何ナル俊傑ト雖モ草木ト同シク
朽チ果ツ可ケレハナリ。而シテ此ノ途上ニ入ラントスルハ尙蒙駭カ針孔ニ入ラントス
ルヨリモ難シ。豈ニ憐ム可キニ非スヤ。

之ヲ要スレハ封建社會ニ於テハ。上ニ征夷大將軍ヨリ下モ庄屋ニ到ル迄。皆一様ニ上ニ
向テハ無限ノ奴隸ニシテ向テハ皆無限ノ主人ナリ。然ルカ故ニ社會ノ位置ナルモノハ
唯一ノ鉛直線ニシテ向人ト雖モ何時ト雖モ決シテ同地位ニ立ツコト許サス。如何ナル
場合ニ於テモ其關係ハ皆上下ノ關係ナリ。是豈ニ軍制ノ組織ニ於テ止ム可ラサルモノニ
非スヤ。苟モ兵卒チ下士官ト同列タラシメ下士チ上士ト同列タラシメ。上士チシテ
佐官將官ト同列タラシメハ一日ト雖モ軍隊組織ナルモノ行ハル、ヲ得ンヤ。而シテ我封
建社會ニ於テハ此軍律ヲハ全躰ノ關係ニ推シ及シ。即チ父子ノ關係モ之ヲ以テシ。夫婦
ハ關係ヲモ之ヲ以テシ。兄弟ノ關係ヲモ之ヲ以テシ。朋友ノ關係ヲモ之ヲ以テシ。其親
々タル政事軍務等ノ如キハ勿論隣里鄉黨。交際。冠婚。葬祭。花見。遊山等ノ細事ニ到ル

迄皆一様不變ノ軍律ヲ以テ之ヲ支配セリ。是レ豈ニ不平等ノ尤モ甚キモノニ非スヤ。蓋シ如何ナル立法者ト雖モ斯カル偏屈不都合ヲ生セントハ夢ニクモ想ハサリシコナラシ。然レモ是豈ニ避ク可キ結果ナランヤ。其父仇ヲ報レハ其子ハ却テ之ヲ行フ。是レ豈ニ止ムヲ得ンヤ。

世ノ軍隊政事ノ可否ヲ知ラント欲スル人ハ。願クハ我封建社會ヲ見ヨ。此ノ社會コソ實ニ武備機關ノ遺骸ナク完全ニ發達シタルモノナルゾ。苟モ之ヲ公平ニ觀察セバ以テ其利益ヲ見ル可ク。又以テ其禍害ヲ察ス可シ。嗟呼我カ封建社會ハ吾人ノ父祖カ其苦痛ト怨恨トヲ以テ吾人ニ向ツテ軍隊政治ノ利害ヲ判セシムル一ノ鐵案ナリ。吾人豈ニ輕々看過シテ可ナランヤ。

第十四回 現今ノ日本 一 (同上)

現在ノ日本ニ立テ現在ノ日本ヲ談セント欲スルハ。是レ尙ホ馬ニ對シテ其馬ナルヲ説

キ。山ニ向テ其山ナルヲ辨スルカ如ク。殆ト無用ノ議論ナルカ如シト雖モ仍ホ一言セサル可ラサル者アリ。何トナレハ現今ノ形勢ヲ詳ニセシムルハ以テ將來ノ命運ヲトスル能ハサレハナリ。

吾人ハ徳川政府ノ顛覆ヲハ毫モ怪マサルナリ。何トナレハ昨日東周今日秦。咸陽煙火洛陽塵。如何ナル貴族社會ト雖モ。一度ハ其實力カ門閥ヲ制スル非運ニ遭逢セサル可ラサルハ固ヨリ論ヲ俟タサレハナリ。然レモ政府ノ顛覆ト共ニ併セテ社會ノ全休ヲ顛覆シ。政府ノ改革ト共ニ同ク社會ノ全面ヲ改革シ。其ノ改革ノ猛勢ハ止マラント欲シテ止マサルヲ知ラサルハ一點ニ到リテハ千古ノ奇觀殆ント我カ東洋ノ歴史ニ比類ナキヲ見ルナリ。試ニ見ヨ。支那二十四朝ノ革命ノ如キ。若クハ新井白石カ王代九變武家五變ト節目シタル我邦ノ改革ノ如キ是レ皆宋三。王八。大頭公。猿而郎カ五ニ其秘技ヲ演スルニモ係ラス。唯之ヲ演スル人ノ異ナリタルモノニシテ。其舞臺モ同様ノ舞臺ナリ。其戯曲モ同様ノ戯曲ナルニ非スヤ。故ニ東洋改革史ナルモノハ陳腐常套實ニ讀ムニ堪ヘサルモノアルナリ。

獨り我カ維新改革ノ歴史ニ到リテハ。雄勁蒼莽。山々人意ノ表ニ超出シ。人ヲシテ一唱
 三嘆セシムルモノアルハ何ソヤ。吾人ハ斷言ス。唯々我維新ノ大改革ナルモノハ内外ノ
 刺衝一時ニ抱合シ。外壓シ。内迫リ。遂ニ一種ノ壯觀奇狀ヲ呈シタルモノナルコト更ニ
 詳ニ之ヲ言ヘハ世界ノ大勢ハ以テ我人心ヲ覺醒シ。我人心ハ世界大勢必至必然ノ壓力
 ニ迫マラレ。遂ニ意外ノ大事業ヲナシ。永劫未來未タ嘗テ見サル。未タ嘗テ聽カサル。未
 タ其腦中ニ浮ミ來ラサル新奇新鮮ナル意外ノ戲山ヲ舞ハシメタルコト。ソレ豈ニ獨り
 傍觀者タル吾人ノミ之ヲ意外ナリトセンヤ。實ニ彼ノ演戲者タル愛國義膽ノ維新改革
 先達モ亦タ意外トナシタルベシ必矣。吾人ハ永ク我開國ノ歴史ニ於テ記憶ス可キ。即チ
 新日本開拓ノ第一先登者タルベルリ氏ノ當時ノ將軍ニ奉リタル書狀ヲ見ルニ

御國法ト中ス儀モ御一國御一己ノ御取極マテニテ當時ニテハ萬國共ニ通商致サ、
 ル國迎ハ無之事ニ候ヘハ萬國ノ例ニ御隨順。通商御始メニ相成候方貴國ノ御爲ニ
 可相成候。

荷モ此ノ一節ヲ熟讀セハ我カ維新改革歴史ノ難題ハ皆ナリナテ迎テ解ク可キナリ。ソレ

ナイカノ下流ニ大洪水アルハアビシニヤノ山中ニ大雨アレハナリ。我邦ハ其改革前迄
 ハ未タ一雲片ノ空間ニ飄ルヲ見ス。未タ一點滴ノ大地ニ墜ルヲ見ス。而シテ忽然トシテ政
 府ハ勿論舊世界ヲ一掃シ來ルハ大洪水出テ來リケルハ決シテ魔術ノ若カスルニ非ス。
 唯々世界風潮ノ大波瀾アルカ故ニアラスヤ。故ニ彼ノ維新改革ノ先達ハ玉石共ニ燒カ
 シコトヲ恐レ。左盼右顧シタルニモ係ラス。彼ノ大勢ハ我カ先達ヲハ必迫ノ壓力ヲ以テ
 之ヲ驅リ。其一改革ハ更ニ他ノ改革ヲ激シ其ノ一ノ顛覆ハ更ニ他ノ顛覆ヲ誘ヒ。止マ
 ト欲シテ止ム能ハス。休セント欲シテ休スル能ハス。遂ニ其霹靂手段ハ今日ニ於テ殆
 ト遺類ナキ程ニ改革ヲ行ハシメタリ。

試ニ見ヨ癸丑甲寅以來。我カ改革家ハ幾回カ此處ニ駐止セント欲シタレモ。改革ノ猛勢
 ハ之ヲ承諾スルコトナク。轉々相轉シ。遂ニ慶應三年徳川内府大政ヲ返上シ。中興ノ事業
 全ク成就シタリト思ヒノ外ニ。戊辰ノ大變動トナリ。既ニ太政官制ヲ定メ。先ツ雨降り
 テ地固ルコトナラント人々安心シタルニモ係ラス。遂ニ諸藩版籍奉還トナリ。其勢一轉シ
 又々未曾有ノ大改革タル廢藩置縣ノ一英斷ヲ來クセリ。此ノ如キ豈ニ夢ニクモ當時改